平成 25 年

第 1 回美浜町議会定例会会議録

平成25年 3 月 5 日 開会
平成25年 3 月 21日 閉会

愛知県知多郡美浜町議会

平成25年第1回美浜町議会定例会会議録目次

3月5日（火曜日）第1号

議事日程	1
会議に付した事件	2
会議に出欠席した議員	2
説明のため出席した者の職、氏名	2
職務のため出席した者の職、氏名	2
開会及び開議の宣告	3
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
平成25年度の施政方針について	4
発議第1号から発議第2号まで2件一括（提案説明・質疑・討論・採決）	8
報告第1号から議案第29号まで32件一括提案説明	10
散会	20

3月8日（金曜日）第2号

議事日程	21
会議に付した事件	21
会議に出欠席した議員	21
説明のため出席した者の職、氏名	21
職務のため出席した者の職、氏名	21
開議の宣告	21
町政に対する一般質問	22
○8番 森川元晴君	22

1 町政に臨む姿勢について。

- (1) 町政の変革を求めたまちづくり。
- (2) 住民との対話。
- (3) 身の丈にあった行政。
- (4) 「ひと」も「まち」も「自然」も「健康」でなければならない。
- (5) 住んでよかったと実感できるまちづくり。
- (6) 「共創」・「協働」の視点を重視して取り組む。
- (7) 「今、何をすべきなのか」を考え行財政改革に取り組む。

2 子どもを取り巻く教育環境について。

- (1) 小中学校での「正しい指導」とは何か。また私の子どもの頃と今現在の子ども達に対しての指導方法や環境の違いは何か。
- (2) 家庭・地域（社会）・学校教育の役割と責務は何か。
- (3) 教育委員会の役割（仕事）は何か。

- 3 「ネグレクト」問題について。
- (1) 町内で報告事例はあるか。
 - (2) どのような対策・対応をしているか。
- 4 一人暮らしの高齢者について。
- 4番 千賀荘之助君 31
- 1 地域づくりの問題点の対応について。
 - (1) 地方自治の原点に立った地域づくりについて。
 - (2) 地域の活性化対策について。
 - (3) 掘り起こせ、地域の特異性について。
 - (4) 民間活力の活用について。
 - (5) 都会人に遊び・憩いの場の提供について。
 - (6) 地域づくりは人づくりからについて。
 - 2 杉谷川の改修について。
 - 3 杉谷池水路の改修について。
 - 4 通学路の安全確保について。
- 5番 山本辰見君 40
- 1 公契約条例の制定による工事請負、委託事業等の労働条件確保について。
 - (1) 公契約条例の意義と目的についてどのような見解をもっているか。愛知県の取り組みについてどのように認識しているか。
 - (2) 町の発注する工事請負、委託事業において人件費等の積算基準はどのようになっているか。
 - (3) 現在契約している町委託事業等における人件費（給与水準）はどのようになっているのか。また、愛知県の最低賃金との関係はどうか。
 - (4) 美浜町公契約条例を制定し、町の発注する工事請負、委託事業等の労働者の適正な労働条件を確保されたい。町長の考え方を問う。
 - 2 町臨時職員の待遇改善について。
 - (1) 町の臨時職員の給与ベースは、どのような基準で算定されているのか。業務経験年数に即した昇給等をしているのか。
 - (2) 繰り返し勤務をしている臨時職員を、優先的に正規職員に採用されたい。町長の考え方を問う。
- 7番 野田増男君 49
- 1 再生可能エネルギー（太陽光発電、ソーラーパネル）の設置推進について。
 - (1) 一般家庭の太陽光発電については補助を実施しているが、補助内容の拡充をする考えはないか。
 - (2) 行政区が地区公会堂等に設置する場合、補助対象とする考えはないか。
 - (3) 学校、公民館等へ設置することは考えていないか。
 - 2 25年度町防災訓練について。
 - 3 海岸公衆便所について。

○ 6 番 鈴木美代子君	5 5
--------------------	-----

1 「美浜町子育て応援まちづくり宣言」をしないか。

(1) いじめを根絶するために、全子どもを対象にアンケートを実施しないか。子ども達から真実の声を聞きとらないか。

(2) 12月議会で通学路の危険性を指摘したが、改善の進捗状況は。

(3) 学校給食費の補助について、見解を問う。

(4) 子育てしやすい町というイメージアップで新たな子育て政策を考えないか。どのようなものがあるか。

(5) 病児保育、病後児保育の実施とその見通しについて。

2 知多南部衛生組合が管理している火葬場について。

(1) 火葬場から今も出る黒い煙について、何が含まれているか調査を要請し、働いている方や周辺住民の定期的な健康診断が必要では。

(2) 町民から「従業員に渡す寸志、謝礼はこのままでいいのか。禁止ではないのか。」と指摘されることがあるが、町としての基本的な考え方は。

(3) 火葬場の建て直しについて。24年度の結論はどうなったか。進捗状況について伺う。

○ 2 番 中川博夫君	6 5
-------------------	-----

1 護岸のかさ上げについて。

2 布土川に蓋をし、道路の拡幅をしては。

3 国道247号の拡幅と歩道設置について。

4 教育長人事について。

5 日本福祉大生が下宿を退去する時に出る不要物片づけに対する援助について。

散 会	7 0
-----------	-----

3月13日（水曜日）第3号

議事日程	7 1
------------	-----

会議に付した事件	7 2
----------------	-----

会議に出欠席した議員	7 2
------------------	-----

説明のため出席した者の職、氏名	7 2
-----------------------	-----

職務のため出席した者の職、氏名	7 2
-----------------------	-----

開議の宣告	7 2
-------------	-----

同意第1号（質疑・討論・採決）	7 3
-----------------------	-----

同意第2号（質疑・討論・採決）	7 3
-----------------------	-----

議案第1号（質疑・委員会付託）	7 4
-----------------------	-----

議案第2号（質疑・委員会付託）	7 5
-----------------------	-----

議案第3号（質疑・委員会付託）	7 5
-----------------------	-----

議案第4号（質疑・委員会付託）	7 5
-----------------------	-----

議案第5号（質疑・委員会付託）	7 5
-----------------------	-----

議案第6号（質疑・委員会付託）	7 6
-----------------------	-----

議案第7号(質疑・委員会付託)	7 6
議案第8号(質疑・委員会付託)	7 6
議案第9号(質疑・委員会付託)	7 6
議案第10号(質疑・委員会付託)	7 7
議案第11号(質疑・委員会付託)	7 7
議案第12号(質疑・委員会付託)	7 7
議案第13号(質疑・委員会付託)	7 8
議案第14号(質疑・委員会付託)	7 8
議案第15号(質疑・委員会付託)	7 8
議案第16号(質疑・委員会付託)	7 8
議案第17号(質疑・委員会付託)	7 9
議案第18号(質疑・委員会付託)	7 9
議案第19号(質疑・委員会付託)	7 9
議案第20号(質疑・委員会付託)	8 0
議案第21号(質疑・委員会付託)	8 0
議案第22号(質疑・委員会付託)	8 0
議案第23号から議案第29号まで7件一括(質疑・委員会付託)	8 1
発議第3号(提案説明・質疑)	1 0 4
発議第4号(提案説明・質疑)	1 0 5
散 会	1 0 6

3月21日(木曜日)第4号

議事日程	1 0 7
会議に付した事件	1 0 8
会議に出欠席した議員	1 0 8
説明のため出席した者の職、氏名	1 0 8
職務のため出席した者の職、氏名	1 0 9
開議の宣告	1 0 9
議案第19号の撤回について	1 1 0
議案第1号から議案第13号まで13件一括(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 1 0
議案第14号から議案第18号まで5件一括(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 1 7
議案第20号から議案第21号まで2件一括(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 2 0
議案第22号(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 2 1
議案第23号(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 2 2
議案第24号から議案第26号まで3件一括(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 2 9
議案第27号から議案第29号まで3件一括(委員長報告・質疑・討論・採決)	1 3 2
議案第30号(提案説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・採決)	1 3 3
発議第3号(討論・採決)	1 3 7

発議第4号（討論・採決）	139
平成24年請願第1号から平成24年請願第3号まで3件一括（委員長報告・質疑・討論・採決）	140
議会閉会中の継続調査事件について	143
閉会	143

平成25年 3 月 5 日（火曜日）

第 1 回美浜町議会定例会会議録（第 1 号）

平成25年3月5日（火曜日） 午前9時00分 開議

◎ 議事日程（第1号）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 平成25年度の施政方針について
- 日程第4 発議第1号 美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例について
発議第2号 美浜町議会会議規則の一部を改正する規則について
- 日程第5 報告第1号 専決処分事項の報告について
同意第1号 美浜町監査委員の選任について
同意第2号 美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第1号 第5次美浜町総合計画基本構想の策定について
議案第2号 美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について
議案第3号 美浜町消防団条例の一部を改正する条例について
議案第4号 美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例について
議案第5号 美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例について
議案第6号 美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例について
議案第7号 美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例について
議案第8号 美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
議案第9号 美浜町都市公園条例の一部を改正する条例について
議案第10号 美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例について
議案第11号 美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例について
議案第12号 美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例について
議案第13号 町道路線の廃止及び認定について
議案第14号 美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例について
議案第15号 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
議案第16号 美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例について
議案第17号 美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について
議案第18号 美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例について
議案第19号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）
議案第20号 平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第21号 平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第22号 平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）

- 議案第23号 平成25年度美浜町一般会計予算
 議案第24号 平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算
 議案第25号 平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算
 議案第26号 平成25年度美浜町介護保険特別会計予算
 議案第27号 平成25年度美浜町土地取得特別会計予算
 議案第28号 平成25年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計予算
 議案第29号 平成25年度美浜町水道事業会計予算

◎ 本日の会議に付した事件

[議事日程に同じにつき省略]

◎ 本日の出席議員（14名）

1番	大崎卓夫君	2番	中川博夫君
3番	石田秀夫君	4番	千賀荘之助君
5番	山本辰見君	6番	鈴木美代子君
7番	野田増男君	8番	森川元晴君
9番	杉浦剛君	10番	山本和久君
11番	丸田博雅君	12番	島田昭夫君
13番	磯部輝次君	14番	家田昇君

◎ 説明のため出席した者の職、氏名（26名）

町長	山下治夫君	副町長	石川達男君
教育長	山田道夫君	会計管理者	神谷信行君
総務部長	森田篤君	企画部長	榎山博資君
厚生部長	家田兵蔵君	経済環境部長	久野元嗣君
建設部長	片岡勝君	教育部長	山森隆君
総務課長	牧守君	防災安全課長	本多孝行君
税務課長	大岩哲治君	企画政策課長	大井徳男君
秘書広報課長	谷川徳寿君	住民福祉課長	岩瀬知平君
保険課長	山下幸子君	健康推進課長	飯味拓次君
農業水産課長	永田哲弥君	商工観光課長	竹内康雄君
環境保全課長	齋藤博君	土木課長	廣澤辰雄君
都市計画課長	齋藤功君	水道課長	伊藤昭一君
生涯学習課長	坂本順一君	学校給食センター所長	森川幸二君

◎ 職務のため出席した者の職、氏名（2名）

議会事務局長 岩本修自君

局長補佐兼
議会係長 日比郁夫君

[午前9時00分 開会]

○議長（丸田博雅君）

皆さん、おはようございます。

平成25年第1回美浜町議会定例会開催に当たり、皆様の御出席をいただきましてありがとうございます。

大変厳しかった冬の寒さも少し和らいできましたが、2日前でしたか、3日には、北海道で母子4人を初め8人のとうとい命が、寒さの車中などで亡くなりました。

一方、雪のない我が愛知県内におきましては交通事故が多発しており、2月22日から今月の3日の10日間の間に死者が10名に上っております。3日現在で交通死亡事故は48人、全国でワーストワンでございます。非常に、ワーストワンは、ややもすると耳なれておるかもしれませんが、前年同期に比べて16人も多いという報道がありました。皆さんもくれぐれも気をつけられて、安全運転をお願いしたいものでございます。

なお、お手持ちの携帯電話のマナーモードか電源を切るかを、ひとつお確かめをお願いいたします。

それでは、開会に先立ち、町長より招集の御挨拶をお願いいたします。

町長。

[町長 山下治夫君 登壇]

○町長（山下治夫君）

皆さん、おはようございます。

本日は、平成25年第1回美浜町議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆様には大変御多忙のところ御出席賜りまして、まことにありがとうございました。

暦の上では本日3月5日は二十四節気の啓蟄に当たりまして、皆様も御存じのことと思いますが、「啓」は開く、「蟄」は土中で冬ごもりをしている虫の意味で、大地が暖まり、冬眠していた虫が春の訪れを感じ、穴から出てくるころをいいます。

まだまだ寒い時期ではありますが、一雨ごとに気温が上がり、日差しも徐々に暖かくなってきます。春雷はひととき大きくなりやすい時期でもあります。

私ども執行部におきましても、新しい年度を迎えるに当たり、新たな気持ちで、職員一丸となって精いっぱい事業に取り組んでまいりたいと考えております。

今定例会に、新たな事業も含めまして予算を計上させていただきましたが、住民を幸せにしたい、すばらしいまちづくりをしたいという願いを込めて編成させていただいた予算でございます。

議員の皆様方におかれましては、十分御審議いただきまして、私ども執行部に対しまして、事業遂行の指針となるべき御指導、御助言をいただきますようお願いを申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

ありがとうございました。

それでは、会議に入ります。

ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、これより平成25年第1回美浜町議会定

例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

監査委員より、平成24年11月分、12月分及び平成25年1月分に関する現金出納検査結果の報告及び定期監査・財政的援助団体の監査の結果の報告がありましたので、報告書の写し、並びに本定例会に説明員として出席の報告のあった者の職、氏名の一覧表をお手元に配付しましたから御確認願います。

以上で、議長の諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（丸田博雅君）

それでは、日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、議長において2番 中川博夫君、10番 山本和久君を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（丸田博雅君）

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から3月21日までの17日間としたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日から3月21日までの17日間と決しました。

日程第3 平成25年度の施政方針について

○議長（丸田博雅君）

日程第3、平成25年度の施政方針についてであります。

町長、登壇願います。

〔町長 山下治夫君 登壇〕

○町長（山下治夫君）

平成25年第1回美浜町議会定例会の開会に当たり、私の町政運営に対する施政方針と予算の大綱を申し述べ、議会並びに町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

昨年12月に実施された第46回衆議院議員総選挙により、3年3カ月にわたり政権を維持してきた民主党から自由民主党へと政権が交代しました。

3年前、民主党の掲げるマニフェストに多くの国民が期待し、国政を託したはずでした。結果として、民主党はその期待に十分応えることができなかったということでしょう。

これは、私にとっても、町民の負託を受け、町民の期待に応えなければならない立場と、町政を預かる身とし

て、時には厳しい決断をしなければならない現実の狭間に身を置く者として、深く考えさせられる結果でもありました。

さて、新しく政権を担うこととなった自由民主党は、「日本を、取り戻す。」とのスローガンのもと、現在の危機的な状況から日本を立て直すことを目指しており、これまでの民主党政権において実施されてきた施策の方向転換を推し進めています。

既に国は、緊急経済対策として平成24年度補正予算と新年度予算を合わせた切れ目のない経済対策を打ち出し、各自治体にも補正予算を活用した新年度予算の前倒し実施を求めてきております。

補正予算に伴う補助事業を前倒して実施した場合には通常と比べ有利な財政支援が措置されることから、本町も新年度予算において予定しておりました小・中学校トイレの大規模改修を初めとする幾つかの事業を急遽、平成24年度補正予算として3億3,000万円を前倒し計上することとしました。

今後も国・県の動向を注視し、正確な情報の把握、的確な対応に心がけてまいりたいと考えております。

さて、毎年度、当初予算の編成に当たり、職員に編成方針を通達しております。平成25年度当初予算の編成に当たり私が職員に指示したことは、まちづくりの4本柱、基本方針にある、1、安心・安全のまちづくり、2、健康、3、教育、4、地域の活性化の実現を念頭に予算を編成するように、ただし、町財政を取り巻く状況は、地価の下落、景気の低迷、人口の減少等、非常に厳しく、新たな事業を実施するための財源はこれまで実施してきた事業を見直さなければ生まれてこないことを認識し、今、何をすべきか、どこまでが身の丈に合っているかをよく考え予算を計上するようにということとございました。

その予算編成でございますが、政権交代による経済対策の影響で株価が上昇に転じ、景気回復への期待感が生まれつつありますが、企業業績及び個人所得の上昇に結びつくまでには至らず、ほぼ全ての税目において減収が見込まれる中、大変厳しい判断を求められるものでした。

それでは、新年度予算の概要について、新規事業を中心に簡単に説明させていただきます。

1、安心・安全のまちづくりとしましては、防災対策として、平成25年11月17日曜日に愛知県と合同で、津波・地震防災訓練を実施します。この訓練を、町及び町民の防災意識の高揚と防災体制の確認、整備の絶好の機会と捉え、町を挙げて実施してまいりますので、皆様の御協力をお願いします。

また、防災コーディネーターの養成、防災資機材の整備、同報無線に対応したラジオつき戸別受信機の販売など、住民の生命と財産を守る防災対策を重点的に実施してまいります。

防犯対策としましては、防犯灯のLED化を図るとともに、本年度の知多奥田駅に続き、河和駅前の駐輪場に防犯カメラを設置いたします。これは、知多奥田駅においてカメラ設置後、自転車の盗難件数が大幅に減少した実績を受けてのものでございます。

安心して子育てができる環境の整備としまして、自由契約児の保育料の引き下げを初め、西部地区野間保育所に子育て支援センターを開設するほか、新たに奥田保育所において障害児母子通園体制を整え受け入れるとともに、放課後児童クラブにおきましても町内各小学校区の児童も利用できる体制を整え、子育て支援を積極的に行ってまいります。

一方、高齢化社会の進展に伴い、車を持たない方々を初めとして、要援護者対策の要望が求められ続けています。こうした状況を踏まえ、高齢により免許証を返上し、交通手段を失った方、または免許証を持たない70歳以上の方々を対象としたタクシー利用助成制度を新たに実施してまいります。

この高齢者タクシー事業により最寄りの町巡回バス停留所等までの移動手段が確保され、交通弱者の救済が図られるものと考えております。これは、3年前より担当部局に事業化の検討を指示してきましたが、財源不足に

より実現できなかった事業であり、今回、保養所利用券の対象者を70歳以上に引き上げるにより、予算を計上させていただくこととしたものでございます。

歳入が伸び悩み減少に転じる中、こうした声に応えていくため、サービス対象年齢の引き上げを含む各種事業の見直しをしなければ財源を生み出すことはできず、苦渋の決断ではございましたが、御理解をいただくようお願いいたします。

自転車通学者及び歩行者の安全対策として、奥田橋の歩道橋について、本年度の下流側に続き、上流側にも歩道橋を設置するための設計委託料を計上したほか、ひえぞ橋、河浦橋の補強・改修工事に要する経費を計上いたしました。

2の健康対策としましては、議会からも御要望をいただいております障害者福祉手当の拡大について、身体障害者手帳で障害5級、6級の方を対象とする手当を新たに支給することとしたほか、精神障害者保健福祉手帳1級、2級所持者の方について、精神障害者医療、全疾患に係る入院及び通院の自己負担額を町単独助成として追加させていただきました。

さらに、昨年同様、肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブワクチン等の接種補助を継続し、子ども医療費に関しても、中学校卒業までの医療費無料化についても継続とし、歯周疾患の健康診査事業を初め、特定健診に個別健診を取り入れ実施するなど、必要な事業を継続実施してまいります。

新たに、生活習慣の改善に有効な動脈硬化検査を追加実施してまいります。

また、国民健康保険特別会計の財政状況悪化に伴う保険者への影響を考慮し、一般会計も非常に厳しい状況ではありますが、繰入金という形で赤字を補填することとしました。

3の教育につきましては、新たに地域行政大学（仮称）を開設するための準備会を立ち上げます。

この大学は学校教育法上での大学ではなく、これまでの人生経験や知識を伝え、ともに学び実践することによって共創、協働のまちづくりに役立てていくための場であり、平成25年度秋の開講を目指してまいります。

さらに、特別支援学級アシスタント、学校生活支援員、情報教育アドバイザー等の事業も継続いたします。

国際交流事業につきましては、シンガポールの小・中学校との交流を引き続き行い、未来を担う子供たちに国際理解と文化交流を培ってまいります。

また、国の経済対策により今3月補正予算に計上した小・中学校のトイレ改修を繰り越し実施するほか、中学校校会議室の空調設備設置を初めとする学校設備の充実、総合公園体育館の空調等設備の更新、テニスコートの張りかえ、学校給食センターの調理設備の更新など、必要な整備を図ってまいります。

最後に、4の地域の活性化でございますが、行政として常に取り組むべき課題であり、今、この経済が疲弊し活力を失っている状況にあっては、多少の無理をしてでも町を活性化するために率先して事業展開する必要があると考え、本年度大変好評となりました商工会によるプレミアム商品券の発行事業について、来年度は商工会の強い要望もあり、増額補助させていただきます。

また、観光の発信拠点である食と健康の館について、指定管理者制度として運営形態は変わりましたが、屋外食事スペースとドッグランを新たに整備させていただき、さらなる集客と情報の発信に努めてまいります。

さらに、これまで地元から御要望をいただき懸案となっておりました、美浜の海の観光の玄関とも言える河和港の駐車場について、放置車両等により美観を損ねるだけでなく、防犯上の問題も発生していることから、防犯カメラつき有料駐車場として整備をし、管理運営してまいります。

また、河和港観光総合センターのトイレについても、多目的トイレの設置、便器の洋式化等の改修を実施してまいります。

農業振興につきましては、平成24年度に引き続き、新規就農者支援事業の実施を初め、農業生産総合推進事業補助金の交付などを行ってまいります。

さらに、平成25年度より奥田地区における土地改良事業、みはま地区内の農道舗装に着手するなど、必要な補助、整備を着実に実施してまいります。

農業と並ぶ美浜の基幹産業である漁業振興につきましても、漁場改良、漁場の造成を補助するとともに、アサリの放流、漁業者みずから考える活性化事業に対する助成など、強力に後押しさせていただきます。

なお、本年度、テレビ番組「もてもてナインティナイン」の放送により本町の名は全国に知れ渡り、その宣伝効果は非常に大きなものがありました。本来の目的でもある婚活支援という面でも、既に結婚を決めたカップルが誕生していると伺っており、大成功であったと考えております。新年度には、婚活支援を担当する係をつくり、より強力に婚活支援に取り組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

これら事業を含む新年度予算に要する経費として、68億9,600万円を見込みました。昨年と比較して5,600万円、率にして0.8%の減でございます。

減額の主な要因は、平成24年度において河和中学校の柔剣道場兼木工金工教室を建設したこと及び平成25年度当初予算において計上を予定しておりました小・中学校のトイレ改修事業を今補正予算に前倒し計上したことによる減でございます。

これに伴いまして、歳入においても教育施設整備基金の繰り入れがなくなり、基金繰り入れ全体としても減額となっております。

財政調整基金繰入金につきましては大幅な増額となっておりますが、今議会において追加計上した国庫補助事業の地方負担額に応じて交付される交付金見込み額を差し引いた財政調整基金からの繰入金はほぼ平成24年度並みとなっておりますので、よろしく願いいたします。

また、地方交付税についても、地方公務員給与の削減を前提とした算定による減額等を考慮し、減額計上させていただいております。

国より要請があります職員給与の削減については、本町職員と国家公務員給与との実態比較、近隣市町の対応等総合的に考慮し、適切に対応させていただきます。

なお、職員研修の一環として、これまで県への職員派遣を行ってまいりましたが、平成25年度からは、厚生労働省へ2年間、職員を派遣いたします。

特別会計につきましては、国民健康保険特別会計を初めとする5特別会計の予算総額は43億3,858万円で、前年対比6.2%の増となりました。

企業会計におきましては、水道事業会計、収入総額5億6,543万円、支出総額6億9,536万円で、前年対比は、収入においては11.0%、支出においても18.4%の増となりました。

これら一般会計、特別会計、企業会計を合わせた美浜町予算の総額は支出額119億2,994万円で、前年対比2.6%の増となりました。

今後も住民との対話を重視して身の丈に合った行政に取り組み、常に現場目線で、現状に立ちどまることなく、未来を担う子供たちに「住んでよかったと思えるまち、みはま」を引き継げるよう、町政を進めてまいります。

皆様の御理解と御協力を重ねてお願いし、平成25年度の施政方針とさせていただきます。

最後に、昨年12月の第4回美浜町議会定例会において、美浜柿谷特定土地区画整理事業への支援を求める請願が可決され、議長より私に提出されましたことに関しまして、現在の私の考え方を申し述べます。

私は請願可決を非常に重く受けとめています。今後については、私も組合員の方々と同様に、一日も早く精算

し、保存登記事業までの完了を望んでいます。

また、県より解散に向けての指導もいただいておりますので、諸事情を十分考慮して、行政の財政支援につきまして慎重に判断してまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

[降 壇]

○議長（丸田博雅君）

これをもって、平成25年度の施政方針についてを終わります。

日程第4 発議第1号 美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例についてから

発議第2号 美浜町議会会議規則の一部を改正する規則についてまで2件一括

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第4、発議第1号、美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例についてから発議第2号、美浜町議会会議規則の一部を改正する規則についてまで、以上2件を一括議題とします。

以上2件について、提出者より提案理由の説明を求めます。

9番 杉浦剛君、説明願います。杉浦君。

[9番 杉浦剛君 登壇]

○9番（杉浦 剛君）

皆さん、おはようございます。

発議第1号、美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例について御説明いたします。

本条例を提出するのは、地方自治法の一部を改正する法律（平成24年法律第72号）が平成24年9月5日に公布されたことにより現行条例を改正する必要性が生じたため、本条例の一部を改正するものでございます。

主な内容といたしましては、法において定められた委員会に関する規定が条例に委任され、各自治体の条例で定めることとなったため、新たに定めることになりました。

第4条関係、「特別委員は、委員会に付議された事件が議会において審議されている間在任する。」、第5条関係、「議員は、少なくとも一の常任委員となるものとする。」とするものでございます。

施行期日は公布の日とするものでございます。

次に、発議第2号、美浜町議会会議規則の一部を改正する規則について御説明いたします。

本規則を提出するのは、地方自治法の一部を改正する法律（平成24年法律第72号）が平成24年9月5日に公布されたことにより現行規定を改正する必要性が生じたため、本規則の一部を改正するものでございます。

主な内容といたしましては、第72条関係、地方自治法の一部改正に伴い、議会運営委員会の所掌事務の条項が改められたことにより変更するもの、第14章、第15章関係、本会議においても公聴会の開催や参考人の招致ができることとなったため、規則に規定するものでございます。

施行期日は公布の日とするものでございます。

なお、これらの条例改正及び規則改正に当たっては議会運営委員会で十分に協議をして合意に至ったものでございまして、議会運営委員会委員全員による提出となりましたことを申し添えさせていただきます。

以上、慎重な審議をお願いいたしまして、提案理由の説明とさせていただきます。

[降 壇]

○議長（丸田博雅君）

提案理由の説明が終わりました。

これよりただいま議題となっております議案について、順次議事を進めてまいります。
最初に、発議第1号、美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例についてを議題とします。
これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。
お諮りします。本案は委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。
これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。
これより発議第1号、美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例についてを採決します。
本案に賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。
続いて、発議第2号、美浜町議会会議規則の一部を改正する規則についてを議題とします。
これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。
お諮りします。本案は委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。
これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。
これより発議第2号、美浜町議会会議規則の一部を改正する規則についてを採決します。
本案に賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

日程第5 報告第1号 専決処分事項の報告についてから

議案第29号 平成25年度美浜町水道事業会計予算まで32件一括提案説明

○議長（丸田博雅君）

日程第5、報告第1号、専決処分事項の報告についてから議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算まで、以上32件を一括議題とします。

以上32件について、提案理由の説明を求めます。

町長、説明願います。

〔町長 山下治夫君 登壇〕

○町長（山下治夫君）

本日御提案申し上げますのは、報告第1号、専決処分事項の報告についてを初め32件でございます。全議案お認めいただきますようお願い申し上げ、早速、提案理由の御説明をさせていただきます。

初めに、報告第1号、専決処分事項の報告についてでございますが、この事故は、去る1月4日に美浜町大字奥田字海道田119地先の町道3102号線におきまして、常滑市のプロパンガス会社所有の軽トラックが、プロパンガスのメーター検針のため、道路内の集水ます用鉄板ふたの上を通過した際、老朽化により変形したふたを前輪ではね上げ、軽トラックのエンジン部分が破損いたしました。

この事故に関しまして双方で話し合いを行った結果、示談が成立し、損害賠償金として車両修理費の全額34万2,833円を町が支払うことで協議が調いました。よって、地方自治法第180条第1項の規定により、損害賠償の額及び和解について、2月12日付で専決処分させていただきましたので、同条第2項の規定に基づき、議会に御報告申し上げます。

なお、損害賠償金につきましては、本町が加入しております全国町村会総合賠償補償保険から支払われ、本町の直接の負担はございませんので、あわせて御報告いたします。

次に、同意第1号、美浜町監査委員の選任についてでございますが、現在、識見を有する監査委員としてお願いしております荒川寛氏の任期が平成25年3月31日で任期満了となりますので、新たに識見を有する監査委員を選任する必要があり、都筑金臣氏を選任させていただきたく、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意をお願いするものでございます。

都筑金臣氏は、長きにわたり株式会社野間砂鉱業所に勤務され、平成元年からは代表取締役就任され、人格が高潔で、事業の経営管理、財政運営にすぐれた識見を有し、知識、経験とも豊かで監査委員として適任でありますので、御同意を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、任期につきましては、平成25年4月1日より4年間でございます。

次に、同意第2号、美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任についてでございますが、現在、委員としてお願いいたしております山本義忠氏が来る3月31日をもちまして任期満了となりますが、引き続き住民の代表として山本義忠氏を選任させていただきたく、地方税法第423条第3項の規定により議会の同意をお願いするものでございます。

なお、任期につきましては、地方税法第423条第6項の規定に基づき、平成25年4月1日から平成28年3月31日までとするものでございます。

次に、議案第1号、第5次美浜町総合計画基本構想の策定についてでございますが、この基本構想は、本町が目指すべき将来像を明らかにするとともに、その将来像を実現するための基本的な方向と施策の大綱を示すために、平成26年度から始まり、平成37年を目標年次とする12年間の実施期間とさせていただきます。

第5次総合計画は、住民参画と職員の手づくりによって策定したもので、町内各学区のワークショップで議論を積み上げるとともに、職員が練り上げた素案と合わせた意見を掲げ、今回新たに最重要課題として戦略プロジェクトとして位置づけるものでございます。

この総合計画は、美浜町総合計画審議会条例に基づき、平成24年8月2日に公共的団体の役員を初めとする23名の方々に構成する審議会に諮問いたしました。5回の審議会におきまして活発な議論を経まして、1月24日に答申をいただきましたので、美浜町総合計画策定条例第4条の規定により議会に議決をお願いするものでございます。

基本構想は、第4次総合計画を継承しつつ、新たな計画を組み入れまして、将来を展望したまちづくりの基本理念を「ひと・まち・自然、健康に輝くまち みはま」とし、多様な主体がお互いの役割と責任を確認しながら、支え合いと活気に満ちた協働による持続可能なまちづくりを推進してまいります。

また、将来の推計人口は、コーホート要因法を用いて推計し、2万2,500人と想定しております。

さらに、土地利用の方向性につきましては8つのゾーンを想定しておりますが、持続可能なまちづくりの視点から、第4次総合計画からの大幅な土地利用の変更は予定しておりません。

また、施策の大綱と戦略プロジェクトにつきましては、「自然を生かし、快適に住み続けられるまちづくり」を初め、6本の大綱の柱を掲げるとともに、その大綱を横断的にカバーし、戦略プロジェクトとして位置づける課題を中心に、その達成のための具体的な取り組みを明確にするなど、新しい取り組みも構想として掲げておりますので、よろしく御審議いただきますよう、お願い申し上げます。

次に、議案第2号、美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例についてでございますが、地方自治法の一部改正に伴いまして、本条例の一部を改正するものでございます。

施行日につきましては、公布の日から施行するものでございます。

次に、議案第3号、美浜町消防団条例の一部を改正する条例についてでございますが、少子化の進行及び地元就業者数の減少等、社会情勢の変化により、消防団員を確保することが年々難しくなっており、定員の適正化を図るため、本条例の改正をお願いするものでございます。

また、あわせて、字句及び表現の修正をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

施行日につきましては、平成25年4月15日から施行するものでございます。

次に、議案第4号、美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例についてでございますが、道路法施行令の改正に伴いまして、道路占用許可対象物に太陽光発電設備等及び津波避難施設の追加とあわせ、占用料を定めるため、本条例の改正を行うものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第5号、美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による道路法の一部改正に伴いまして、市町村道の技術的基準は、道路管理者である地方公共団体の条例で定めることとされたため、新たに本条例を制定するものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第6号、美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による道路法の一部改正に伴いまして、市町村道に設ける道路標識のうち、内閣府令、国土交通省令で定めるものの寸法は、市町村道

の道路管理者である地方公共団体の条例で定めることとされたため、新たに本条例を制定するものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第7号、美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による高齢者、障害者等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴いまして、道路管理者は、その管理する道路を道路移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置を講ずるよう努めなければならないとされたため、新たに本条例を制定するものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第8号、美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による公営住宅法施行令の一部改正に伴いまして、本条例の一部改正をお願いするものでございます。

内容としましては、国土交通省令で定められていた公営住宅等の整備基準を条例にて制定することとなったものでございます。また、公営住宅法施行令に定められておりました公営住宅の入居者資格要件のうち、収入基準などを条例にて制定することとなったものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第9号、美浜町都市公園条例の一部を改正する条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による都市公園法の一部改正に伴いまして、本条例の一部改正をお願いするものでございます。

内容としましては、都市公園法施行令で定められております都市公園の配置及び規模の基準等を条例で制定することとなったものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第10号、美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴いまして、公園管理者は、その管理する特定公園施設を都市公園移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととされたため、本条例を新たに制定するものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第11号、美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による下水道法の一部改正に伴いまして、本条例の一部改正をお願いするものでございます。

内容といたしましては、下水道法施行令で定められております都市下水路の施設の構造及び維持管理に関する基準等を条例で制定することとなったものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第12号、美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の基準に関する条例についてでございますが、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による河川法の一部改正に伴いまして、河川管理上必要とされる技術的基準は市町村の条例で定めることとされたため、本条例を新たに制定するものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第13号、町道路線の廃止及び認定についてでございますが、今回の主なものといたしましては、現地調査に伴う町道路線の廃止及び認定でございます。

これらの道路の廃止及び認定につきましては、道路法の規定により議会の議決をお願いするものでございます。

次に、議案第14号、美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例についてでございますが、障害者福祉手当の支給対象者を身体障害者手帳5級及び6級まで拡大することに伴いまして、本条例の一部改正をお願いするものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第15号、地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例についてでございますが、法律の施行に伴いまして、障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律となり、日常生活、社会生活の支援を総合的かつ計画的に行うことが法律の基本理念に新たに掲げられたため、関係条例を改正するものでございます。

施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。ただし、第3条及び第6条の改正については、平成26年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第16号、美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例についてでございますが、障害者自立支援法施行令の一部改正に伴う改正並びに精神障害者医療費の支給拡大に伴いまして、本条例の一部を改正するものでございます。

内容でございますが、第1条の改正につきましては、障害者自立支援法の一部改正に伴いまして、障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に改められ、関連する引用条文とあわせて改正するものでございます。

第2条につきましては、精神障害者医療費の支給対象の改正をお願いするものでございまして、町単独により精神障害者保健福祉手帳の1級または2級の交付を受けている方の支給対象を全疾患の通院及び入院に拡大するための規定の整備を行うものでございます。

施行日につきましては、第1条の規定は平成25年4月1日から、第2条の規定につきましては平成25年10月1日から施行するものでございます。

次に、議案第17号、美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例についてでございますが、介護保険法の一部改正に伴いまして、これまで厚生労働省令で定められておりました指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等が市町村の条例で定めることとされましたので、本条例を新たに制定するものでございます。

制定に当たりましては、郡内の2市4町及び知多北部広域連合におきまして統一として、厚生労働省令の基準を適用する規定整備を行うこととしております。

なお、施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第18号、美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例についてでございますが、介護保険法の一部改正に伴いまして、これまで法令等で定められておりました指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等が市町村の条例で定めることとされましたので、本条例を新たに制定するものでございます。本条例の制定につきましても前議案同様、郡内市町統一により厚生労働省令の基準を適用した規定となっております。

なお、施行日につきましては、平成25年4月1日から施行するものでございます。

次に、議案第19号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）についてでございますが、第1条におきまして、3億2,331万4,000円を増額し、補正後の予算総額を76億5,463万2,000円とするものでございます。

第2条におきましては、今回の補正予算に係る事業のうち平成25年度に繰り越す事業について、繰越明許費として定めさせていただくものでございます。

第3条、地方債におきましては、事業費の確定に伴う変更及び今回の補正予算により計上する事業に対する追加をさせていただくものでございます。

歳出予算の主な内容について御説明を申し上げます。

2款総務費、総務管理費におきましては、石田秀夫議員除名処分取り消し等請求事件の控訴審に係る着手金を計上させていただきました。

また、7月の補正予算においてお認めいただきました庁舎・保健センター発電機及び受変電設備更新工事の事業費確定に伴います減額を計上するとともに、小野浦区有地売却に伴います行政協力特別交付金を計上させていただきました。

なお、本補正による剰余金を財政調整基金に積み立てさせていただいております。

3款民生費におきましては、平成24年度決算見込みに基づきまして、介護保険特別会計及び国民健康保険特別会計に対する法定繰出金を追加計上するとともに、障害者福祉費におきましても障害福祉サービス費の追加及び地域生活支援事業の減額をさせていただきました。

4款衛生費におきましても、健康診査事業及び予防接種事業の執行残見込み額を減額させていただくとともに、平成23年度に実施いたしましたがん検診推進事業の精算に伴います感染症予防事業費等国庫補助金返還金を計上いたしました。

また、知多南部衛生組合及び知多南部広域環境組合に係る分担金につきましても、決算見込みに基づく不要額を減額計上させていただきました。

6款農林水産業費におきましては、6月の補正予算においてお認めいただきました新規就農者支援事業に係る青年就農給付者の確定に伴いまして交付金を減額するほか、老朽ため池整備事業費確定に伴う県営事業負担金の減額を計上させていただきました。

7款商工費におきましては、食と健康の館において運営を委託しております小野浦区への事業推進及び施設整備に対する補助金を計上いたしました。

なお、この事業に対しましては、国の補正予算による地域経済循環創造事業の活用により全額国費が交付されることとなっております。

8款土木費におきましては、国の補正予算により町道奥田・河和線の路面損傷状況を調査し、舗装修繕するための費用及び町が管理する橋梁の損傷状況を把握するための点検委託に要する経費を計上させていただきました。

また、土地取得特別会計において先行取得させていただきました町道3106号線の道路用地について、一般会計において買いかえさせていただくための予算を計上させていただきました。

9款消防費におきましては、ラジオつき戸別受信機の入札執行残を減額計上させていただきました。

10款教育費におきましては、平成25年度当初予算において計上を予定しておりました小・中学校のトイレ改修事業を計上させていただきました。

より有利な財政支援が措置された国の補正予算を活用するための計上であり、補助事業の対象となる河和、河和南部、野間、奥田の各小学校及び河和、野間の両中学校のトイレ改修を実施するものでございます。

なお、このトイレ改修事業を含む国の補正予算による事業につきましては、平成25年度に繰り越し実施させていただきます。

また、美浜町出身の競艇選手である磯部誠様の御寄附を財源としまして、美浜町・日本福祉大学スポーツクラブ準備負担金の増額を計上させていただきました。

次に、歳入予算の内容について御説明申し上げます。

歳出におきまして御説明させていただきました障害福祉サービス事業の増額に対する補助金として、14款国庫支出金及び15款県支出金において、障害者自立支援給付費負担金及び障害児施設措置負担金を計上するとともに、国民健康保険特別会計への保険基盤安定負担金を増額計上させていただきました。

地域生活支援事業補助金につきましても、事業費の減に伴いまして、14款国庫支出金及び15款県支出金を減額計上させていただきました。

このほか、14款国庫支出金におきまして、国の補正予算による道路新設改良事業補助金、橋梁耐震調査等事業費補助金、学校施設環境改善交付金及び地域経済循環創造事業交付金を追加計上させていただきました。

15款県支出金におきましては、10月1日専決処分により実施させていただきました港湾施設災害復旧工事に対する流木等処理負担金を計上するとともに、事業費確定に伴いまして、新規就農総合支援事業給付金及び緊急市町村地震防災対策事業補助金を減額計上させていただきました。

16款財産収入につきましては、小野浦区有地の県への売り払い収入でございます。

17款寄附金は、歳出においても御説明させていただきましたが、美浜町出身の競艇選手である磯部誠様が優勝賞金の一部を美浜町のスポーツ振興に役立てるために御寄附いただいたものでございます。

18款繰入金は、小・中学校のトイレ改修事業に充当するため、教育施設整備基金を取り崩すものでございます。

20款諸収入におきましては、事業費確定に伴いますがん検診科を減額計上したほか、平成23年度の後期高齢者医療療養給付費負担金確定に伴う精算金を計上させていただきました。

21款町債におきましては、事業費の確定に伴う減額並びに国の補正予算に伴いまして計上させていただきました事業に対する起債額を追加計上させていただきました。

なお、国の補正予算に伴う予算計上に対する国の財政支援について、簡単に御説明をさせていただきます。

本補正予算におきまして、小・中学校トイレ改修事業及び町道奥田・河和線舗装修繕工事を計上させていただいておりますが、国の補正予算を受けて実施するこの2つの建設事業につきましては、補助対象事業費から補助金を除いた町負担分に対しまして、その償還金の半分を後年度におきまして交付税算入される補正予算債という特別な起債を充当できるだけではなく、町負担分の約8割を地域の元気臨時交付金としまして、平成25年度に交付されるものでございます。

したがいまして、今回の補正予算において計上いたしました当該事業に係る起債額1億8,940万円の償還金の半分が交付税措置されるだけでなく、町負担分の1億8,978万円の約8割に当たる1億5,000万円余りが来年度交付金として見込まれるものでございます。

こうした有利な措置を活用することにより、特に小・中学校のトイレ改修におきましては、当初予定しておりました町の一般財源による負担額を大幅に減額しながら、より充実した改修を実施することができ、ありがたく感じております。

以上が補正予算の概要でございます。

次に、議案第20号、平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてでございますが、今回の補正額は、歳入歳出それぞれ10万4,000円を増額し、補正後の予算総額を25億728万円とするものでござい

す。

予算の内容についてでございますが、歳出につきましては、1款総務費におきまして、高齢者医療制度円滑運営事業に係る経費を計上いたしました。

歳入におきましては、3款国庫支出金におきまして、高齢者医療制度円滑運営事業費補助金を計上いたしました。

9款繰入金につきましては、保険基盤安定繰入金の増及び財政調整基金繰入金の減を計上いたしました。

次に、議案第21号、平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）についてでございますが、今回の補正額は、歳入歳出それぞれ8,100万円を追加し、補正後の予算総額を14億5,871万1,000円とするものでございます。

予算の内容についてでございますが、歳出につきましては、2款保険給付金におきまして、居宅介護サービス給付費の増を計上いたしました。

歳入につきましては、増額となりました居宅介護サービス給付費の決算見込み額に対しまして、2款国庫支出金、3款支払基金交付金、4款県支出金及び6款繰入金をそれぞれ増額計上させていただきました。

次に、議案第22号、平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）についてでございますが、第1条におきまして、歳入歳出それぞれ1,085万1,000円を追加し、補正後の予算総額を4,690万7,000円とするものでございます。

補正予算の内容でございますが、一般会計への売り払いに伴いまして、土地売却収入及び土地開発基金償還金を計上させていただきました。

次に、議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算についてでございますが、第1条は予算総額を、前年度当初予算に対しまして、5,600万円、0.8%減の68億9,600万円とするものでございます。

第2条の地方債におきましては、臨時財政対策債のほか、道路整備事業など適債事業に係る起債4億3,260万円を予定するものでございます。

第3条の一時借入金におきましては、借入限度額を前年度と同額の2億円と定めるものでございます。

第4条の歳出予算の流用におきましては、款内流用ができる経費として、給料、職員手当及び共済費を定めさせていただくものでございます。

次に、歳出予算の主な内容につきまして、款別に御説明させていただきます。

1款議会費におきましては、議会運営に要する経費を計上させていただきました。

2款総務費におきましては、総務管理、徴税、戸籍住民基本台帳、選挙、統計、監査に要する経費を計上いたしました。

このうち、総務管理費において、新たに国に職員を派遣させていただく予算を計上させていただきました。

また、地域の皆様が、これまでの人生経験を生かし、社会貢献を志す人を応援する場、地域文化をともに学び継承していく場といたしまして地域行政大学を、日本福祉大学と連携しこの秋を目標に設立するための予算も計上させていただきました。

このほか、防犯灯を順次LEDに交換していくための予算、選挙費におきまして、夏に実施される参議院議員通常選挙費を計上させていただいております。

3款民生費におきましては、社会福祉及び児童福祉に要する経費を計上いたしました。主な事業としましては、社会福祉事業、敬老事業、障害福祉サービス事業、障害者医療、子ども・母子家庭医療を含む福祉医療支給事業のほか、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険特別会計に対する繰り出しでございます。

新規事業として、社会福祉費におきまして70歳以上の免許証をお持ちでない方、免許証を返上された方を対象とした高齢者タクシー助成事業を計上させていただいたほか、障害5・6級に対する手当、精神障害者への医療費助成の拡大に係る経費も計上させていただきました。

また、収支が悪化している国民健康保険特別会計に対し、新たな繰出金を計上させていただきました。

児童福祉費におきまして、野間保育所に子育て支援センターを新設するほか、奥田保育所内に母子通園施設を開設するための予算を計上いたしました。

4款衛生費におきましては、保健衛生、清掃並びに知多南部衛生組合及び知多南部広域環境組合に要する経費を計上いたしました。

主な事業としましては、健康診査事業、予防接種事業、母子保健事業、健康推進事業並びに合併処理浄化槽設置補助、住宅太陽光発電システム設置補助といった環境対策事業及び分別収集、ごみ減量化といった清掃事業でございます。

新規事業といたしましては、災害拠点病院の施設整備に対する補助金を単年度補助として計上させていただいたほか、これまでの検診に加え、動脈硬化検査を新たに追加計上させていただきました。

5款労働費におきましては、勤労者住宅資金融資制度預託金を初め、知多地区勤労者福祉サービスセンター負担金などの労働諸費を計上いたしました。

6款農林水産業費におきましては、農業、林業、水産業の育成及び振興等に要する経費を計上いたしました。

主な事業は、農業委員会の運営、農畜産団体及び水産団体への補助、農道、水路、ため池といった農業用施設の維持補修及び土地改良、愛知用水二期事業に対する償還金負担金、農地・水・環境保全向上対策事業、農業集落家庭排水処理施設特別会計への繰出金、町民の森維持管理事業などがございます。

新たに、農業振興地域整備計画の見直しのための調査費、農業者の機械器具購入に対する補助金、新規就農者への支援金を計上させていただいたほか、みはま地区土地改良事業区域内の農道舗装に着手させていただきます。

7款商工費におきましては、商工業振興、観光、消費者行政に要する経費を計上いたしました。

平成24年度に引き続きまして、商工会のプレミアム商品券発行に対する補助金を計上させていただきました。

また、愛知県緊急雇用創出事業基金を活用した観光資源PR事業を引き続き実施するほか、新たに歴史ボランティア団体を組織し、本町の魅力の情報発信に努めてまいります。

さらに、河和港観光総合センターのトイレ改修、食と健康の館野外食事スペースの整備に要する経費等についても計上させていただきました。

8款土木費におきましては、道路橋梁、河川、港湾、都市計画、町営住宅に要する経費を計上させていただきました。主な事業として、道路、河川、排水路の維持修繕事業のほか、県の森林税を財源とした美しい並木づくり事業、道路改良・舗装事業、排水路整備事業などを実施します。

新規事業としまして、河和港の駐車場整備、維持管理に要する経費、奥田橋の下り線に歩道を設置するための実施設計業務委託費、ひえぞ橋、河浦橋等の補強・改修工事、食と健康の館隣接地にドッグランを設置するための経費を計上させていただきました。

また、引き続き、総合公園遊歩道整備工事費を計上させていただいたほか、野間、奥田、両駅前及び総合公園周辺の整備に係る調査・計画策定委託料、空き地対策及び町営住宅建てかえのための調査委託料につきましても計上させていただきました。

9款消防費におきましては、知多南部消防組合の運営に係る分担金、消防団の運営及び消防施設の整備充実に要する経費を計上いたしました。

なお、平成25年11月17日日曜日に愛知県・美浜町、津波・地震防災訓練が開催されるため、町を挙げてこの訓練に取り組み、町全体の防災意識と対策の向上を図ってまいります。

また、戸別受信機の購入、防災行政無線、防災用トイレ等防災用資機材の整備、ボランティアコーディネーターの育成等、着実に災害対策を実施してまいります。

10款教育費におきましては、小・中学校を初め、公民館、図書館、町民グラウンド、給食センターなどの運営、維持補修に要する経費のほか、社会教育事業、文化財保護事業に要する経費を計上いたしました。

なお、小・中学校のトイレ改修につきましては、平成25年度に繰り越しして事業実施していくほか、総合公園体育館の空調施設を初めとする施設整備及びテニスコートの張りかえ、学校給食センターの調理器具更新等、必要な事業費を計上させていただきました。

また、美浜町文化協会の設立20周年記念事業に対する補助金も計上させていただいております。

12款公債費におきましては、町債の償還元金、利子及び一時借入金の利子に充てるための経費を計上いたしました。

次に、歳入予算についてでございますが、1款町税につきましては、土地・家屋評価の下落、人口減少、景気の低迷と明るい材料に乏しい状況であり、対前年比0.4%減の30億2,614万6,000円を見込みました。

2款地方譲与税、3款利子割交付金、5款株式等譲渡所得割交付金、6款地方消費税交付金については減額を、7款ゴルフ場利用税交付金につきましては増額を、4款配当割交付金、8款自動車取得税交付金については同額を、それぞれ実績等を勘案し、計上いたしました。

9款地方特例交付金につきましても、実績を考慮し、減額計上いたしました。

10款地方交付税につきましては、平成24年度の交付実績、地方公務員給与削減要請による影響額等を踏まえ、2,000万円の減額を見込みました。

11款交通安全対策特別交付金につきましては、実績に基づき、若干の増額を見込みました。

12款分担金及び負担金につきましては、保育所運営費が主なものでございますが、若干の減額となる見込みでございます。

13款使用料及び手数料につきましては、増額を見込みました。

14款国庫支出金につきましては、河和中学校柔剣道場兼木工金工教室整備事業の終了により教育費が減額となったものの、土木費の総合公園体育館施設整備事業に対する補助金の増により、全体として若干の増額となりました。

15款県支出金につきましても、総務費における参議院議員通常選挙執行委託金、農林水産業費における新規就農総合支援事業補助金の増等により増額となりました。

16款財産収入において減額となっておりますのは、基金運用期間及び利息の変動によるものでございます。

18款繰入金におきましては、教育施設整備基金繰入金の減により減となっておりますが、財政調整基金繰入金につきましては大幅な増となっております。

これにつきましては、今議会において補正予算で追加計上いたしました国庫補助事業の地方負担分に応じた交付金が新たに交付される予定であり、交付予定額を差し引いた財政調整基金からの繰入金はほぼ平成24年度並みとなっておりますので、よろしく願いいたします。

19款繰越金につきましては、同額を計上いたしました。

20款諸収入におきましては、若干の減額を見込みました。

21款町債におきましては、新規借入れの抑制及び県営老朽ため池整備事業に係る事業実施負担金の減により

減額計上いたしました。

以上が歳入の主な内容でございます。

自由民主党による経済対策により、長らく続いた我が国の景気低迷に一脈の光が差してきているようにも思えますが、イタリアの総選挙の結果を受け、再び世界経済に暗雲が立ち込めるなど、今日の経済はグローバル化しており、先行きの見通しを立てることが非常に困難な時代であります。こうした状況にあつて、今できること、やらなければならないことを取捨選択し、今後生まれてくる子供たちに「住んでよかったと思えるまち、みはま」を残せるよう、今、美浜に暮らす全ての人が安心・安全に過ごせるよう、職員とともに知恵を絞り、汗を流して邁進していく所存でございます。議員の皆様の御理解と御協力を切にお願いし、平成25年度一般会計予算の概要説明とさせていただきます。

次に、議案第24号、平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算についてでございますが、予算総額は歳入歳出それぞれ24億5,960万4,000円でございます。

その主な内容でございますが、歳出におきまして、保険給付費16億8,545万2,000円、後期高齢者支援金等3億2,153万2,000円、介護納付金1億4,046万7,000円、共同事業拠出金2億4,717万1,000円、保健事業費2,167万6,000円を計上いたしました。

歳入におきましては、国民健康保険税5億6,962万3,000円、国庫支出金4億5,164万2,000円、療養給付費等交付金1億8,164万1,000円、前期高齢者交付金5億8,906万2,000円、県支出金1億2,161万9,000円、共同事業交付金2億2,249万5,000円、一般会計からの繰入金1億4,849万3,000円、国民健康保険財政調整基金からの繰入金9,069万8,000円、前年度繰り越しにつきましては8,000万円を計上いたしました。

次に、議案第25号、平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算についてでございますが、予算総額は歳入歳出それぞれ2億4,206万5,000円でございます。

その主な内容でございますが、歳出におきまして、後期高齢者医療広域連合納付金2億3,172万9,000円でございます。

歳入におきましては、後期高齢者医療保険料1億8,683万7,000円、一般会計からの繰入金5,506万4,000円を計上いたしました。

次に、議案第26号、平成25年度美浜町介護保険特別会計予算についてでございますが、予算総額は、歳入歳出それぞれ15億7,057万7,000円でございます。

その主な内容でございますが、歳出におきまして、保険給付費で介護度1から5までに認定された方へのサービス給付費13億6,751万4,000円、要支援1・2と認定された方へのサービス給付費5,805万円、地域支援事業費2,789万8,000円でございます。

歳入におきましては、第1号被保険者保険料3億4,775万8,000円、国庫支出金3億544万6,000円、支払基金交付金4億4,130万円、県支出金2億2,957万2,000円、一般会計からの繰入金で2億1,747万2,000円、介護保険給付費準備基金からの繰入金2,873万8,000円を計上いたしました。

次に、議案第27号、平成25年度美浜町土地取得特別会計予算についてでございますが、予算総額は歳入歳出それぞれ3,605万6,000円でございます。

その主な内容につきましては、歳出におきまして、土地取得費に3,600万円、土地開発基金費に5万5,000円、土地開発基金償還金に1,000円を計上し、公共用地取得の円滑化を図るものでございます。

歳入におきましては、土地開発基金運用収入5万2,000円、土地売払収入1,000円、土地開発基金借入金3,600万円を計上いたしました。

次に、議案第28号、平成25年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計予算についてでございますが、歳入歳出予算総額はそれぞれ3,027万9,000円でございます。

歳出におきまして、総務費で職員の人件費等645万9,000円、事業費につきましては施設整備費で補助事業設計業務委託料300万円、公共ます設置工事等70万円、施設維持管理費におきましては、施設の保守点検、清掃委託等に798万7,000円、公債費につきましては、償還元金、利子を合わせて1,183万3,000円を計上いたしました。

歳入につきましては、排水施設使用料304万1,000円、一般会計繰入金2,093万3,000円、事業費県補助金192万円、排水事業債100万円を計上いたしました。

次に、議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算についてでございますが、業務量といたしまして、給水戸数8,476戸、年間総給水量307万8,064立方メートル、1日平均給水量8,433立方メートルでございます。

3条の収益的収支でございますが、収入におきまして4億8,618万円、支出におきまして5億323万4,000円となり、消費税込みの差し引きで1,705万4,000円の収入の減でございます。

次に、4条の資本的収支でございますが、収入におきまして7,925万1,000円、支出におきまして1億9,212万9,000円となり、収支不足額1億1,287万8,000円は、過年度分損益勘定留保資金1億755万6,000円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額532万2,000円で補填いたします。

主な事業といたしましては、国庫補助事業による緊急時給水拠点確保等事業、ポンプ場整備事業、配水管更新事業及び漏水管修繕事業でございます。

以上、32件につきまして、よろしくご審議いただき、全議案お認めいただきますようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わらせていただきます。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって、提案理由の説明を終わります。

○議長（丸田博雅君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

お諮りします。日程の都合により、あす3月6日と3月7日の2日間を休会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、あす3月6日と3月7日の2日間を休会することに決しました。

来る3月8日は午前9時から本会議を開き、町政に対する一般質問を行います。

本日はこれにて散会します。

〔午前10時40分 散会〕

平成25年 3 月 8 日（金曜日）

第 1 回美浜町議会定例会会議録（第 2 号）

平成25年3月8日（金曜日） 午前9時00分 開議

◎ 議事日程（第2号）

日程第1 町政に対する一般質問

◎ 本日の会議に付した事件

〔議事日程に同じにつき省略〕

◎ 本日の出席議員（14名）

1番	大崎卓夫君	2番	中川博夫君
3番	石田秀夫君	4番	千賀荘之助君
5番	山本辰見君	6番	鈴木美代子君
7番	野田増男君	8番	森川元晴君
9番	杉浦剛君	10番	山本和久君
11番	丸田博雅君	12番	島田昭夫君
13番	磯部輝次君	14番	家田昇君

◎ 説明のため出席した者の職、氏名（26名）

町長	山下治夫君	副町長	石川達男君
教育長	山田道夫君	会計管理者	神谷信行君
総務部長	森田篤君	企画部長	靱山博資君
厚生部長	家田兵蔵君	経済環境部長	久野元嗣君
建設部長	片岡勝君	教育部長	山森隆君
総務課長	牧守君	防災安全課長	本多孝行君
税務課長	大岩哲治君	企画政策課長	大井徳男君
秘書広報課長	谷川徳寿君	住民福祉課長	岩瀬知平君
保険課長	山下幸子君	健康推進課長	飯味拓次君
農業水産課長	永田哲弥君	商工観光課長	竹内康雄君
環境保全課長	齋藤博君	土木課長	廣澤辰雄君
都市計画課長	齋藤功君	水道課長	伊藤昭一君
生涯学習課長	坂本順一君	学校給食センター所長	森川幸二君

◎ 職務のため出席した者の職、氏名（2名）

議会事務局長	岩本修自君	局長補佐兼 議会係長	日比郁夫君
--------	-------	---------------	-------

〔午前9時00分 開議〕

○議長（丸田博雅君）

皆さん、おはようございます。

傍聴席の皆様、朝早くからどうも御苦労さんでございます。できましたら、きょう1日、おつき合いを願えればと思います。よろしく願いをいたします。

3日後には、あの悪夢の東日本大震災発生から丸っと2年が参ります。決して忘れることなく、また、決して無駄にすることのないよう、心を新たにすることでございます。

昨日は、中学校の卒業式、御出席をいただきまして、大変御苦労さまでございました。天候にも恵まれて、すばらしい卒業式であったと思います。私も議会を代表いたしましてお祝いを申し上げます。ことしは、個人的には特別な思いがございまして、感情を抑えながらの挨拶でございまして、何をお伝えしようかなという中で、孟子の言葉を引用させていただいて皆さんにお話をさせていただきました。私はいつも、一言相手に伝えられることができればという思いで挨拶をさせていただいております。帰ってから孫に評価してもらいましたら、まあまあだなと。一番よかったのは短かったということでございましてほっといたしました。

それでは、会議に入ります。

ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

なお、お手持ちの携帯電話は、電源を切るか、マナーモードにて御確認のほど、お願いをいたします。

日程に入るに先立ち、諸般の報告をします。

本日の会議に、知多半島ケーブルネットワークのテレビカメラの持ち込みを許可いたしました。また、広報用写真撮影のため、カメラの持ち込みを許可いたしました。

以上で、議長の諸般の報告を終わります。

それでは、日程に入ります。

日程第1 町政に対する一般質問

○議長（丸田博雅君）

日程第1、町政に対する一般質問を行います。

本定例会には、6名の諸君より質問の通告をいただいております。通告の順に質問を許可いたしますが、質問時間は答弁等全ての時間を含め50分以内とし、関連質問は認めないことといたします。

初めに、議長からお願いを申し上げます。

美浜町議会会議規則において、「議員は、議会の品位を重んじなければならない。」とあります。議員の皆さんにおいては、議会の品位や議員の名誉を傷つけるような発言をしないよう、品位と節度ある質問をお願いします。また、執行部の職員においても、誠実で簡明な答弁をされるようお願いをいたします。

それでは、森川君、質問をする準備をしてください。

森川君、質問してください。

〔8番 森川元晴君 登席〕

○8番（森川元晴君）

皆さん、おはようございます。

先ほど議長のお話がありましたが、私も最近年のせいか涙もろくなりまして、きのうの卒業式は大変感動い

たしまして、今度小学校の卒業式もありますが、今からちょっと心配であります。また、お祭りの季節が近づいてきまして、何だか落ちつかないというのか、わくわくしているような状態であります。

きょうは6名の質問ということでありまして、手際よく次の方にお渡ししたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

それでは、議長の許可が出ましたので、通告書に基づきまして質問をさせていただきます。

1、町政に臨む姿勢について。

新年の挨拶より、町長メッセージの中から引用し、以下7項目について町政に臨む姿勢を具体的にわかりやすく簡潔明快な説明、考えを、いま一度町長に問う。

- 1、町政の変革を求めたまちづくり。
- 2、住民との対話。
- 3、身の丈に合った行政。
- 4、人も町も自然も健康でなければならない。
- 5、住んでよかったと実感できるまちづくり。
- 6、共創、協働の視点を重視して取り組む。
- 7、今、何をすべきかを考え、行財政改革に取り組む。

次に、大きな2、子供を取り巻く教育環境について、今、いじめ、自殺、体罰、隠蔽、古い確執等が社会問題の中、理想の教育環境とは何かについて、教育長の考えを問う。

(1) 私自身、小・中学校のころ、学校の先生、家庭でも近所のおじさんから怒られ、たたかれました。ただ、一度も体罰と感じたことはありませんでした。正しい指導とは何か、また、私の子供のころと今現在の子供たちに対しての指導方法や環境の違いは何か。

- 2、家庭、地域、社会、学校教育の役割、責務は何か。
- 3、教育委員会の役割、仕事は何かです。

次に、大きな3、ネグレクト問題について。

- 1、町内で報告事例はあるのか。
- 2、どのような対策、対応をしているのか。

大きな4です。ひとり暮らしの高齢者、また、高齢者世帯について。

最近、他の市町だけではなく町内でも、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯での建物火災や、認知症による徘徊や行方不明等の事故が急増しています。また、お年寄りを狙う詐欺等の事件も多発しています。町としての対応、対策はどのようにとられているか。

以上で通告の質問を終わります。

〔町長 山下治夫君 登壇〕

○町長（山下治夫君）

皆さん、おはようございます。

また、傍聴席の皆様、本当にありがとうございます。議長からも指示がありましたように、執行部としても誠心誠意答えさせていただきますので、よろしくお願しいと思います。また、お気づきの点がございましたらお教え願えればありがたいと思っております。よろしくお願いたします。

それでは、森川元晴議員の御質問にお答えをさせていただきます。

町政に臨む姿勢についての御質問につきましては私から答弁をさせていただきます。

まず、広報みはまの新年号の挨拶をお読みいただきありがとうございます。できれば後ほど御感想や御意見を頂戴できればと思います。

私は、今回御質問いただきました7項目の言葉を、常に施政方針として町民の皆様や議会に向けて発信していますが、いま一度具体的に説明をさせていただきます。町政に臨む姿勢についてですので7項目を一括してお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

私は、御承知のように平成19年4月に行われました美浜町町長選挙に立候補させていただきました。そのときの思いは、町民不在の行政になっていることや財政面など、このままでは美浜町の将来が心配で、すぐにでも改革しなければ等々を訴え、その手法として、今回御質問いただきましたことを表現し、選挙を戦い、幸いにも多くの方々の心温まる御支援を賜うことができ、当選させていただきました。さらに、その後に行われました2期目の選挙におきましても信託を受け、現在に至っています。美浜町を元気に明るくしたい思いは当初より現在においても変わりませんし、または変わってはならないと私は考えています。

それでは、個々について御説明申し上げます。

まず、1点目の町政の変革を求めたまちづくりについてでございますが、これは、どなたが町長になられようが、町政は時代が変化しても変わってはいけない基本的な面もありますが、時の変化に対応して変わらなければならない面々があると考えています。

町の変革をというとなら全てを変えると捉えられがちですが、私のスタンスは、一度全ての事業、施策等を勇気を持って見直し、継続、再編、休止、廃止などの措置を行うことで、再スタートを切らせていただいている思いがあります。言うまでもなく、いい面はさらに伸ばし、改革、変革しなければいけない面に対しては、勇気ある決断で行っています。

また、後ほど御説明いたしますが、行政だけでは究極の目的であります地域福祉の向上を図ることができない時代と捉えて、協働のまちづくりへの町政の転換を図っています。

このためには、まず、役場職員の意識改革が必要ですので、私との対話研修を初め、伝えたいことをブログで通達するとともに、国・県への職員の派遣、職員による政策立案研修の立ち上げ、外部講師による庁舎内職員研修の充実、職員が地域に出て講師を行う出前講座の実施などに取り組んでいます。さらに、本年秋の開講を目指して、みはま地域行政大学の設立準備を指示いたしましたことなど、いろいろな面での改革を求め、町政に取り組んでいます。

2点目の住民との対話についてでございますが、常に心がけていなければいけないと肝に銘じている事柄であります。町長に就任して以来、機会あるごとに住民との語る会を開催しています。また、行政区長さんを初め区会関係者の方々とは毎年予算要望を伺う機会を設けるほか、毎月の町長対話室の開催や今年度から始めました町長への手紙を初め、常に町民との対話に心がけています。

また、御案内いただいた各種の総会、会合などにもできる限り御出席をさせていただき、広く住民の方々の思いを伺うと同時に、私の考えや思いをお伝えするように努めていますし、これからも住民との対話を心がけてまいります。

3点目の身の丈に合った行政についてでございますが、美浜町は御存じのように、国からの地方交付税をいただかなければ運営もままなりませんし、税金などの自己財源につきましても増収を見込めない厳しい財政状況にあります。その中であっても、各種団体を初め、住民の方々の御要望は種々さまざまで、細かいものを含め数多くいただいております。安心して住みやすいまちづくりを進めていくためには、それらに応えることは当然ですが、執行するためには事業費の捻出が欠かせません。そのためには、事業全般の効率化を含め、常に行

財政改革に取り組まなければなりません。隗より始めよではありませんが、みずからを含め、役場全体で日常的に取り組んでいます。その際に、身の丈に合った行政という言葉を使用します。町の規模に合っているのか、取り組むべきか、組みかえるべきか等々、常に意識しておりますので、言葉としてそのままに御理解いただきたいと思えます。

具体的に申せば、河和中学校の柔剣道場兼木工金工室の新築の目安に、身の丈を十分考慮して、華美になることなく、さらに、萎縮をすることもなく、まさに身の丈に合った新築工事を執行させていただきました。

また、本年度、美浜町社会福祉協議会から長年の御要望にお答えできるように努めた結果、旧中部電力美浜営業所跡地に移転できる運びとなり、目下のところ移転工事中であります。

このことにつきましても、新築で検討してはどうか、なぜ安価にお借りしているのに移転する必要があるのか等々の御意見をいただきましたが、美浜町社会福祉協議会からは、介護保険制度が開始されたころより事業規模が膨らみ、職員も増大したことから事務所が手狭になるなど、さまざまな問題などにより業務に支障があるということで、事務所移転を検討されていました。

このたび、美浜町社会福祉協議会みずからの移転資金の提供を申し出られ、町と検討に検討を重ねた結果、相手方との協議も調いまして、現在よりも多くの点でより有効に美浜町の福祉の拠点として位置づけることができ、まさに現在の美浜町の身の丈に合った事業と考え、議会で審議をして、とり行うことといたしました。現在は、計画どおり移転できるよう、報告をいただいております。

4点目の人も町も自然も健康でなければならないについてでございますが、言葉どおりに、人も町も、さらに自然も健康でなければならないという思いで行政に取り組んでいます。自然豊かなこの町ですが、自然の健康を含めた取り組みと理解していただきたいと思えます。

5点目の住んでよかったと実感できるまちづくりについてでございますが、思いとして、先人、先輩が築いてこられたこの美浜町、大好きな美浜町を次の世代へ引き継いでいきたいと思い、精いっぱい努力いたしております。住民の方々がこの美浜町で生まれ、ここで生活を営み、結果として、おのおの方々が実感として住んでよかったと感じていただける施策に取り組んでいるところでございます。

6点目の共創、協働の視点を重視して町政に取り組むについてでございますが、森川議員におかれましても積極的に地域に入られまちづくり行動をされていることと思えますが、現在の行政は、特に地域のまちづくりに関しましては、行政だけでは速やかに、かつ的確に行うことは非常に難しい時代となっております。行政は行政でしかできない部分を着実に停滞なく公平に執行しなければならないと考えていますが、地域の活性化やまちづくりにつきましては、地域住民の方々との会話を重ね、多くの知識や経験に基づいた建設的な御意見をいただくとともに、行政とともに行動及び活動するなど、ともに新たにつくっていく共創の考え方や、地域の方々と協力して行う協働の精神が必要と思ひ、御理解、御協力をいただきたく、常に述べさせていただいております。ややもすると、何でも住民に行政が仕事をぶつけてくるという御意見もいただくことがありますが、決して住民サイドに全てをお願いしている考えは持っておりません。住民の方々が持っている力をまちづくりにおかしいただきたいというような気持ちであります。

具体的には、食と健康の館の指定管理者制度への移行が挙げられます。地元区へ管理を任せたらといて、行政として無関心に振る舞うことなく、できることは積極的に取り組み、ともに汗を流します。また、行政ではできないことについては、管理者みずからの御判断で取り組まれるものとの思いであります。

7点目の今、何をすべきかを考え、行財政改革に取り組むについてでございますが、私の思いは、現状の美浜町の立ち位置といえますか、現状だけを考えるのではなく、将来の美浜町の姿のイメージを膨らませ、夢に近く

なりがちですが、インフラ整備や地域福祉の面であるべき姿を考えて、今、何をすべきなのかということを常に行政執行の指標にしています。

厳しい経済情勢ではありますが、美浜町の発展、地域の活性化などなどにも停滞することなく積極的に取り組んでいかなければなりません。

例えば、総合公園一帯を含む交流拠点整備構想に関しましても、今やらなくても後年度一度にやるべきとの御意見も頂戴していますが、国・県などの補助金等を活用して、住民の方々を初め、観光面の充実を図り、この地域のさらなる活性化を目指し、取り組みをしなければならないと考えています。

地域の活性化のためには、過去の経緯や、なぜ今なのかという問題もありますが、必ず美浜町の将来の発展に寄与するものと考え、取り組みを一步一步進めています。そのほか、名鉄知多奥田駅前及び野間駅前整備構想、公共下水道整備等々につきましても、できるかどうかを含めまして、種々の検討作業に入っています。

私には立ちどまっている時間の余裕はないと考え、常に動くこと、検討すること、考えを述べることで自分の使命と思い、職員に指示をし、職員ともども日々努力いたしております。

行政といたしましては、インフラ整備ばかりではなく、そのほかに取り組みなければならない諸問題もありますが、住民福祉の向上のために、身の丈を忘れず、財政豊かな近隣市町村に大幅におくれることのないよう、町政運営に努めなければなりません。今3月議会に上程させていただいた一例が、商工会によるプレミアム商品券発行事業補助金や、精神障害福祉施策への取り組み強化であります。

最後に総括してでございますが、昨年12月に行われました衆議院議員総選挙により、再度自民党政権になりました。取り組みの大きな柱でありますアベノミクスによる経済政策は、全ての市町村に分け隔てなく一律に国のお金が交付されるものではありません。事業に対し国の補助金があるものが、基本的には後年度、地元負担金の割合に応じて交付金として交付されるものであり、事業がなければ該当しない施策であります。ですから、今3月補正予算では、国庫補助金絡みの事業がある自治体には多くの交付金がいただける制度であります。つまり、積極的にインフラ整備に取り組んでいる市町が対象の考えです。この点、御理解のほど、よろしく願いいたします。

今議会に3月補正といたしまして、近年にはない多額の約3億円を予算として御審議いただいています。美浜町といたしましては、13カ月予算という考えを持っています。

以上で、私の町政に臨む姿勢についての答弁とさせていただきます。より具体的なことは私の6年間の実績及び平成25年度予算書をよくお読みいただければ御理解されるものと信じていますので、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

[降壇]

○教育長（山田道夫君）

まずもって、昨日の町内の中学校の卒業式に、大変お忙しい中、議員の方々に御出席いただきまして、ありがとうございました。また、19日、小学校の卒業式がありますので、よろしく願いいたします。

次に、子供を取り巻く教育環境についての御質問の第1点目、正しい指導とは何か、また、自分の子供のころと今現在の子供たちに対しての指導方法や環境の違いは何かについてお答えさせていただきます。

昨年は、大津のいじめが原因とされる中学生の自殺問題、また、大阪市の教師の体罰による高校生の自殺問題など、学校における生徒指導のあり方や対応の仕方が大きく問題となりました。多くの大人の方にとっては、自分の子供のころと比較して、当時もいじめや体罰はあったが自殺にまでは発展することはなかったという思いか

ら、今現在の子供たちを取り巻く環境の大きな変化に疑問をお持ちのことだと思えます。

基本的に、学校における子供への指導については大きく変わっていないものと思っております。いじめについては以前から人間として許されない行為であると指導してきましたし、現在も指導しています。ただし、以前はいじめの行為そのものが多くの人目にとまり、いち早く発見できて、そこにいた大人の人がその場で指導していただいたような気がいたします。しかし、現在はいじめがインターネットや密室など人目につきにくいところで行われ、発見がおくれ、重大な事態にまで発展することがあります。また、人間関係の希薄化から、親や地域の大人が子供たちの小さな変化に気づきにくくなったという点もあろうかと思えます。

次に、体罰についてですが、教師には以前から、身体に対する殴る、蹴るなどの懲戒は法令で禁止されておりました。ただ、一部には、問題行動を繰り返す生徒の指導の場面や部活動の指導の場面において、口で注意しても聞かない、もしくは理解できないとの理由から、教育的な指導の範疇と認識されて行われたこともありました。しかし、今現在は、いかなる場合であっても体罰は禁止されている行為であるとともに、児童・生徒の心を大きく傷つけるばかりでなく、保護者や地域からの学校教育全般に対する信頼を損なう行為であるということを先生方には指導しております。

2点目の家庭、地域、学校教育の役割と責務は何かについてですが、教育基本法に教育の目的として、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とうたわれております。このような立派な大人に育てるために、家庭、学校、地域社会が連携を図りながら、力を合わせながら子供を教育していく必要があると思えます。

教育の原点は、何といても家庭教育です。家庭は子供にとって日常生活の多くの時間を過ごすところであり、基本的生活習慣を身につけ、善悪の判断などの規範意識の基盤をつくる場所です。また、学校は、教科の基礎、基本の定着を初め、確かな学力を身につけさせるとともに、集団生活を通して安心して学習できる環境をつくる必要があります。地域社会の役割としては、子供たちが多様な体験を通して豊かな人間性を育み、安全に活動できる場を確保するとともに、ふるさとのよさを実感させることだと思っております。

子供を植物に例えるならば、家庭では愛情を持って子供の持つ一つ一つの才能の種をまき、そして、学校では集団の中でしっかりとした茎と大きな葉を持った苗に育て、地域社会は、より厳しい環境の中でも生きられるように育てるとともに、社会の中で花を咲かせ実をつけさせる場だと思っております。

3点目の教育委員会の役割は何かについてですが、教育委員会は地方公共団体の執行機関の1つであり、地域行政の事務のうち、教育、文化、スポーツに関する事務を処理する役割を担っています。それぞれの学校は独自性、主体性を持って学校運営されるよう、校長が責任を持って教育活動を行っています。

しかし、大きな事故の発生などの緊急の事態が生じた場合にあっては、その対応や処理を校長任せにするのではなく、教育委員会がみずからリーダーシップをとり、必要に応じて保護者や地域住民に対する説明、関係機関との連絡調整など、積極的に学校を支援していきたいと考えております。幸いにも美浜町の教育委員は意識も高く、毎月定例の教育委員会会議及び臨時に開催される会議、愛知県教育委員会連合会での研修への参加、卒業式、入学式を初め、学校訪問、学校巡視など各種学校行事、また、教育委員会が委嘱する社会教育委員会や文化財保護委員会などの会議への出席、成人式、タウンマラソン、文化祭などの各種大会への参加など、年間70日以上に及ぶ行事等に積極的に出席していただいております。

教育委員会としては今後とも関係部局や関係機関と協力しつつ、学校における問題をいち早く解決する努力をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

ここで、議長からお願いを申し上げます。

傍聴の方に、議会中の議場におきましては、恐れ入りますが帽子をお取りくださいますようお願いいたします。

○厚生部長（家田兵蔵君）

次に、ネグレクト問題についての1点目、町内で報告事例はあるかについてでございますが、児童虐待の定義といたしましては、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4つに分類がされます。

このネグレクトとは、子供の健康、安全への配慮を怠っている、例えば、家に閉じ込める、子供の意思に反して学校等に登校させない、重大な病気になっても病院に連れていかない、乳幼児を家庭に残したままたびたび外出する、乳幼児を車の中に放置するなどございます。また、食事、衣服、住居などが極端に不適切で、健康状態を損なうほどの無関心、怠慢などの状況に置かれている場合がございます。例えば、適切な食事を与えない、下着などを長期間ひどく不潔なままにする、極端に不潔な環境の中で生活させるなどございます。

親がパチンコに熱中している間、乳幼児を自動車の中に放置し、熱中症で子供が死亡したり、誘拐されたり、乳幼児だけを家に残して火災で子供が焼死したりする事件もネグレクトという虐待の結果でございますので、そうならないように対処していくことが大切になってまいります。

本町におけるネグレクトの報告事例はあるかでございますが、ネグレクトに限らず、虐待の報告や通報があった場合は、虐待ケース管理表を作成して、児童の氏名、生年月日、受け付け日、保護者名、住所、虐待の種類、家族構成、年齢、職業、対処に当たる関係機関名、対処の緊急度、事実関係などを記録しております。虐待の状況といたしましては、ネグレクトだけではなく、身体的虐待や心理的虐待といった複数の虐待を受けている児童が多くなっております。

2点目のどのような対策、対応をしているかについてでございますが、要保護児童対策地域協議会を毎月開催し、個々のケースについて対応を協議し、家庭訪問の実施等、必要に応じた対応をしております。このケース会議の構成メンバーでございますが、県の機関におきましては知多福祉相談センター児童育成課、同地域福祉課、半田保健所健康支援課、住民の代表といたしましては主任児童委員2名、町の機関といたしましては学校教育課、生涯学習課、健康推進課、住民福祉課でございます。

相談援助活動の実施につきましては、町、県、その他関係機関全体で連携を図りまして、それぞれの役割を適切に果たすことが必要でございます。支援する側も孤立しないようにチームとして連携を図って、手おくれのないよう心がけております。

次に、4点目のひとり暮らしの高齢者についての御質問でございますが、具体的な見守り活動につきましては、民生委員の皆さんによる定期的な訪問や声かけを初め、地域包括支援センター及び介護訪問ヘルパーが各世帯のお世話をしていく中で、日々の変化の把握に努めております。また、訪問給食サービス事業におきましても安否確認を行っております。

こうした日常活動の中で気になる案件が発生した場合は、役場を初め、地域包括支援センター等の関係機関が連携して問題の解決に当たっております。ひとり暮らし高齢者の火災や、認知症による徘徊、行方不明の事故につきましては、起きてしまえば事故に対する対処活動をするほかはありませんが、これらを未然に防止するにはどうしたらよいかということが重要だと思っております。それには、まず、役場や地域包括支援センターに相談していただくことが大切でございます。

美浜町の地域包括支援センターは、社会福祉協議会の中にあリまして、総合相談事業所といたしまして、高齢

者に関するさまざまな相談を受け付けております。必要に応じて高齢者のお宅を戸別訪問して、どのような支援が必要かを把握し、適切なサービスにつないでおりますし、介護予防ケアマネジメントとしては、要支援1、2の方の介護予防プランを作成し、自立して生活できるように支援しております。

権利擁護事業といたしましては、高齢者の虐待の早期発見、悪質な訪問販売等による消費者被害の防止を図っております。認知症などで判断能力が不十分な方に対しましては、成年後見制度や日常生活自立支援事業がございます。いずれも、役場保険課、住民福祉課、健康推進課や地域包括支援センターへ相談していただければ利用できますので、よろしく願いをいたします。

○議長（丸田博雅君）

森川君、再質問はありますか。

○8番（森川元晴君）

ありがとうございました。

新年のメッセージのことは、本当によくそうやって聞き、また、理解等もよくできたと自分では思っています。

そこですが、もっとちょっと具体的な、具体的というか思いで構わないのでありますが、25年度を迎えるに当たり、24年度の反省も込めて、町政に臨む姿勢の違い、町のトップとしての問題、課題は多々あると思いますが、やはり最後は町のトップの判断、決断で物事が決まります。そこで、いま一度、町のリーダー、リーダーシップとしての25年度に対する意気込みをお聞かせください。

○町長（山下治夫君）

議長に確認しますが、今の質問は通告ですか、どうですかを1点。

もう一点目は、私の思いのたけを込めた新年度予算、補正予算を組ませていただいております。そこでの御審議が普通ではないでしょうか。議長のお許しがあれば幾らでも答えますので、判断をお願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

再度森川君に趣旨の質問をお願いします。

○8番（森川元晴君）

その施政方針、25年度等の全体的な話は理解できたつもりであります。

町長としての、トップとしての意気込み、そのようなことをお聞きしたいなというふうに思っていますが、通告外ということであれば、別に構いませんので、よろしく願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

町長が答えられる範囲内で答えられますか。

○町長（山下治夫君）

せっかくですが、予算審議をいただいておりますが、お時間をいただきましたのでお答えをさせていただきたいと思っております。

私は、衆議院総選挙がありまして政権がかわりました、それにいち早く対応するために、今回、大型な補正予算を組ませていただいております。思いは、政権がかわったからという意味ではありませんけれども、この美浜町を少しでも元気にしたい、将来ある子供たちに、よりいい美浜町として贈っていけるような階段を一步步上がっているつもりでございます。

そうした中でありますけれども、やっぱり特に少子・高齢化対策、そういったものにつきましては、重点的な気持ちで配分をさせていただいております。

1つ2つ例を挙げますれば、高齢者に対しましては、やはり今回、外出が少し、ややもするとなかなかできない方々に対する高齢者福祉タクシーの助成制度を始めさせていただきました。これは、70歳以上の方が対象でございますが、運転免許証を返納した方、またはもともと免許証を持っていない方でございます。こういったことを、話をいたしましても、自分で車が運転できてどこでも出かける方々につきましてはなかなか御理解いただけませんけれども、私のところには切実な意見として、お父さんの免許証を頼りにしておったんだけれども、ちょっとお父さんが、運転が自信がなくなってきた、町長さん、何とかしてくださいよというような声をいただいております。そうした中、無料巡回バスが走っておりますので、御自宅からバス停までのタクシー助成制度であるのであれば、私どもの美浜町といたしましても身の丈に合っているんじゃないかということで、初乗り680円を行政で負担させていただき年間12枚の予算で570万円程度だったと思いますけれども、そういったものを審議していただいております。

また、少子につきましては、今、なかなか2世帯・3世帯住宅で子育てをする家庭がいらっしゃらなくて、子育てに悩んでいる方も多という中におきまして、子育て支援センターを東で1カ所から、西の野間保育園の中にも1カ所つくらせていただきます。そのほか、少し身体・精神的な問題を抱えているお子様もいらっしゃるといことの中から、お母様と一緒に保育園に通うことができる母子通園事業を奥田保育所でも始めさせていただきます。

また、小学校の1年生、2年生、3年生を対象とした学童保育事業を東の地区の河和小学校で1カ所始めておりますけれども、そういたしますと、河和小学校以外の御児童が利用できないのではないかなというような声もいただいておりますので、平成26年4月には西地区にも開設を目指してただいま努力いたしておりますが、その間、やはりそれぞれの子供たちの公平感を保つために、各学校へタクシーを配車させていただいて、タクシーで河和小学校まで来ていただく、お迎えは御家族にさせていただくというような、きめの細かい整備もさせていただいているつもりでございます。

また、精神障害者の方々が悩んでいる中におきまして、精神障害疾患につきましては医療費は無料でございますが、それ以外の、風邪を引いたとか、おなかが痛いとか、そういった一般医療費につきましても、障害者手帳1級、2級をお持ちの方には全額医療費を見させていただきたいというようなことも考えております。

こういったことを述べていきますと、いろいろありますけれども、言いたいことは、この美浜町を少しでも元気に明るくしたい、若い子たちにいい町として残していきたい、そのためにやれることを精いっぱいやらせていただきたいと思う中におきまして、御質問いただきました7項目の言葉を使って説明をさせていただいておりますので、時間がありますれば十分しゃべりたいんですけども、この辺にさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

残り時間が4分弱ですので、よろしく願いいたします。

○8番（森川元晴君）

ありがとうございました。

次に、子供を取り巻く環境についての質問であります。その違い、今と昔の違い、その件に関しても、教育長の考え方等、よく伝わってきたものだと思っています。

時間もありませんもんで、3番の、ちょっとネグレクトの問題について触れたいと思います。

○議長（丸田博雅君）

森川君、できるだけマイクに近づいてください、空調がちょっとありますので。

○8番（森川元晴君）

済みません。

ネグレクトの問題について、入りたいと思います。

先ほどの答弁もありましたように、とてもこれは範囲が広い問題でありまして、なかなか難しい問題だとは思いますが、今回この問題のきっかけになった衝撃的なニュースで、先月、大阪市の東住吉区の住民登録のある女兒が、6歳が、生後すぐに行方不明になった事件です。この事件に関して、ネグレクトと言えるかわかりませんが、2点ほど疑問に思った点がありますので、関連させて質問させていただきます。

まず、1点目は、今回の事件は児童手当詐取容疑で発覚しましたが、6歳の小学校入学前まで役所は行方不明に気づかず、児童手当を支給し続けました。役所として仕方がない対応であったのか、お答えください。

○議長（丸田博雅君）

できるだけ、通告外ではいけません、通告の内容で質問ください。

○厚生部長（家田兵蔵君）

まず、他の自治体のことに関しましてはちょっとお答えしにくいものですから、美浜町の場合、児童手当、例えば受給していただいた方に対して、毎年現況届というのを6月に御案内しまして、通知を出しまして、印鑑と保険証をお持ちいただいて確認しておるんですね。それは保護者の方が役場のほうへ出向いてみえまして手続をされるわけですけれども、御本人さん、子供さんとの対面、これにつきましては、当然小さいお子様につきましては定期的に、4カ月健診とか、1歳6カ月健診とか、3歳児健診とか、そういった健診等でお越しにならない場合につきましては、保健師等が出向いて対面するというようなことを美浜町の場合はとっております。

○議長（丸田博雅君）

時間が参りましたので、最後に、それじゃ、いいですか。

○8番（森川元晴君）

わかりました。

いろいろちょっと長い質問でありましたのでこんなような形になってはしまいましたが、質問というよりも、細かいことはまた部署のほうで確認させていただきますので、よろしく願いいたします。

最後に、今回、先ほど町長のほうからもお話がありましたが、旧中電美浜営業所敷地内の建物、美浜福祉センターとして改修工事が進められ、25年度から立派な福祉センターとしてオープンされると思いますが、ただ箱物だけの充実ではなく、中身のある福祉センターであることを願っております。

これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（丸田博雅君）

以上をもって、森川元晴君の質問を終わります。森川君は自席に戻ってください。

〔8番 森川元晴君 降席〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、千賀君は質問の準備をしてください。

次に、4番 千賀荘之助君の質問を許可します。千賀荘之助君、質問してください。

〔4番 千賀荘之助君 登席〕

○4番（千賀荘之助君）

議長の許可が出ておりますので、通告に従って質問に入らせていただきます。

今回は4点の質問を町当局にお願いしております。

まず、1番、地域づくりの問題点の対応について。

町役場は地域経営の視点に立ったシンクタンクであり、いわゆる頭脳集団であり、人材、財政力、情報の収集力、情報発信能力を兼ね備えた大企業であると思います。

以下の点について、どのような対応策を持っているかを問います。

まず、1点、地方自治の原点に立った地域づくりについてはどのような対応策を持っているか。

2点、地域の活性化対策について。

3点、掘り起こせ、地域の特異性について。

4点、民間活力の活用について。

5点、都会人に遊び、憩いの場の提供について。

6点、地域づくりは人づくりからについての以上6点をまず質問させていただいております。

続きまして、2番、杉谷川の改修について。

昭和38年から52年までかかった野間地区の土地改良事業は、当時としては全国で3例目、いわゆる3件目で、数々の難問を解決し、きょうに至っておりますが、当時としてはかなりの難工事だったと聞いております。

まだ当時は、法整備も反対者が2割あっても強行できると、そういった状態の中で、むしろ旗を立てて反対運動をおった方もあったようなことを聞いておりますが、しかし、このおかげをもちまして、あの辺一帯は、野間駅周辺までは、いわゆる、通称深田、いわゆる腰近くまではみ込んで、昔ですというつくわで耕起するわけですが、いわゆる木材をずーっと並べてその上を伝わって耕作しておったような状態の土地柄でございました。それがこの工事によりまして今のような立派な田んぼが完成しておるわけではございますが、当時としてはいろいろな問題を抱えた中で、今日に至っておる状態でございます。

完成後50余年が経過し、名鉄野間駅から上流に至っては素掘りの状態で、川ののり面の浸食がひどく、町道ののり面が崩壊する都度、町担当課で補修工事がなされているようですが、今後の抜本的な対応策についてを伺っておきます。

次に、3番、この構造改善と関連している問題でございますが、杉谷池水路の改修について。

やはり築後50余年が経過して漏水がひどく、末端の田へ届くまでには池の栓を抜いた半分の量は川へ漏水しているのが現状です。早急に改修が必要と思われるが、その対応を伺います。

次に、4番、通学路の安全確保について。

教育委員会で把握している町内の通学路の危険箇所は6学区全体でどのくらいあるか、また、学区別の調査結果とその対応策はどうなっているのかを伺っておきます。

以上で、壇上からの質問を終わらせていただきます。明快なる答弁をお願いいたしておきます。

○企画部長（靱山博資君）

それでは、千賀議員の御質問にお答えをさせていただきたいと思っております。

初めに、地域づくりの問題点の対応についての御質問の1点目、地方自治の原点に立った地域づくりについてでございますが、地方自治の原点とは住民参加の自治だと考えております。第5次総合計画を策定してきた中で、住民意識調査、地区別ワークショップ等により広く町民の皆さんの御意見をいただき、地域で出された課題を推進するために、地区別ワークショップへ参加された方々の中から新たに8人でまちづくり井戸端会議を組織し、地域での推進役となるべく人づくりを日本福祉大学の協力を得て実施しております。

また、来年度予算にも計上させていただいておりますみはま地域行政大学を設立し、人々に、まちづくり、減災、ボランティア、家庭菜園、福祉等のいろいろな専門知識を学習していただき、多彩な地域活動や官民一体と

なる支え合いのまちづくりを目指す考えでおります。

2点目の地域活性化対策についてでございますが、地域の産業の振興が重要だと考えます。例えば、知多娘の美浜恋、美浜愛によります美浜町のPRや、農業部門での新規就農総合支援補助金、商工会が行うプレミアム商品券の発行補助金等の産業振興策は、まさに地域の活性化対策の位置づけとして考えております。また、地域の知識、人材の宝庫である日本福祉大学との連携を活用して、地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。

3点目の掘り起こせ、地域の特異性についてでございますが、1点目で説明させていただきましたまちづくり井戸端会議で、来年度も第5次総合計画フォローアップ事業として委託をし、地域の強みや特色を洗い出し、できること、やるべきことを整理して推進していきたいと考えております。

4点目の民間活力の活用についてでございますが、先ほど町長が御答弁させていただきましたように、共創、協働のまちづくりの視点を重視して、民間事業者への規制緩和など、行政サービスの民間開放が進められております。そうした中で、町民の方が求める質の高いサービスに対応するため、公民館、食と健康の館は指定管理者制度の導入を図っており、巡回バスの運転業務、交換業務など、公共サービスの提供においても今以上に積極的に進めるとともに、PFI方式を初めとし、民間委託などを取り入れ、拡大、多様化する町民ニーズに即したサービスを目指していきたいと考えております。

5点目の都会人に学び、憩いの場の提供についてでございますが、千賀議員も十分承知されていることと思っておりますが、あいち知多農協でのミカンの木のオーナー制度を実施し、自然との触れ合いや農業体験を通しての食の安全や食の大切さを提供しております。

また、美浜町農業委員会、あいち知多農業協同組合、美浜町商工会、漁業協同組合、美浜町観光協会や南知多ビーチランドを初めとする民間事業所などと行政が連携をして組織しております美浜町都市農村交流協議会においてみはまグリーンツーリズムを実施し、イチゴジャムづくりの交流会や乳搾り、バターづくりの体験を実施し、都会の方にも遊び、憩いの場を提供しております。

また、積極的に観光PRにも努め、交流人口の拡大を図ってまいりたいと考えております。

6点目の地域づくりは人づくりからについてでございますが、昨年の6月議会でもお答えさせていただきましたように、地域づくりとは厳密な定義がなく、その範囲はとても広く考えられております。例えば、地域の産業や福祉の充実など、暮らしに係る考えもあれば、都市計画や農村計画に属する考え、また、文化行事やお祭りなどをイメージする方、さまざまな住民運動なども地域づくりになるかと思っております。

しかし、それらの考えを個々に捉えるのではなくトータルのものとして捉えるところが地域づくりだと思っております。そのため、地域づくりを推進していくためには、表現が悪いかもしれませんが、よそ者、若者、ばか者の3つの者に力をかりまして、仲間と助け合いながら一緒に行動できる地域リーダーとなる人づくりを行っていきたくて考えておりますので、よろしく願いをいたします。

○建設部長（片岡 勝君）

次に、杉谷川の改修についての御質問でございますが、野間地内の町管理であります杉谷川は、議員御承知のとおり、名鉄野間駅より下流側の河川護岸は整備済みでございますが、駅から上流側の護岸は自然護岸の未整備状況でございます。近年において、御指摘のとおりり面崩壊が各所で発生しております。その都度応急補修で対応している状況でございます。また、沿線の町道は野間中学校の中学生の通学路にもなっていることから、地元区並びに地元関係者より護岸の早期整備について御要望をいただいております。

町といたしましては恒久的な護岸整備が必要と考えており、今後は継続的な整備計画を検討し、努力してまい

りたいと考えておりますので、よろしく御理解願います。

次に、杉谷池水路の改修についての御質問でございますが、御質問の水路については、老朽化が進み、漏水などの支障があることは町も承知しております。その都度応急補修で対応している状況で、早急な対応の必要性があると認識しております。本水路は、県が道路整備をしている野間駅からの県道野間河和線に隣接していることから、整備計画区間につきましては、本工事にあわせて水路のつけかえ補償整備工事を計画し、進めていくことを県よりお聞きしております。

また、県道野間河和線沿いにつきましては、修繕計画を立て、計画的な整備の検討を進めてまいりたいと考えていますので、御支援、御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○教育部長（山森 隆君）

次に、通学路の安全確保についての御質問でございますが、通学路の危険箇所の点検は学校におきまして従前より常に行い、状況把握に努めております。特に、昨年4月に登校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が出る痛ましい事故が発生後、愛知県から通学路における交通安全の確保の徹底に取り組む方針が出され、美浜町教育委員会においても道路管理者及び警察と連携し、7月から8月にかけて通学路の緊急合同点検を実施しております。

その結果を踏まえ、10月30日に、半田警察署、知多建設事務所、町土木課、防災安全課及び学校関係者の出席のもと、対策案検討会を開催いたしまして、町内34カ所の危険・要注意箇所を洗い出しました。学区別では、布土小学校区5カ所、河和小学校区4カ所、河和南部小学校区9カ所、野間小学校区5カ所、奥田小学校区4カ所、上野間小学校区7カ所で、状況としましては、見通しが悪い、道幅が狭い、歩道と車道の区別がない、側溝にふたがない、道路の停止線等が見にくいなどの内容でございます。

その後の対応についてでございますが、道路反射鏡の調整や横断歩道の塗装直し等、直ちに対応できるものについては実施いたしましたが、対策箇所のほとんどが、予算を伴うものや、県または警察署に対応を依頼するものであります。

町道につきましては、来年度事業にて、カラー舗装を2カ所、区画線の引き直しを1カ所、ポストコーンの設置を1カ所、新規の町道完成が1カ所と対策を予定しております。国道につきましては、県の施工によるカラー舗装工事を3カ所予定してもらっております。

また、国道の改修や信号の設置など、町単独では対策が講じられない整備要望について、町長が関係職員とともに、国土交通省、地元選出国會議員、県會議員、愛知県庁、知多建設事務所などへ事あるごとに直接要望書を持参し、粘り強く要望いたしておりますので、千賀議員におかれましても御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（丸田博雅君）

千賀君、再質問はありますか。

○4番（千賀莊之助君）

1番の問題点でございますが、6点まで再質問となるとちょっと長過ぎますので、抜粋しまして3点目の掘り起こせ、地域の特性についてについて、まず再質問をさせていただきます。

これは、美浜町内におきましてもいろいろな地区がございます。ましてや国から見ると市町単位で対応してきておると思うんですが、町政でございますのでその辺をまず前提としまして再質問に入らせていただきます。

高度経済成長を遂げた我が国は、かつての農村型社会は崩壊して都市型社会へと変わり、これに伴って人間関

係も複雑・多様化し、これまでの政府の主導による縦割り画一行政では通用しない時代、きめ細かな行政の対応が求められている時代へと変わりつつあります。また、事実変わっておると思います。

これから21世紀に向かって、社会がますます多元化し、人口の高齢化が進めば進むほど、市町村行政に対する新しい行政需要が高まり、単なる行政サービスの提供だけでなく、さまざまな利害を調整し、地域社会を計画的に経営する政策立案、この能力が問われています。その辺について、担当部長さん、どのように思われますか。

○企画部長（靱山博資君）

多様化する住民の声に対応するための政策立案という御質問だったわけですが、政策立案につきましては、実は今年度から職員研修の中で取り上げております。そういった中で実質的に、先ほど町長が申しあげました障害児の母子通園保育ですか、そういった御提言も担当のほうから上がってきまして、政策立案研修の中から、ことしの予算で計上をお願いしておるケースもございます。そういった職員側の政策立案も必要なわけですが、先ほど答弁の中で申し上げさせていただいたように、地域の方々からいろんなアイデアをいただかないと今からの行政は立ち進まないと考えております。

そういった中で、総合計画の中でできてきましたまちづくり井戸端会議、これ、町民の方、各学区にわたりまして9名ほどのメンバーで今やっておるわけですが、そういったいろんな場面での意見を伺いながら、今後のまちづくりはオール美浜で対応していかなくてはならないかなというふうに考えておりますので、よろしく願いをいたします。

○議長（丸田博雅君）

再質問はありますか。

○4番（千賀莊之助君）

今私がここで言っていることは、市場価値はもとより、伝統文化や学術、芸術など全てを含めて、広く客観的に認められるものでなければならないと思っております。常にこの価値を高めよう、盛り上げようと地域づくりに励んでいる町村は、たとえ人口規模が少なくても生き生きとして、その重みを加えることになっていると思います。

例えて言いますと、美浜町の場合、お祭り、1つ見てみますと、まず、上野間、布土、河和、それから古布のほうですか、伝統文化が継承されております。奥田につきましては、最近ここに来て山車を自分たちでつくって、引き回しております。野間学区は残念ながら、今、若い人が中心となってようやく山車を引き回そうじゃないかということで対応しておるようでございますが、そういったことがきずなとなって、いろいろな面で話し合いの場が出てくるわけでございます。

それこそ、これは私の実態的な経験なんですけど、都会の若い人が、同僚議員であります杉浦議員が紹介して、美浜町に今定住して、初めは独身でしたが今は結婚して子供を1人もうけております。それで、回り回って、自分が美浜町内をばバイクでずーっと調査した中で、細目の地域が景色もええし、空気もええで、ここで農業をやりたいと、だで、何とか骨を折ってもらえんかということになりました。それで、私もちょうど、今思いますと8月の末ごろでございました。まだそのころというと、1日の中で、谷合いの狭いところで、太陽がさんさんと当たっております。私は、案内してくれた人がそちらへ入っていったもんで、そんなほうはだめだと、何を考えておるんだということが、よく聞いてみたら、空気もええし、景色もいいし、こういったところで自然農法でやりたいんだと。そういったことをば、今現在実践しております。それで、私は、上野間の県道端で幾らでも休耕地があるで、ああいうところでやったらどうだと言ったら、いや、ああいうところは、車の排気ガスだとか、いろんな面で健康に悪いで、私は自然農法でこの地に定住して今から一生暮らすんだと、そういった信念を持って

おります。我々から見るといって、とてもじゃないけどこんなところでは思っております。ということは、やはり外の人から見るといって、いろいろな見方があるわけでございます。

そういった面におきまして、これはやはりきめの細かい対応が必要だと思います。そういった人たちも、やはり意見や何かをば聴取したり何かして、何とか仲間をばふやして美浜町で定住していただくと、そういうこともあるのかなど、そのようなことの思いがあるわけですが、そういった点につきまして、部長さん、どのような見解をお持ちでございますか。

○企画部長（靱山博資君）

美浜町の自然に関心を持っていただいて、そういった、こちらで居住していただけるということは大変ありがたいことであるというふうに考えております。美浜町は、やはりほかにはない、今回の総合計画の住民アンケートでもありましたけれども、自然というのが非常に大きな魅力となっておりますので、今後、千賀議員、先ほど申されましたけれども、祭礼、自然、空き家も当然ございますので、そういった現在美浜町にある資産を活用して今後のまちづくりに努めていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

再質問、ありますか、千賀君。

○4番（千賀荘之助君）

口で言うのは簡単ですが、なかなか実践的になると、私自体、本当に初めのときに、これは完全に棒を折って投げ出すと、そういう感覚でありました。本来であればもう少し丁寧に協力してあげたいところでしたが、一応どういう方法で頑張るのかなという思いで、もう、はや、既に3年目に入っております。そういった点で、案外と地元の人では、こんなところで採算に合わん、何かいつて耕作放棄しちゃっているわけですが、彼らから見るといって宝の山のような感覚で頑張っております。

そういった面で、一部の過疎町村で行っているように、例えばですよ、大都市の老人向けの別荘、貸し住宅、それから、住宅で楽園、野菜づくり農園、児童・生徒が集団で移動し利用する青空教室、林間、いわゆる山林、それと臨海、海の学校、大学教養課程の講座の定期的開設、または農産物の産地直送、販売力に力を入れ、これからの美浜町の対策として、過密地帯に欠乏して不足するものをいわゆる補足するという、そういう連携プレーで、その存在価値を高めるようにしていったらと思うわけでございます。

そういった点におきまして、美浜町には杉浦君が先覚者として、もう何十年か前から都市のそういう消費組合と協定して実践しております。時代の先取りをばしておるわけでございますが、いずれにしても、美浜町の場合、これだけの農業地帯でございます。それをば十二分に活用して対応するについて、今、いろいろな御答弁をいただきました。

そこで、町長にお伺いしておきます。

職員教育もしっかりやって、それで、町長は町長としてのアイデアは提案しておるということはよく理解しております。その辺につきまして、今の問題について、どのような思いでございますか。

○町長（山下治夫君）

今は、特に千賀さんが言われたのは農業部門が多いかと思っておりますので、農業部門の私の考え方を述べさせていただきます。

一番の大変な差は、やはり農業はアマチュアではできない。プロしかできない。ここが僕は1つの大きな分岐点だと思います。

2つ目の分岐点は、その農業で生活が成り立っていく、なりわいができるかどうか、そこも2つ目の大きな分

岐点でございます。

じゃ、翻って、町内のいわゆる農地というところを見させていただきますと、今、残念ながら耕作放棄地がふえてまいっています。これは、現実的には、プロである農家の方々が、やはりここでは難しい、この面積では大変だというようなことから放棄されてきたのではないかなということでもあります。かといって、それを放っておくわけにはまいりませんので、今、国も新しい新規就農者に対する補助金も出し、また、耕作放棄地の調査もし、美浜町においては農振農用地の見直しをしていただいております。いかに魅力ある農業にしていけるかについて、一番の問題点、1、2を言いましたけど、私の思いとしては、現在農業に従事している方々が、農業はいいぞ、農業で生活できるぞ、こういうことをやっていけば生活ができるぞというようなことの発信者になっていただけたことが、そういうふうはどうやったら向けていくかと。今、千賀さんが特定の方のお名前を出されましたけれども、そういった方々は、もちろん千賀議員もそうでありますけれども、町内にたくさんいらっしゃいます。そういった方々のお力をおかりしながら、そういった方々が先進的な農業をし、なりわいを成り立たせ、やっぱり6次産業化に向けていろいろ努力をされておりますので、これは行政として町長としてもやっぱりやっていきたいと。ところが、先ほど言ったように、1、2の大きな問題点がございまして、これについてはやはり、現にやりわりとされている方々が魅力ある発信をしていただいておりますので、そこに尽きるのではないかなというふうに思っておりますので、農業だけではないのでありますけれども、農業に限って言わせていただければ、精いっぱい行政もやれることはやらせていただこうというふうに思っておりますので、また、御理解、御協力のほど、お願い申し上げます。

○4番（千賀荘之助君）

ありがとうございました。町長のそういった信念を聞きまして、まず、敬意を払っておきます。

だが、しかし、残念ながら、今1次産業に携わってみえる方、いわゆる漁業をやりながら農業をやっておる、それで、もう自分の代で息子は会社員だと、そういったのが一般的なような状況下にあるようでございます。先ほど町長の答弁のように、やはり実績を、後継者が意欲を持てるような、そういったことをば各自が対応しておればいいわけですが、それが、今言ったような面、どうしても仕事面がきつい、それで嫁さんが来てもらえない、そういったことが原因で、もうその地区の崩壊が始まっておるのが現状でございます。

そういった場合、これはいろいろ町政として、あの手この手で対応していただいておりますことは十分承知しておりますし、また、理解しております。また、我々も後継者が後を継いでもらうように努力をせねばいけません、残念ながら、やはり土地柄でそういった耕地もないし、いわゆる人様の耕地で収益を上げておるといって状態でございます。それでは後継者にしては、とてもじゃないけれども、会社へ行ったら給料があったほうがお互いがええんだと、そういったことになっておるのが通常であります。

だが、しかし、先ほど言ったように、そういったところに、そういう過密的な都会の人から見るといって、こんな空気のいい、こんな景色のいい、それで、こんなところでもったいない。その人の生活状況をお聞きいたしました。そうしたら、非常に質素な生活だそうでございます。まず、玄米食、主食が玄米食ですね。それで、収益はバイトをしながら対応しておると。それで、一軒家をお借りして、その家賃は5万5,000円も出しておるといって、そういったことに対して、これはちいと値がええんじゃねえのといって私、彼と話をしたんですが、一軒家だということそういうふうであれだもんだい、千賀さん、何とかいいところがあつたら骨を折ってもらえんかいなというもんで、私もあちこち当たってみました、なかなか当てはまらないのが現状でございます。

そういった面について、行政として、もし相談のあった場合、どのような対応をばとらせていただけますか。経済環境部長さんか。

○町長（山下治夫君）

今お住まいの場所の提供について、今借りているところが一軒家で、相当な金額を払っているんだと、安いところは探したけれどもなかったというようなことでありますけれども、今3月議会の平成25年度新年度予算の中で、やはり空き家対策、そういったものを始めさせていただいた中で、直接あつせんはしませんけれども、金額も明確にしながら、町内の空き家対策、また、住む人がいなくなりそうなどの対策等との、今回今議会で上程いたしておりますので、今、我々も千賀議員と同じ悩みを持ち、同じ考えの中から新年度予算で上程いたしておりますので、よろしく御審議していただきたいというふうに、その場でいろいろと確認していただければ、より具体的に個々の例について担当が御説明申し上げますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○4番（千賀荘之助君）

ありがとうございます。町長の非常に心強い言葉をお聞きしまして意を強くしておるわけではございますが、いずれにしても、これは企画課だけの問題ではなしに、強いて言えば先ほど町長も言われた町全体の問題だと思うのでございます。部長さん、ちょっとあんたの見解をば、町長さんは町長さんであんたはあんたなので。

○経済環境部長（久野元嗣君）

今、千賀議員が言っていただきますように、質問の全体の中にもありましたように、都市と農村の交流、これにつきましては、どういう目的で経済部が携わっておりますかといいますと、もちろんこの都市と農村の交流をすることによりまして、千賀議員が言われましたように地域の特性で、自然だとか伝統文化も大事ですけども、経済環境部といたしましては、まず、都市と農村の交流人口を拡大することによって、農業による所得の向上、これを目指すために交流を行っております。

その交流についてはいろんな交流をしてございますが、これにつきましては、千賀議員、御存じのとおりだと思いますので、ですから、そういうことの中で、いかに農業者が所得を向上できるかという中で、今言われましたようにいろんな問題があります。今、専業農家につきましては、美浜町では100軒を切っております。ですが、兼業農家につきましては400軒を超えております。そのぐらい大変な中で、何で変わってきたかという、それは所得が専業でいけるかどうかということの中で、家族全体での不安がある中での移行だと思います。そういう中で農地が荒れてきた、そういう中で耕作放棄地が出た中で、今、都会の方からのIターンといいますか、来ていただいております人が来始めたという現状はございますが、ですが、来始めていただいたことよりもそれを離れていく人のほうが現在多いという中で、いかにそれを守っていく、そういう地域を大事にしていく、なおかつその地域に合った生活ができるためには、農業でここに24時間住んでいただく方をつくるのが美浜町をつくることだと考えておりますので、町といたしましても、今、新規就農者の補助制度もございますけれども、それ以外にも、町といたしまして、いろいろな補助団体、経営団体の中でも協議し合って、サポート体制をつくっておりますので、そういう問題の方がございましたらぜひ教えていただきまして、我々も一緒になって、農業が少しでもいいんだということがわかっていただくことをPRしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（丸田博雅君）

千賀君、5分を切りましたので、残り時間。よろしくお願ひいたします。

○4番（千賀荘之助君）

では、1番目の問題は、町長さんから心強いお言葉、また、担当当局も前向きな答弁を頂戴しました。よろしくお願ひをいたしておきます。

次の、杉谷川の改修についてでございますが、これはやはり町費で云々ということではなくて、政治的に大きな国・県の補助がなければとてもやないけど対応できない事柄だと承知はしておりますが、その辺につきまして、

建設部長さん、いま一度、どのような対応を今後していくかについて、再度、よろしくお願いします。

○建設部長（片岡 勝君）

今、千賀議員が言われますように、護岸につきましては、整備済み区間につきましては、市町村土木事業ということで、県の補助事業で全て改修してきました。もちろん上流側の未整備につきましても当然、県なり国の交付金、そういった補助金絡みの整備で対応をやっていかなければいけないと、こんなふうに考えております。

○4番（千賀荘之助君）

ありがとうございました。ぜひ前向きに対処をお願いいたしておきます。

それから、3番目の水路の改修でございますが、これは、やはり地権者が真剣になって、もう一遍あの辺を構造改善をやった中で、パイプラインぐらいやるんだと、そういった意欲が欲しいと思うんですが、その辺の点につきまして、第三者的立場で私、物を言っているわけですが、事務方当局としてはどのような見解をお持ちですか。

○建設部長（片岡 勝君）

今言われるようなパイプライン化ということも1つの案で、ルートのことも可能なとは思いますが、先ほど第1答弁のほうでさせていただきましてですけど、野間駅からの東へ向かう野間河和線ですか、これにつきまして、今、事業が一旦休止しておりますが、再開のめどが立っておりますので、これにあわせての補償、つけかえ工事、これにあわせて、今回の整備区間についてはどんな工法がいいということは一度検討したいと思っております。

○4番（千賀荘之助君）

まだ、時間、ありますか。

○議長（丸田博雅君）

時間いっぱいですが、最後の、それじゃ質問で。

○4番（千賀荘之助君）

では、最後のお礼といたしますが、通学路の問題、これは、歩くほうが気をつけておっても、最近ニュースでよく見ますというと、車がそういったところで乱入、突入しちゃって事故が多発しておるのが現状でございます。美浜町としては、自転車通学の方、特に上野間、北奥田、これは西部のほうですよ、それから小野浦地区の方、それで、東につきましては布土からいろいろあると思うんですが、いずれにしても大変な時代になっております。とにかく児童の生命の安全を確保するという意味におきまして、しっかりとした地域と連携をとりながら、教育長さん、また対応していただきたい、その点をよくお願いいたしまして質問を終わらせていただきます。

では、長々と真剣にそれぞれの担当者の方、特に企画部長さん、大変御足労をかけまして、また、建設部長さん、大変ですが、今後とも精いっぱい頑張ってください。それから、経済環境部長さん、人ごとではございません。関連性がございます。ぜひまた一緒になって頑張ってください。

最後になりまするが、町長さん、あなたの持てる政治力を最大限發揮していただきまして、一日も早い改修に入れるようよろしくお願いしますして私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。よろしくお願いします。

○議長（丸田博雅君）

以上をもって、千賀荘之助君の質問を終わります。千賀君は自席に戻ってください。

〔4番 千賀荘之助君 降席〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、ここで休憩に入ります。再開を11時5分、11時5分から再開をしたいと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

〔午前10時48分 休憩〕

〔午前11時05分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続きまして会議を開きます。

山本辰見君は質問をする準備をしてください。

5番 山本辰見君の質問を許可します。山本辰見君、質問してください。

〔5番 山本辰見君 登席〕

○5番（山本辰見君）

ただいま議長より発言の許可をいただきましたので、あらかじめ提出してあります一般質問通告書に基づき、順次質問いたします。町長初め当局の皆さんの明快なる答弁を求めるものであります。

私は今回は簡潔に質問しましたが、これまでのように私からの質問を繰り返して読み上げるのではなくて番号だけで結構ですから、答弁のほうは簡潔にお願いしたいと思います。

長期化するデフレ不況の中、日本経済全体が、仕事がない、あっても賃金が安くて生活できない、こういった悲痛な叫び声が今聞こえてきております。美浜町内においても同じような状況が続いているんじゃないかと思っております。税金を使つての公共工事や、あるいは業務委託の事業からも、いわゆる官製、公のほうからのワーキングプア、こういう状況がつくられているんじゃないか、こういった中で、各地域の自治体の中で公契約条例の制定を求める声が高まってきております。

公契約条例の制定による委託事業等の労働条件の確保について質問いたします。

1点目、公契約条例の意義と目的について、町としてはどのような見解を持っているのでしょうか。また、愛知県が今取り組んでいるこのことに関する取り組みについて伺いをいたします。

2点目は、町が発注する工事請負、委託事業において、いわゆる人件費等の積算基準というのはどのようなようになっておるのでしょうか。とりわけ地元の業者への発注が多い土木工事、あるいは水道工事など、これらは特に人件費の比率が高いと思いますけれども、それらについて伺いをいたします。

3点目は、現在契約している町委託業務、たくさんあるわけですが、私は全部を質問するつもりはありません。とりわけ人件費の比率が高い、例えば電話交換、庁内の清掃業務等、どんなような状況でしょうか。そして、町が提案している人件費を見たときに、愛知県の最低基準との関係ではどんな位置づけなのでしょう。お願いしたいと思います。

4点目は、美浜町として公契約条例を制定し、町が発注する請負工事、あるいは委託業務等について、労働者の条件をぜひ確保していただきたい。このことについてはぜひ町長からの答弁を求めたいと思います。

2点目は、1番の大きな課題と関連する問題でございますけれども、町の臨時職員の待遇改善を求める課題であります。

町の臨時職員の給与ベースはどのような基準で算定されておりますでしょうか。長い人では数年にわたって繰り返し勤務していただいていると思います。こういう場合の業務経験年数等に即した、いわゆる昇給とか単価の見直しはあるものなのかどうか、伺います。

この件の2点目ですが、私はこれまでも、ぜひ正規職員と同じくらいの時間を勤めている方々については正規職員に格上げして採用したらどうでしょうか、こういうことも繰り返し訴えてきたところです。このよう

に繰り返し勤務をお願いしている臨時職員の方々、業務経験を生かせるように、優先的に正規職員に採用されたらどうでしょうか。このことについてもぜひ町長の考え方を教えていただけたらと思います。

以上で、壇上からの質問を終わらせていただきます。

○総務部長（森田 篤君）

それでは、山本議員の御質問にお答えさせていただきます。

初めに、大きな質問の1番目の1点目というふうに答えていけばいいですか。

1点目、まず公契約条例の意義と目的につきましては、地方公共団体が発注する工事等にかかわる労働者の適正な労働条件を確保し、労働者の生活安定や事業の質の向上を図り、安心した暮らしができる地域社会の実現を目指すものであると理解しております。

また、愛知県の取り組みについてでございますが、県におきましては昨年4月に職員による公契約のあり方の研究チームを立ち上げ、県における公契約をめぐる課題の整理や学識者等からの意見聴取、契約に係る実態調査などを進め、11月にその論点につきまして中間報告が公表されております。

2点目でございますが、各担当課が工事費等の設計を積算する際、県が制定する設計単価、積算基準及び歩掛表により積算をしておりますので、適正に人件費等が積算されているものと理解しております。

3点目についてでございますが、これにつきましては、町と契約した事業者が工事や委託事業に従事する従業員に対して賃金を支払うものであり、町はその水準について把握しておりませんので、よろしくお願いをします。

また、愛知県の最低賃金との関係についてでございますが、愛知県におきましても、最低賃金法に基づき、地域別、産業別の最低賃金が定められていますので、町と契約した事業者は当然これを守って従業員に賃金を支払っているものと理解しております。

4点目についてでございますが、平成24年1月現在で公契約条例を制定している自治体は、千葉県野田市を初め、全国で4団体のみであり、全国の公契約条例制定をめぐる動きは課題も多く、進んでいないのが現状であります。

課題の主な点は、国における公契約法が制定されていない中、本来、労働条件への介入は法律で行うべきものであり、条例の守備範囲を逸脱することになるのではないかと考えられます。また、条例で一定賃金の支払いを義務づけることは最低賃金法に抵触する可能性もあり、十分な検討が必要であります。さらに、最低賃金を上回る金額を条例で保障することで、結果として契約金額が増加し、町の財政にも影響を与えるものであり、コストを要する割に、その実効性の確保に疑問があります。

このように、公契約条例制定には課題が多く、全国の各自治体が慎重な対応になっているのが現状であります。

国際労働機関、ILOにおいて1949年に採択されております通称ILO第94号条約、正式名称を公契約における労働条項に関する条約につきましては、加盟国の批准によりまして、その規定の実施を義務づける拘束力を生じることとされております。加盟国の一員であります我が国におきましてははまだ批准されておらず、法律の整備も行われておりません。加えて、改めて申し上げますが、全国においてはまだ4団体しか条例が制定されていない状況も踏まえまして、本町といたしましては公契約条例の制定は現時点では考えておりませんので、よろしく御理解いただきますよう、お願いいたします。

○企画部長（靱山博資君）

続きまして、質問番号の2の（1）についてお答えをさせていただきます。

臨時職員等の賃金単価につきましては、毎年隣接町などの状況や動向を確認させていただき、その状況により

決定をさせていただいております。また、臨時的な職員の雇用期間についてですが、臨時職員につきましては、地方公務員法の規定により6カ月を超えない期間とし、その更新は6カ月を超えない範囲でできるが、再度更新できない取り扱いとさせていただいております。フルタイムでない非常勤職員につきましては、地方公務員法、人事院規則、労働基準法の規定により1年を超えない期間とし、更新回数の限度は2回までを基本とさせていただいております。

したがって、現在のところでは経験年数によって賃金単価に差をつけることは行っておりませんが、先ほど申し上げましたように隣接町等の状況や動向を確認させていただいておりますので、その状況や財政状況等によりまして検討する必要があるものと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

2点目の職員採用に臨時職員を優先的に正職員にということですがけれども、職員採用につきましては、広報等によりまして公募を行い、教養試験、適性検査、面接等の結果によりまして採用者を決定させていただいております。

御質問の臨時職員につきましても、受験資格等が合致している場合は、応募していただくことは何ら不都合であるものではありません。また、近隣の市町において優先的に採用しているというお話も聞いておりませんが、本町においても、採用の公平性を保つために、臨時職員を優先的に採用する考えは今のところありませんので、よろしく願いをいたします。

なお、臨時職員等につきましては、雇用機会の拡大が必要と考え、本年度追加で募集いたしました保育士につきましては、当初30歳までの受験条件を40歳までに変更しましたところ、複数の臨時職員等を経験されている方から応募がありましたので、御報告をさせていただきます。

○議長（丸田博雅君）

山本辰見君、再質問はありますか。

○5番（山本辰見君）

公契約条例の問題、先ほど目的と意義についてありましたけれども、それと、全国的には実際に実施している自治体は少ないのは私も調べてありますけれども、ちょっと繰り返しになりますけど、私も実は、この公契約の問題、どういう立場からいろんな意見が出ているかということ整理してみました。

1つはというか、地方公共団体が民間企業と契約するときに、契約で働くことになる労働者の賃金を、最低額を入札の条件として契約の条件を決める。そして、あわせて仕事の品質も確保する。品質を確保して労働者の条件を整備することが目的じゃないか。実際には、この契約が行われたことによって、賃金が労働者にきちっと支払われているんだということが行政としても確認できること、もう一つは、例えばこの契約に違反した場合は契約解除だとか指名停止ができる、こういうことも含めて、働く人、仕事を請け負った業者の中で働く人、あるいはそこから仕事をいただく下請業者の方々の生活や賃金を守ることがこの公契約条例の底辺にある大きな目的だと考えています。

そういったときに、先ほど、例えば2番のところ指摘しました、実際に基準はどうなんですかということですが、例えば土木工事の場合、愛知県の最低賃金、今780円前後だと思いますけれども、それらとの兼ね合いではどういう基準でございましょうか。

○総務課長（牧 守君）

愛知県のほうで、最低賃金のほう、決められております。最低賃金につきましては758円ということで、これは24年10月1日効力発生ということでその単価が決められております。

当然、この愛知県の最低賃金を上回る単価で、実際には土木工事、水道工事等々につきましては、愛知県のほ

うから出されております配信単価、それから単価表、それから歩掛表等に基づいて、この賃金を上回る単価で当然積算されているものというふうを考えております。

以上でございます。

○5番（山本辰見君）

当然、いわゆる発注する側からも、町のほうからも工事の全体の工事予定金額、そこには人件費の単価も含めてですけれども、入札で、それぞれ競争して出すわけですね。たまたま町の今発注している工事は割と、九十何%とか、そういう形も多いかもしれませんが、事業によっては、それから市町によっては、70とか80とか、うんと下がってくることが多いかと思います。事業によっては、そのことが結果として、材料費だとかなんかは下げられんけれども、人件費に影響してくるということがあろうかと思いますが、その辺のことはどんなふうに捉えておりますでしょうか、入札との関連性は。

○総務課長（牧 守君）

本町で行っております土木・建設事業関係、主に土木系、非常に件数のほうも多くて、できるだけ地元の業者の方を使ってというようなことで、いろいろ当方も考えて、担当のほうも考えてやっておりますが、入札、23年度のデータしかちょっとございませぬので申しわけないですが、工事請負契約に係る指名競争入札の執行状況ということで、平均落札率が95.10%ということで、非常に高い率で落札をしていただいております。そういったことを考えますと、設計そのものがまず、最低賃金を上回る、そういった単価で積算されており、なおかつ高い率で落札されてみえるということは、ある程度の賃金のほうも確保されていると。

ただ、実際に請負業者の方が落札はされましたけれども、その下請の雇用されている皆さんに対する賃金の支払いの関係のところまでは、先ほど部長も説明申し上げましたが、我々のほうでは把握しておりません。当然、最低賃金法に基づきまして、愛知県において地域別最低賃金を下回るような雇用形態をとっているような場合につきましては、最低賃金法で定められております罰則規定に基づきまして、50万円以下の罰金だとか、そういった罰則が科せられることがはっきりしておりますので、当然請け負われた業者におかれましても、最低賃金を下回るような、そういった賃金の支払いがなされていないというふうに我々は解釈しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○5番（山本辰見君）

今の2番と3番のことも関連してくるわけですが、3番のほうでちょっと再確認させてください。

いわゆる積算基準としては最低賃金より下回ることはないんだと、当然業者もそうだよということなんです、例えば美浜町での具体的に仕事を委託しております電話交換業務、ちょっと1つに絞ってみますけれども、今、どういう人数と時間割と、それから、トータルで契約金額があると思いますけれども、それを積算したのは、単純に時給にするとどういう数字が出ますでしょうか。

○総務課長（牧 守君）

電話交換業務につきましては、議案説明会の場でもちょっと御説明させていただきましたが、2名体制で勤務をしていただいております。勤務時間につきましては、午前8時20分から5時20分までというようなことで、昼1時間抜いて8時間、7時間45分、通常の一般職員と同じような形態での勤務になっているかと思っております。請負金額につきましては、この業務につきましては単年単年で契約のほうをしているということではなくて、3年間にわたります長期継続契約ということで、そういった契約の形態をさせていただいております。3年間の契約総額が1,436万4,000円でございます。年額に換算しますと478万8,000円ということでございまして、月額にしますと39万9,000円ということでございます。時間単価まではちょっとはじいておりませぬので、そういった金額に

なろうかということで御理解いただきたいと思います。

○5番（山本辰見君）

ちょっと私も細かい計算はできませんけれども、当然契約単価が職員に全額給料で払うということにはなりません。衣服費もあるでしょうし、そのほかの厚生状況なんかもあると思いますけれども、そういった面では、今たまたまこの金額はおおよそのことははじけると言うんですけれども、先ほど総務部長は、トータルでは契約しているけれども、どういう単価で対応しているのか、いわゆる給料ベースがどんなものかは、こっちの側はできないと、把握できない。

そのために、公契約条例なんかではきちっと、業務報告書ですか、そういう形のことも含めた、出した側が出したとおりの仕事をしてきているかと、労働条件も含めて、発注した側が、いわゆる税金で仕事を出している側が、いわゆる働いている人の給料も含めた条件を確保できる、こういう中身だと思うんです。だから、意義としては、非常に財政が厳しいよとか、低い単価で入札でどんどん低く下げることなんです。中には、入札でどんどん下げることによって仕事の質を確保できないケースがいろんなところで生まれていると思う。先ほど町の土木では平均単価が95%、私は、これは本当に大事なことだと思いますし、単純に入札でどんどん下がればいいということは思っていません。一定のところ、レベルがあると思っていますからね。その上で、私も個人的には民間の企業で働いていると、やっぱり最終的には、最後引けるところは、仕事で手を抜くわけにはいかんということになると、人件費のところになるんですよ。単価はそんなに下げられませんけど、5人でやっていると4人に減らしてやるとか、そういうことです。そういう面では、先ほど、ほかの市町は実際にはまだ用意していないけれども、実は意見書としてどういうのが上がっているか、つかんでみえますでしょうか。全国の自治体で、公契約条例というよりも、国に対して、先ほど総務部長からあった公契約基本法ですか、そういったの意見書がたくさん出ている。美浜町からも出したはずですけども、全体として、細かい数字は結構ですが、どのくらいのことで評価していますか。

○総務課長（牧 守君）

公契約法の成立に向けたというのか、そういった意見書の関係がどのくらいかということでございますが、その点については我々、細かいところまでちょっと把握しておりません。ただ、実際に、平成18年に衆議院の本次会议の中で、やはり先ほど部長が申しあげましたILO98号条約の関係につきまして、当時の小泉首相が批准をするのかどうかということに対して、それは雇い主と雇われる人との間で協議すべきことであって、法律で云々ということで、我が国では批准することはできないというような回答をしたわけです。

その後におきまして、先ほど言いました町田市だとかを含めた4団体が公契約条例制定のほうに踏み切っておりますが、その前段として、全国知事会のほうから国のほうに、公契約法に関するそういった要望が出されたら、その程度しかちょっと把握しておりませんので、申しわけありません。よろしくお願いします。

○5番（山本辰見君）

この条約の問題は、いわゆる働く側と働かせる側、大きく言うと、経団連だとか、そっちのほうと労働者の団体との大きな流れの世論のことも多分にあると思います。そして、国会の中では、それから、先ほど出た県知事、県の知事会ですか、それから、全国の市長会のほうからも意見書が出ています。

もう一つ、町長にぜひお聞きしたいのは、町村の段階では、全国町村会があると思います、この課題は、意見書みたいなのが上がっているのか、それから、私の調べたのはちょっと古い数字ですけど、12年の3月の集計で、先ほどの意見書が、42の都道府県の中の876議会、ですから全体のもう半分以上、7つの県では県内全ての自治体が意見書を出しているとか、愛知県内でも常滑市、知多市、大府市、阿久比町を含めて24の自治体、ここ

は先ほど出ました公契約基本法のことです、それから、これとは別に、東海市、半田市、武豊町、美浜町がどう
いう文書だったかちょっと今控えがないので申しわけありません、美浜町も含めて、公契約とはなっていません
けど、それと同じような中身の労働条件入札契約法とかいう形でのこれを求める意見が、これは議会の中で本当
に多数の賛同をもらって上げているわけですから、流れとしてはぜひこのことは進めていかないかんという中身
ですけれども、町長に先ほど質問をした町村の段階ではどんな論議になっておりますでしょうか。ありましたら
お願いします。

○総務部長（森田 篤君）

町村会等でそのような議論があったかどうかということについてはちょっと把握しておりませんので、よろし
くお願いします。

○5番（山本辰見君）

私はこの問題は、きょうはいい答弁がいただけるとは思っていないというのもあって、本当に世論づくりを、
私たちも、議員の側もやっけていかないかんと思いますし、総務部長さんのところが担当になると思いますけれど
も、町村の段階でも、先ほどの町村会だとか、あるいは郡の会合なんかでもぜひ発言していただきたいな
と思います。

大きな2点目のほうにちょっと移らせていただきます。

先ほど、本当は1回目のところで、条例制定を考えるに当たって町としてはどんな法的課題があるんですかと
いうことを再質問しようと思ったんですが、ざっと重立ったことを言ってくれましたので、そのとおりとは思
っていませんけれども、2点目のほうに移らせていただきます。

先ほど、臨時職員の給与ベースのことで、自治体によっては、臨時職員だとか、いろんな形の呼び方をしなが
ら、いわゆる正規職員じゃない人のことをやっているわけで、私はあえて言わせていただくと、非正規職員とい
う形、パートも含めて、臨時職員というのか、パートの方、あるいは短期の、短時間の契約の方もいると思うん
ですけれども、基本的には、いわゆるその都度、毎年契約するというものですから、そのベースは、例えば町職
員の新規に採用する高卒の人たちの初任給みたいなことから見たときには、どの程度の位置づけになりますで
しょうか。

○企画部長（靱山博資君）

先ほども答弁の中で回答させていただいたんですけれども、一応この賃金を決定させていただくベースといた
しましては、隣接町村ということで、今、5町で総務事務研究会というのをやっております、そういった中の
意見交換といいますか、情報交換の中で、こういった金額を決めておるということでございます。

○5番（山本辰見君）

私は具体的に、例えば、いろんな職種があろうかと思っておりますけれども、とりわけ、人件費というか、人的な要
素で多いのは、保育士だとか、それから、給食センターの職員さん、ここ、人数もすごい多いかと思っておりますから、
本庁の中での事務を担当している方もいると思うんですけれども、どこか職種を絞って、その方が臨時で採用し
ている方と高卒の初任給と比べてときになんですかということ、いわゆる時間当たりのことで計算した場
合どうなんですかということをお聞きしました。

○企画部長（靱山博資君）

ちょっと計算がしてないものですからここで明確なお答えはできませんけれども、恐らくそういった正規職員
よりも安いのではないかというふうに想像をしております。

○5番（山本辰見君）

ぜひ私は数字も含めて報告いただきたいと思いますが、先ほどの答弁では1年ごとだから、経験年数だとか何かということももう長く勤めている人は繰り返し申し込むということになると思いますけれども、そういうことがないということで、実際は、実際に仕事をしている方は、経験が長ければ、新規に採用する、例えばことしの4月に採用する職員を指導できるぐらいの力量を持った職員もいるかなと思うんです。そういう方が、例えば4月にある職種を採用しますと、1年目の初めて応募した方と、それから、5年、10年の方はいるのかどうか分かりませんが、そういった方と、まるっきり一緒に配慮してもらえんということになると、私は本当に、意欲の問題も含めて、あるいは、正規の職員は研修ということでいろいろスキルアップのことでいろんな手だてがあると思うんですけれども、それらも含めると、1年ぽっきりだからいいやということになりかねんなど、そう決めるは分かりませんが、そういうことがすごく気になるんですけど、先ほどから聞いている、経験に基づいたその人の配慮を、何か方法はないんでしょうか。

○企画部長（靱山博資君）

当然そういった配慮等の必要性は感じておりますけれども、ただ、ほかの市町とのバランスもございまして、そういったバランスの中での単価の設定をしておりますので、御理解のほうをお願いしたいと思います。

○5番（山本辰見君）

実は私、今は正規の職員も、皆さん御存じのように公務員攻撃がすごいあって、国の、昨年というか、今年にかけて問題になった、国家公務員、先生方だったり県の職員の退職金をがっつと減らす問題とかを含めて、これはこれまでも繰り返し、民間の事業のほうは公務員が我慢しているからおまえたちも多少景気がよくなったからといって上げるわけにはいかんというようなことで、賃金は上げんけどボーナスでちょっと色をつけてあげるとか、それから、あるときはその反対も含めて、今は本当に公務員攻撃がすごいと思うんです。そういう面では、正規の職員さんも、町の職員も含めて、本当に抑えられてきていると思います。

それから、もう一つが、山下町長が長年というか、担当になってから続けてきた議員定数の削減、行財政改革の最たるものがそれだと思いますけれども、含めて国のほうからの押しつけられた形になるわけですけど、集中改革プランというのがありました。これで、早期退職も重なったりして、思ったより削減計画が前に進んできた。そのことによって、臨時職員、あるいは非正規職員の方々が非常に苦勞しているんじゃないかなと思うわけです、仕事が回ってきて。それから、職員も減っていますから、正規の職員の方の仕事も本当に、前は5人でやっておったのが4人になったとか、そういうことがあろうかと思っておりますから、本当に臨時職員の方々の待遇をしっかりしながら頑張ってもらいたいということが前提で今話をしているんです。その面では、企画部長のほうから当然安いと思いますよということですけども、もう一つお尋ねします。

給食センターの調理員さんなんかは、今も4月で、3月の何日かで1年を超えないということの契約なんじゃないですか。だけど、私は給食センターさんと結構長く同じ方が続いているような気がするんですけども、その人たちの採用条件はどういうふうな形になっていますでしょうか。

○町長（山下治夫君）

ただいまの山本議員の発言の中に私の名前が出てまいりまして、議員定数削減を町長がしたというふうに私は聞かれましたけれども、恐らく言葉の言い間違いだろうと思うんですが、その点について、議長、確認をお願いしたいと思います。

○5番（山本辰見君）

議員定数と言いましたか。職員定数の間違いです。済みません。それは失礼しました。

○議長（丸田博雅君）

じゃ、訂正をお願いいたします。

○企画部長（靱山博資君）

今、給食センターの臨時職員の採用条件についてのお話でございますけれども、当然、フルタイムでは雇用をしておりません。短時間作業という形でお願いをしております。先ほど冒頭に説明させていただいたように1年契約であと2回更新ができますので、3年まで最大雇用ができるという形態で行っております。それ以降はまた、場合によっては再度申し込んでいただいて、面接をして採用するかどうかを決めるという流れになるかと思っております。

○5番（山本辰見君）

実際は、1年契約といいながら1年契約じゃなくて三百六十何日かの契約かわかりません。実質的には5年、10年の人がいるかどうかかわかりませんが、長く働いて頼られるベテランになっていると思うんです。前も違う件で正規の職員に採用しませんかという質問をしたときに、パートだけでも調理の腕は確かなものを持っているということも言って、本当その面では私はそのとおりだと思っていますから評価しているわけですが、実際には1年契約ですから昇給のこともありませんし、それから、退職金の兼ね合いとか一時金的な捉え方も多分ないと思うんですけど、そのことを後で教えてほしいと思うわけですが、正規の職員さんがボーナス時期になると、きょうは振り込み日かなということがあったときに、やっぱりすごい気持ちの中にはいらいらしたことがあるんじゃないかなと思っているわけです。そういう面では本当に、特に給食センターの方なんかは、たまたまフルタイムではないと言ったんですけど、少し正規の方より早く帰ってもいいからということにしてやると。本当は、フルタイムで同じ7時間45分ですか、その時間働いてもらったっていい仕事は結構あると思うんですね。その面では、むしろパートじゃなくて正規に上げていくことが必要じゃないかなと思うわけですが、

私、特に、今はたまたま給食センターの話をしましたけど、ほかの部署も含めると、フルタイムで働いても、じゃ、年取で今の契約単価がどのくらいになるのか、すごく心配になります。今、多くのところで、いわゆる真っ当に8時間働いても200万行かない人たちがすごいふえておって、それを、きょうの私の質問の趣旨は、いわゆる役場とか役所が出す仕事にそういうのがあってはならんんじゃないかというのの前提、公契約条例と兼ねた趣旨できょうは質問させていただいております。

ちょっと確認ですけど、先ほどの一時金とか、あるいは退職金の兼ね合い、それから、通勤手当とか、その辺の条件、それから有給休暇の問題とかということでの正規職員との違いとか、ここは同じように保障しているとかいうことを教えてください。

○企画部長（靱山博資君）

まず、冒頭の御質問のありました退職金については、臨時職員につきましては支給をしておりません。それと、有給休暇につきましては、労基法に基づきまして半年を経過した後に基準の日数を与えております。あと、通勤手当につきましては、所定の計算式によりまして通勤手当のほうは支給をさせていただいておりますので、よろしくをお願いいたします。

○5番（山本辰見君）

もう一つ、当然保険の問題とかあると思いますけれども、例えば途中で、1年間びっしりじゃなくてある時期保険が切れる、今、臨時の方は、役場と関係ない、例えば国保とか、そういうことになっているのかわかりませんが、中には、これは町の例と少し違うかもしれませんがポイントが外れたら申しわけないんですけども、途中で切られる場合、365日じゃなくて11カ月とかという形になった場合、保険との関係なんかが少し心配

なんですが、その辺はどうなっているのでしょうか。

それと、民間ですとパートでも、やっぱり経験年数に応じて給料の見直し、パートの職員でもあるわけですから、いわゆる役場のほうが採用する方で、くどいようですけれども、繰り返し仕事をお願いしている方、それから、保育士さんなんかでも、登録して産休保育なんかで本当に経験のある方なんか働いてもらっていると思うんです。そういう方への配慮が本当に必要だと思いますけど、何か手が打てませんかでしょうか。

それから、もう一点、最後もう一回、後で質問します。

○企画部長（靱山博資君）

保険の適用につきましては、社会保険の基準によりまして、2カ月を超える雇用をする者について、かつ正規職員の4分の3以上勤務する者につきましては、厚生年金と社会保険の加入をしていただいております。それと、あと、労災とか雇用保険についても、同じく規定によりましてそういった手続をしておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（丸田博雅君）

残り5分です。

○5番（山本辰見君）

今確認したかったのは、そういう中身で結構だと思うんですけども、例えば3月20日で終わりだと、来年もう一回働くとして、3月20日から4月1日、31日までの間の保険の扱いはどうなるのかなということがちょっと、いわゆる途切れる期間がないのかなということをおもうわけです、社会保険だとか保険証の扱いなんかですね。そのことを確認したかったんですけど、いかがですか。

○企画部長（靱山博資君）

そういったおそれはあるかと思えます。当然雇用期間が切れますので、そういった期日によって保険やなんかの適用も取り扱われると思えますので、よろしくお願いたします。

○5番（山本辰見君）

最後になりますけど、いわゆるその方たちは、10日ぐらいいいよとしているのか、あるいは、中には、月単位ですと、一遍保険の解約の手続をして、また4月に改めて、そういう手続的なことがすごく煩雑なことがあるかと思えます。

それから、もう一点、正規採用にしてほしいという話と関連して、前にも何回か質問したときに、例えば具体的に言うと、延長保育、早朝保育の担当の方は短時間だからしょうがないよという言い方を総務のほうからお聞きしたことがあるんですけども、そうであっても、例えば早朝保育だとか延長保育については、ずーっと流れの中で、必要な事業、町として保育行政の中で必要な仕事の中身だと思うんです。だから、私は、そういう採用の仕方があるのかわかりませんが、短時間の正規職員という制度も研究していく必要があろうかと思えますけど、その点については何か見解がありますでしょうか。

○企画部長（靱山博資君）

今のところ、短時間の正規職員というお話は聞いたことがないと思っております。そういった中で、臨時職員の労働条件の改善というのは必要だというふうに我々も思っておりますので、今後、隣接市町の状況も把握しながら、できる限りの労働条件の改善に努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願をいたします。

○5番（山本辰見君）

最後になりますけれども、先ほど愛知県の取り組みも少し、最初の公契約条例の問題で、県も検討を始めたということですが、愛知県知事が、たまたま私たち、今、愛知県の県議会に共産党の議員団がいなくて残念

ですけれども、そういう中でも、ほかの議員からも、公契約条例の問題、ぜひ進めてほしいということが出て、その中に対する答弁と取り組みの中で、愛知県知事の大村知事のほうから、これは一昨年の11月、暮れの議会でしたけれども、今、研究チームを先ほどするということを言いましたけれども、ぜひこれは、県としても、いわゆる産業の活発な愛知県としては、働く形を保障していかなあかんという意味で、何としても条例制定に向けて前向きに検討していきたいということを言ってくれていますから、ぜひ、私は下のほうから、町村の段階から、それから郡のほうの段階からもこの声を大きく上げていっていただきたい。前に町議会としての意見書は上げていますので、ぜひそれらの実現に向けて、当局のほうも頑張ってくださいと思います。

これで質問を終わります。

○議長（丸田博雅君）

以上をもちまして、山本辰見君の質問を終わります。山本辰見君は自席に戻ってください。

〔5番 山本辰見君 降席〕

○議長（丸田博雅君）

これをもちまして午前の部を終了したいと思います。午後の再開を13時ジャストから、午後1時から再開をいたします。よろしくお願いいたします。

以上です。

〔午前11時55分 休憩〕

〔午後1時00分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

野田増男君は一般質問席に移動してください。

7番 野田増男君の質問を許可します。野田増男君、質問してください。

〔7番 野田増男君 登席〕

○7番（野田増男君）

議長の許可をいただきましたので、あらかじめ議長宛てに提出してありました一般通告書に基づき、質問に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、最初に、1番として、再生可能エネルギー、太陽光発電、ソーラーパネルの設置推進についてでございます。

一昨年の東日本大震災以後盛んに言われている脱原子力という観点からも、太陽光発電の推進が一層必要であると考え、また、次の世代を担う子供たちに住みよい環境を残すためにも、環境負担の少ない太陽光発電を推進すべきだと思い、質問します。

1番として、一般家庭用の太陽光発電については、1キロ当たり2万円、最大8万円の補助を実施しているが、補助内容の拡充を考えてはどうかです。

2番、行政区が地区公会堂等に設置する場合においても補助対象とする考えはないか。

3番ですけれども、各地区の学校、公民館等へ、町の事業として設置することは考えていませんか。

2番、25年度町防災訓練についてです。

と通告書には書きましたが、正確には、県・町合同津波・地震防災訓練でございます。この防災訓練、どのような計画をしているのか、伺いたいと思います。まだ準備段階だと思いますけれども、わかっているところまで、よろしくお願いいたします。

3番として、海岸公衆便所についてです。

南奥田、かんぼの宿前にあった便所が老朽化のため撤去となり、その後、天野公園内につくる計画があるようだったが、どのような計画があるか、ちょっと伺いたいと思います。

以上です。よろしくお願いいたします。

〔町長 山下治夫君 登壇〕

○町長（山下治夫君）

野田増男議員の御質問にお答えをさせていただきます。

2点目の町防災訓練につきましては、私のほうより防災訓練に対する私の考え方を申し述べさせていただいた後、訓練の詳細につきましては総務部長より御答弁申し上げますので、よろしくお願いいたします。

各区自主防災組織の方々にはそれぞれの地区の実情に合わせた自主防災訓練を実施していただいておりますが、おかげさまで地域の防災意識も向上し、これが町全体の防災力の向上に寄与しているものと、この場をおかりいたしまして御礼申し上げます。

さて、平成23年3月11日に発生した東日本大震災によりまして、東北地方沿岸部を中心として津波による甚大な被害を受けたことは、議員を初め、多くの方が御存じのとおりであります。東海地方沿岸部におきましても、東海地震、東南海地震、南海地震、あるいはそれらの連動地震の発生が危惧されており、東北地方の惨事は決して他人事ではありません。

そのため、愛知県におきましても地元自治体との共催にて津波・地震防災訓練を実施しておりますが、一昨年の南知多町、昨年の田原市に続き、ことしの11月17日には本町において開催されることとなりました。

この津波・地震防災訓練は、大規模地震及びそれに伴う大津波を想定し、同報無線などで住民に避難を呼びかけ、安全な場所へ移動するといった訓練を行うことによって、万が一津波が発生した場合には迅速な行動ができるよう意識づけを行うことを目的としております。

この機会を捉えまして、平成13年9月23日に南知多ビーチランド南で実施いたしました総合防災訓練以来、12年ぶりに町全体を対象とした総合防災訓練との位置づけにより、県との共催にて開催させていただくことといたしました。

もちろん、各地区の実情に合った自主防災訓練の重要性が低下したと考えるのではございません。

今回の訓練は総合防災訓練との位置づけですが、後ほど担当が御説明するように、町内全域において全自主防災組織などが同時に訓練を実施することに重きを置いての総合的な防災訓練を目指すものでございます。

そのため、町内各地区の代表が一堂に会するような訓練とはなりません。町内全域で一斉に訓練に参加することにより、より臨場感を持って防災訓練が実施できるものと期待をしております。

なお、本町におきましては、緊急時に確実に情報をお届けするための手段としまして、ラジオ受信機能付戸別受信機と美浜町安心安全メールを導入しておりますが、今回の訓練を契機により一層の普及を図ってまいりたいと考えておりますので、議員におかれましても御支援、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

〔降壇〕

○総務部長（森田 篤君）

それでは、質問順は2番目ですが、関連でありますので先に御答弁させていただきます。

先ほどの町長の答弁にもございましたが、本年11月17日に愛知県との共催により、津波・地震防災訓練を開催することになりましたので、私のほうよりこの訓練の概要につきまして御答弁させていただきます。

この訓練は、大規模地震及びそれに伴う大津波を想定して、同報無線などの活用と住民による安全な場所への避難の実践により、実際に津波が発生した場合には迅速な行動ができるよう、意識づけを行うことを目的としております。

この訓練の内容につきましては、これから県、防災関係機関等と調整の上、詰めていく必要がありますが、参考までに、昨年実施されました田原市での訓練におけます重点事項を申し上げますと、1点目としまして、防災関係機関及び地域住民への情報伝達訓練、2点目、高台への避難訓練、3点目、ヘリコプターを使った救助訓練、4点目、自衛隊、県警、消防本部によります救出訓練、5点目、救援物資の搬送訓練などを行っております。

本町におきましても、この内容を基本にすることとなるものと思われまます。

なお、主会場は、日本福祉大学と、河和中学校または河和小学校のいずれかの計2カ所を想定しています。

また、この訓練はこの2つの会場だけに限定することなく、町内全域において同時に実施することが重要であると考えており、各区自主防災組織の協力をいただき、各地区で同報無線を使い、全ての住民が参加できるような一斉訓練を実施したいと考えています。

また、町内の全ての小・中学校におきましても、この日に合わせて学校行事を実施し、その中で全児童・生徒が訓練に参加できるようにしたいと考えております。

なお、本町は観光地でもありますので、多くの観光客が訪れる集客施設においても、どのような訓練ができるかを検討し、可能な範囲で当訓練に参加していただきたいと思っております。詳細につきましては今後各機関と調整することとなりますし、また、行政区を初め、関係団体の皆様方には御相談あるいはお願いをすることが多々あるかとは思いますが、積極的に御協力いただきたいと考えております。

先ほどの町長の答弁でもございましたが、議員におかれましても御支援、御協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

以上です。

○経済環境部長（久野元嗣君）

次に、再生エネルギーの設置推進についての御質問の1点目、一般家庭の太陽光発電については補助を実施しているが、補助内容の拡充を図る考えはないかについてでございますが、まず、知多半島5市5町の補助状況を確認いたしましたのでお知らせいたします。

常滑市を除く4市5町は設置に対する補助を行っております。

補助金は、半田市を除いて本町と同額の1キロワット当たり2万円で、限度額を8万円までとしております。半田市は1キロワット当たり1万円の補助金で、限度額を4万円としております。

本町の設置に対する補助状況は、平成21年度で16件、22年度で37件、東日本大震災後の平成23年度では56件、本年度は1月末現在で57件の申請がございました。

さて、補助内容の拡充でございますが、太陽光発電の命でもありますモジュールは発電効率のよいものに日々改良されておりますが、設置費用は全国的な普及も反映しておりまして、少しずつではございますが安価となってきております。また、国からの補助は、パネル等補助対象経費にもよりますが、1キロワット当たり3万円から3万5,000円が補助されております。さらには、売電価格も、1キロワット当たり42円と高いレベルで推移しております。本年度3月中に手続をされる方は、10年間にこの42円が維持されます。

このようなことから、現時点では補助内容の拡充を考えておりませんので、よろしく願いいたします。

○企画部長（靱山博資君）

続きまして、2点目の行政区が地区公会堂等に設置する場合、補助対象とする考えはないかについてござい

ますが、現在のところ、行政区への国・県等の設置補助の制度はございません。本町におきましても、電気使用量や設置コストなどの費用対効果の観点からも、補助制度としての位置づけができませんので、現在のところ補助対象の考えはございませんので、よろしく願いをいたします。

○教育部長（山森 隆君）

3点目の学校、公民館等へ設置することは考えていないかについての御質問でございますが、太陽光発電システムは平成10年度に河和小学校北校舎を大規模改修した折にあわせて設置し、平成11年3月から稼働いたしました。その後、効率よく稼働するため維持補修に努めておりましたが、設備の経年劣化が進み、その補修に多額の工事費が必要であることがわかり、関係部署と調整を図ってまいりましたが、費用対効果を考慮して、平成21年9月から発電を断念しております。太陽光発電システムを学校や公民館などの屋上に設置するためには、システム自体の工事費のほかに、建物の補強も必要となり、多額の経費がかかり、毎年の維持補修費も高額となる状況から、設置については慎重にならざるを得ません。

今後、発電システムの技術開発が進み、工事費や維持費についても低コストで設置できる状況になりましたら検討をしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○経済環境部長（久野元嗣君）

南奥田、かんぼの宿の前にありました便所が老朽化のため撤去となり、その後天野公園内につくる計画があるようだが、どのような計画かとの御質問でございます。

本町の西海岸にあります観光用トイレには、町がつくったものと野間漁業協同組合がつくったものとの2種類がございます。御指摘のかんぼの宿の海岸沿いにあったトイレは野間漁業協同組合が設置されたもので、老朽化が進んでいるため、平成24年10月末に野間漁業協同組合において撤去されたと伺っております。その際、天野児童遊園のトイレを拡充してもらえれば代替機能は確保されるというお考えもあったようですが、その後野間漁業協同組合から、平成25年度の予算要望として、潮干狩り期間中に簡易トイレを設置しておく費用に対する補助要望をいただいておりますので、本年度の当初予算において設置費の2分の1に当たる補助金を計上したところでございます。

○議長（丸田博雅君）

再質問はありますか。

○7番（野田増男君）

やはり原子力はもうやめなければいけないと僕もありまして、あそこの事故が起きてから、あの土地へ帰れるのは10年、20年、もっと先に住民の方がなると思うんです。それを、原子力、電気が足らなくなってくる夏場、やはり皆さんがパネルをつければ多少でもよくなるのはあるんじゃないか、火力発電に頼るのではなく、やはりつけたいと思うんですけど、町のほうさっきないという話だったんですけど、もうちょっと、何か話、ないですか。

○経済環境部長（久野元嗣君）

今、原子力、あのようなことがありましたので、いろんなところで叫ばれております。代替エネルギーとしてどのようなものがあるかというのはいろんな分野の中で言われております。

もちろんその中で今一番進んでおるのが太陽光かなというふうなことは理解しておりますが、いろんなエネルギーの中でどうしたらそれを賄えるかといいますと、今、難しい問題の中で、太陽光だけで日本全体のものが賄えるという制度にはまだなっていないなど。ですけど、ある程度のことでフォローしていくことが大事だなというふうに思っておりますので、美浜町としてできる限りのことは対応していきたいなというふうに考えておりま

すので、よろしくお願いいたします。

○7番（野田増男君）

1番の小さい2番ですけれども、行政区が地区公会堂に設置するというあれなんですけれども、環境のことなどを考え、太陽光発電を設置しようとした区があるんですけれども、そこがやっぱり町からの補助がないということで、ここの区は自己資金でやるとなったんですよ。そういうところがもうあるんですから、町のほう、もうちょっとこれを考えて、この先、またふえてくると思うんですけれども、どうでしょう、もうちょっと話を聞かせてください。

○企画部長（靱山博資君）

行政区からの話はいつごろあったお話かということであれなんですけれども、ちょっと直接私どもの耳には届いていないわけでございますけれども、先ほどお答えさせていただいた答えの中身につきましては、公会堂は日中は余り使用がないということで、一般家庭用に比べて売電量が多くなるということから、有利性があるということでそういった補助対象には考えていないというお答えをさせていただいたんですけれども、違った観点から、そういう電気の、自然エネルギーのPRだとか、そういう観点からの御質問でしたら、また一度区長会等ともお話をさせていただいて、検討させていただきたいと思います。

以上でございます。

○7番（野田増男君）

今のなんですけれども、やっぱり区もいろいろ予算がおおりてこない、少ないのもありまして、昼、日中は公会堂はほとんど使わないんですよね。だったら、商業化のやつでやって、多少でも区のほうに入るのならというのがあるんですよ。そののところもちょっと町のほうで助けてやれるのがあったらなと思ひまして、こういう質問をしました。

次の3番の各学校、公民館等へ、これも多分一緒だと思うんですけれども、これ、避難所の関係もあると思うんですよ。だから、災害があったときにやっぱり電気が来ない、ソーラーがあれば多少使えるのかなという、そのことを思ひまして、どうでしょう。

○教育部長（山森 隆君）

河和小学校へ設置したときも、そういった避難所になるということで、国からの補助金もいただいております。ただ、先ほども言いましたように、後づけになりますと配線とか発電システムの設備が屋外になってしまっていて、なかなか補修費のほうが大変ということで費用がかさむということがございまして、今ちょっと断念せざるを得ない状況となっておりますが、そういった面で、大規模な改修で配線等が露出しないような工事方法等を考えて、当然、避難所としての設置、大変重要だと思っておりますが、費用の面につきまして今断念しておりますが、そういった面で技術開発が進み、設置できるような段階になりましたら当然検討してきますので、よろしくお願いいたします。

○7番（野田増男君）

それで、ちょっと僕も最近聞いた話なんですけれども、屋根をまた貸しする、何かそういう業者、貸してもらえて、そこを使って、契約時に災害が起きたときはその電気は下でも使うという、何かそういうのがあるらしいんですよ。だから、そういうのを一遍検討してみてください。

○教育部長（山森 隆君）

これ、今後とも、いろんなクリーンエネルギーとしての使い方、いろいろ出てまいりますので、いろいろと情報収集しながら検討していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○7番（野田増男君）

太陽光のことは、いろいろ皆さん、よろしくをお願いします。

町防災訓練のことなんですけれども、これ、さっき総務部長からもあったかと思うんですけれども、東日本大震災では学生がいろいろ活躍しましたよね。テレビでも、よく私も見ました。

今度の防災訓練には、学校、学生、みんな一緒になって1日住民の方と動いたらどうかと、そこをちょっと思いましたものですから、きのうもちょっと中学校の卒業式にそういう話も出たんですけど、どうでしょう。

○防災安全課長（本多孝行君）

この防災訓練につきましては、先ほど部長の答弁でもございましたように、日本福祉大学が主会場の1つとなっております。当日、大学祭がございまして、その意味も含めまして、大学の行事との兼ね合い、一緒にやるというような形で、そういう方向性でまず大学も訓練に全体として協力をいただけるというふうにしていきたいというふうに考えております。

ふだんから大学のボランティアセンター等の学生さんは非常に積極的に、ただいまの減災カレッジなんかにも参加していただいております。そういった意味で、今回の訓練を機に、より一層、今、大学生が大勢こちらにおみえになりますので、その力を万一のために活用できるような方向で一緒に訓練をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○7番（野田増男君）

大学生は奥田でいろいろやってもらっているそうですよ。僕の言いたいのは、中学生、小学生、その辺も一緒になって1日やればいい経験になると思うんですけれどもね。1日ぐらい学校を休みの日があつて、皆さんで防災訓練をしましょうという日があつてもいいんじゃないかなと思います。

○教育部長（山森 隆君）

先ほど総務部長より答弁がありましたとおり、まだ河和中学校か河和小学校かは確定しておりませんが、学校を使つての避難訓練が予定されております。

それから、全小・中学校をこの日、出校日にいたしまして、地域で協力できる、地域と共同で協力して避難訓練等行うよう、学校長等のほうにも相談をかけておりまして、一応、出校日にするということは決定しておりますので、よろしく願いいたします。

○7番（野田増男君）

どうもありがとうございます。

今、こういうふうに話を持っていかないと、学校が予定がつかないんじゃないかなと思って、ちょっと早目にもう、まだ町のほうは準備段階だと思うんですけれども質問させていただきました。

次に入ります。海岸、公衆便所についてです。

南奥田のかんぼにあった便所が老朽化のためになりました。これも今から、海水浴、潮干狩り、あろうかと思うんですけれども、美浜町としては、西海岸にある観光トイレは町の管理と漁業組合管理、僕もわかっています。町のほうも、どういう数で、どこがどうということ、町のほうも把握していますか。

○経済環境部長（久野元嗣君）

西側、今、議員が言われましたように、観光トイレ、西の地区におきましては10カ所ありまして、そのうちの9つが海岸にございます。今現在それとは別に、漁協のほうのトイレが、以前は一番多いときだと思いますが、9つございましたが、老朽化が来た中で、取り壊しをしましたので、かんぼのところを含めてですが、今現在は漁協のほうは4つかなというふうに理解しております。

以上です。

○7番（野田増男君）

やはり美浜町の観光のあり方を考えて、縦割りばかりのじゃなくて横断的に行政を進めていく中で、天野児童公園にあるトイレを拡充し、そこで代替のものをつくって、公園利用者、観光利用者、互いが利用し合うことのできる便所、トイレというのは考えていませんか。

○厚生部長（家田兵蔵君）

ただいま、天野児童公園のトイレを拡充して考えていませんかという御質問かと思えますけれども、私のほうに、先ほど答弁された中に、平成24年の10月に漁協さんにおいて撤去されたと、こういうお話がありました。その際に、私のほうにはお話はありませんでした。今、こういったお話の中で、今まで検討しておりませんでしたので、この公園、どのような事情があってトイレの要望があるのかどうかということも、今後調べてみないとわからない状況でございますので、今、厚生部、私のほうで、この天野児童遊園にトイレを設置するということは考えておりませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

○7番（野田増男君）

よくわかりました。

でも、現状において、簡易トイレ、今ないわけにはいけない、ないわけにはならない、つけるんだと、必要かと思えます。この簡易トイレをいつまでそういう2分の1補助で続けていくかがあると思うんです。前にかんぼもあるし、潮干狩りがある、そこで、ビーチランドのところにはあるんですよ。若松のほうにもあるんですよ。あの一帯がないんですよ。だから、その辺、公園内にトイレができれば、皆さん利用し、行けると思うんです、いろんなところで。そこら辺をもう一遍、いろいろ検討してみてください。

○経済環境部長（久野元嗣君）

本当に、美浜町、観光を大事にしておりますので、関係部局はもちろんのこと、漁業会だとかそれ以外の方たちとも話し合いをさせていただきまして、積極的に共有できるものは共有しながらやれるように頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○7番（野田増男君）

よろしくお願ひします。

僕の質問、これで終わりたいと思えます。どうもありがとうございました。

○議長（丸田博雅君）

以上をもって、野田増男君の質問を終わります。野田増男君は自席に戻ってください。

〔7番 野田増男君 降席〕

○議長（丸田博雅君）

次に、鈴木君は質問を準備し、一般質問席に入ってください。

6番 鈴木美代子君の質問を許可します。鈴木美代子君、質問してください。

〔6番 鈴木美代子君 登席〕

○6番（鈴木美代子君）

議長の許可がありましたので、あらかじめ議長に提出しました一般質問通告書に基づいて順次質問し、当局の明快なる答弁を求めるものであります。

第1点目は、美浜町子育て応援まちづくり宣言をしないかということであります。

子供の笑顔があふれ、子育てに喜びを実感できるよう、家庭、地域、学校、行政、みんなが手を携え、地域全

体で子育てを支える町を目指し、美浜町子育て応援まちづくり宣言を行ったらどうでしょうか。その一環として、以下5点について、子育て支援政策をお伺いします。

その1、美浜町の小・中学校からいじめを根絶するために、全子供を対象にいじめについてアンケートを実施しませんか。いじめを受けて1人で悩んでいる子供をなくすために、子供たちから真実の生の声を聞き取りませんか。

2番です。12月議会で通学路の危険性を指摘しましたが、改善の進捗状況をお伺いします。例えば、布土地域の織布屋さんの跡地を通学路としていますが、町道と町道が交差して舗装がないところもありますね。ここはなぜ舗装ができないのかお伺いします。また、河和南部地域でも、なぜこれ以上の改善ができないのでしょうか。

その3、学校給食費は子供1人1カ月約5,000円ぐらいします。学校の費用としては大きな出費です。子供が2人いたらとても大変です。憲法26条2項には義務教育の無償化をうたっており、町としても、少しでもそれに近づけるように努力すべきであります。学校や子供たちの教育について考える際は、同時にまちづくりの観点から考えることが必要で、特にまちづくりの中心を担う子育て世代を応援することこそ教育行政の役割だと考えますが、いかがでしょうか。学校給食費の補助について、町の見解をお伺いします。

その4、人口が減少傾向にある今、子育てしやすい町というイメージアップで、新たな人口増に力を入れるべきだと考えます。他のまちに負けないように、新たな子育て支援策を考えませんか。どういうものがあるでしょうか。ぜひ考えてください。

その5、各保育所では、さまざまないろんな保育に力を入れております。しかし、病児保育あるいは病後児保育を知多厚生病院と協力して実施する、その検討をすと言って、早くも何年かたちます。今、その見通しはあるのでしょうか。

第2点目、知多南部衛生組合が管理している火葬場についてお尋ねします。

1、昨年、議会で火葬場についてお聞きしたが、わからない点もありますので、再度お伺いいたします。火葬場から今も出る黒い煙です。真っ黒です。何が含まれているのでしょうか。調べる必要があり、組合に対して調査を要請すべきであります。そこで働いている方や周辺住民はいつもこの黒い煙を吸っており、定期的な健康診断が必要ではないでしょうか。

2、火葬場は重要な公共施設であります。町民から従業員に渡す寸志、謝礼は、このままでいいのでしょうか。最近、問題にしつつあって、壁に、謝礼はしませんというような、要りませんというような紙が張ってあるそうですけれども、きっちり全廃はされていません。これについて、町としてはどういう対応をするのか、基本的な考え方を伺います。

3、火葬場の建て直しについて、24年度の結論は、検討した結論はどうなったのか、検討し続けてきたのだと思いますが、その進捗状況をお聞きします。

以上で、壇上での質問を終わります。

○教育部長（山森 隆君）

鈴木美代子議員の御質問にお答えさせていただきます。

初めに、美浜町子育て応援まちづくり宣言をしないかについての御質問の1点目、いじめを根絶するために、全ての子供を対象にアンケートを実施しないかについてでございますが、いじめはどの児童・生徒にも起こり得るものであるという認識のもと、全校体制で予防と早期発見、早期対応に努めることが必要であると考えております。そのため、児童・生徒との触れ合いの中で心の動きを迅速に捉え、小さな変化も見逃さないように努めているところでございます。

町内の各小・中学校におきましては、いじめや不登校などの問題行動の早期発見の手がかりとして定期的に生活アンケート調査を行っており、その中にいじめについての内容も含まれており、議員の提案されますアンケートは以前より各小・中学校で実施し、特に本年度からその内容や実施回数も充実させております。この調査結果をもとに、それぞれの担任が教育相談活動を行い、児童・生徒の状況を的確に理解し、悩みや不安を解消できるよう、支援体制を整えております。

教育相談の結果、児童・生徒が重大な問題を抱えていると感じられた場合には、担任だけの対応でなく、全教職員が参加する、校内で組織するいじめ・不登校対策委員会において情報交換を行い、問題解決に向けた対応を協議しています。また、保護者の不安や悩みを相談することができる相談窓口として県から派遣されているスクールカウンセラーや町の教育相談員との相談活動も活用しながら、今後もいじめの根絶を目指してまいりたいと思っております。

2点目の12月議会で指摘した通学路改善の進捗状況についてはでございますが、通学路については従前より状況把握に努め、安全確保に努めております。

御指摘のあった布土地域につきましては、現状と公図が一致しておらず、隣接地主の所有する建造物等が複雑に入り組んでいるため、その整理に時間がかかっております。町道の補修や側溝の改修につきましては、費用の面で本年度中の対応ができませんでしたので、新年度に向けて早急な対策を土木課へ要望しております。また、個人所有の建造物等については、所有者に対応をお願いしてまいりたいと思っております。

河和南部地域のコンビニ横の国道につきましては、大型店舗の進出により交通量が増加している状況となっております。通学路としてでなく地域住民全体の交通安全対策として緊急に対応が必要なことは十分認識しており、信号機設置について、粘り強く関係機関へ要望を続けております。信号機の設置には、警察を通じて県公安委員会に認めてもらう必要がありますが、この信号設置を含め、その他の危険箇所の改善に対し、事あるごとに町長が関係職員とともに、国土交通省、地元選出国會議員、県會議員、愛知県本庁、知多建設事務所などへ要望書を持参しております。町内の危険箇所に対する安全対策整備の実施を着実に進められるよう常に要望しておりますので、御理解いただきたいと存じます。

3点目の学校給食費の補助について見解を伺うについてでございますが、教育基本法の第5条第4項において「義務教育については、授業料を徴収しない。」としており、その他の教材費については保護者負担が基本となっております。給食費についても同様の考えで、基本は保護者負担でございます。また、学校給食法第11条の経費負担においては、学校給食に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費は設置者の負担とする、学校給食費は学校給食を受ける児童または生徒の保護者の負担とするとなっております。

給食費につきましては現在、小学生が1食につき230円で年間約4万4,000円、中学生は1食につき260円、年間で5万円の負担をお願いしております。なお、この給食費全体を給食材料の賄い材料費に充てることにより、栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供しているのが現状でございます。

したがって、材料費以外の運営に必要な経費につきましては全て町で負担しているのが現状で、運営費全体予算で約2億円のうち、半分の1億円が町費負担となっております。なお、経済的な理由で就学困難に準ずる児童・生徒のいる家庭、つまり準要保護家庭においては給食費を全額町費で負担しており、平成23年度実績で児童・生徒130人に計548万円を扶助しているところでございます。

また、本町の1食の給食費の額は愛知県内の平均給食費とほぼ同額であり、知多管内の5市4町も同額の給食費であり、本町としましては、給食費の補助に関しましては現在のところ考えておりませんので、御理解いただきますよう、よろしく願いいたします。

○厚生部長（家田兵蔵君）

続きまして、4点目の子育てしやすい町というイメージアップで新たな子育て政策を考えないか、どのようなものがあるかについてでございますが、現在、美浜町では、次世代育成行動計画の後期計画、平成22年度から平成26年度までの5カ年計画に基づき、事業を進めております。

計画の施策目標は7点ございます。

1点目は、地域における子育ての充実でございます。主に保育所で行う事業で、通常保育のほか、延長保育、乳児保育など、充実に努めてまいりました。

2点目は、母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進でございます。これにつきましては、主に保健センターで行っております健診や保健指導の充実、育児相談などでございます。

3点目は、子供の心身の健やかな成長に資する教育環境の整備でございます。これにつきましては、学校教育、家庭教育の充実などでございます。

4点目につきましては、子育てを支援する生活環境の整備でございます。これは、良好な宅地供給、公園整備、交通安全施設整備の充実などでございます。

5点目は、職業生活と家庭生活との両立の推進等でございます。これは、多様な保育事業を展開し、出産後も女性が正規雇用者として働き続けることができる環境づくりでございます。

6点目は、子供の安全の確保でございます。これは、交通安全、防犯体制の充実ということでございます。

7点目につきましては、要保護児童への対応など、きめ細かな取り組みの推進でございます。これは、児童の虐待防止、障害児施策の充実などでございます。

以上、7分野について進めてまいりました。

この計画期間の後につきましては、子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て会議を開催していく中で協議していくべきものと思っております。

次に、5点目の病児保育、病後児保育の実施とその見通しについてでございますが、現在、病児・病後児保育を行っている知多地域の市町は、常滑市と東浦町でございます。いずれも民間の医療機関に委託をする形で実施をしております。定員に満たない場合は、市外、町外の児童も利用することが可能でございます。

美浜町の現状といたしましては、常滑市が委託しておりますタキタキッズプラザを利用するケースがあるとお聞きしております。町内の医療機関に委託するかどうかにつきましては、病院として病児・病後児保育を実施することが可能かどうか調査するとともに、町として需要があるかどうかで判断していきたいと思っております。

○経済環境部長（久野元嗣君）

次に、知多南部衛生組合が管理している火葬場についての御質問のうち、1点目の、火葬場から出る黒い煙について、何が含まれているのか調査を要請し、働いている方や周辺住民に定期的に健康診断が必要ではと、2点目の、町民から従業員に渡す寸志、謝礼はこのままでいいのか、禁止ではないのかと指摘されることがあるが、町として基本的な考えはについてでございますが、組合事業の関係につきましては知多南部衛生組合議会で対応させていただいております。今回の御質問と同様の質問が知多南部衛生組合の12月議会にございましたので、その議事録を朗読させていただきます。

最初に、ばい煙関係でばい煙の濃度測定とその基準はについての御質問がございました。

その答弁は「当組合火葬場では燃料としてA重油を使用しております。近年、ひつぎの中にプラスチック製の副葬品がかなり混入しており、そのために、点火後10分程度は黒煙が発生し、煙突から排出されております。その後、かなり黒煙は見えなくなっていくます。なお、ばい煙濃度等の測定については、建設当時の昭和36年にお

きまして、建設に際し、ばい煙等各種排出規制がございませんでした。以後、現施設を使用しておりますが、大気汚染防止法など国の火葬場に関するばい煙等の定期測定及び測定結果における規制値は示されていないものと理解しております。」とお答えしております。

そして、再質問では検査の必要性についての御質問があり、その回答は「ばい煙等火葬場から排出される各種排出等規制の件でございますが、私どもの火葬場におきましては現在、特に法の定まった基準値はないものと確認しております。ただ、平成12年当時、これは国のほうでございますが、火葬場から排出されるダイオキシン類等の削減対策指針というものが示されております。この中で、既設の火葬場につきましては、どうしても設置されておりますので、ばい煙対策に要します除じん装置、バグフィルター、集じん機等でございますが、こうしたものが設置できない施設も多々あるかと思っておりますので、そうしたことを鑑みて、なるべく火葬場業務執行につきましては、ばい煙の出ないような運転管理をしてくださという指針が示されております。これは、平成12年当時のことでございます。なお、この指針の中でございますが、当然、ばいじん、硫黄酸化物につきましても、留意事項として記載されております。やはり、ダイオキシン類同様、定期的に測定並びに測定結果を記録するというものが望ましいとされておりますので、次年度以降、こうしたことをあるいは県の条例と鑑みて、極力測定検査等を検討させていただきたいと考えております。」と答えております。

さらに再質問でばい煙等を測定するののかという質問では、「ばい煙、排ガス測定の問題ですが、組合として測定するという方向で努力はさせていただくということをお願いしたいと思います。」と答弁しております。

2点目に移りますが、最初に、寸志とか受け取っているのか、実態は、この質問があり、その答弁は、「利用者からの謝礼、寸志の件でございますが、当然火葬場は公共施設でございますので、契約書にも記載させていただいておりますが、委託職員の遵守事項としまして、業務に関連し、使用者から金品の收受や強要をしないこととしております。このため、使用者から火葬業務に関連する謝礼、寸志についての收受や強要はしていないものと理解しております。」と答え、再質問では寸志に関する表示と業者への指導について御質問があり、その答弁は、「ここで契約書にありますように、受託業者につきましては受け取らないようお願いしてあります。それから、火葬場につきましては、以前表示もしてございました。現在は多分飛んでしまっていないと思っておりますので、早急に受け取らないという意志表示をさせていただきたいというふうに考えております。そのようなことにつきましても、さらに業者にそういうふうなことがないように指導させていただきます。」と答弁しております。

以上のとおり、知多南部衛生組合議会の議事録を御報告させていただきました。

3点目の火葬場の建て直しについて、24年度の結論はどうなったか、その進捗状況についてでございますが、平成24年度は、両町の副町長を初め、建設検討委員会を8回開催し、視察では、常滑市、愛西市、飛島村の火葬場におきまして視察研修を行いました。

検討委員会では、各町から出た候補地を2カ所に絞り、既存施設と合わせて3カ所を比較検討していくことを決定いたしました。なお、夏から秋にはコンサルタントに委託して適地診断をする予定でございましたが、候補地の選定に伴う保安林など関係法令の調査、高齢人口の把握や炉数の検討などに時間を要したため、コンサルタントへの委託は本年度3月初旬にずれ込み、本格的な比較検討は平成25年度となります。

なお、組合としましては、地元合意や環境影響評価などを経て、平成32年4月稼働を目指しておりますことを確認しておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（丸田博雅君）

鈴木君、再質問はありますか。

○6番（鈴木美代子君）

順次再質問させていただきます。

私は、この美浜町がこれから生きていく道は、美浜町子育て応援まちづくり宣言をして、美浜町という町は本当に子育てしやすい環境が豊かでとってもいい町だというイメージアップをこれから町長さんを先頭にぜひしていただきたいと思っています。少しずつ子育て支援の施策も充実してまいりましたけれども、でも、まだまだ他の町よりすぐれているよというところまでは行きません。

1点ずつ質問してまいりますけれども、例えば1の1です。いじめを根絶するために、私は子供たちみんなに本当のところを聞きたい。いじめがないという、そういう結果であればそれで本当に嬉しいことだけれども、何となく子供たちに聞いてみると、まだまだあるような感じでもあるんですね。いろんな学校がやるんじゃないかと、子供たちにさらに紙で、本当に今、いじめはないですかと、内容はいろいろあるでしょうけれども、マスコミや何かだと、子供たちにアンケートをとったら割合に真実の声が返ってきている、それを聞きますので、そういったアンケートが必要じゃないかと思うんですけれどもいかがですか。

○教育部長（山森 隆君）

議員のおっしゃられるのは作文的なという意味だと思いますが、小学生ですと、1年生から6年生まで、非常に幅広い年齢層でございまして、各学校で今やっているアンケートにつきましても、学年に応じまして、いろいろ知恵を絞ってやっております。その中で、低学年はマル・バツ方式みたいな形、高学年は筆記式と。それから、あと、中学校におきましても、先ほど申し上げましたように、内容を充実して回数もふやしております。特に野間中学校におきましては9月から毎月のようにアンケートを実施しており、きめ細かな情報収集に努めておりますので、よろしく願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

私は教育者じゃありませんので、そういったプロの先生方が練って練ってこれだというアンケートをやっていたと、それは本当に保護者にとってはありがたい話だと思いますが、ぜひそういう点で、子供たちの声がしっかり受けとめられるようなアンケートにしていきたいと。するつと抜けていっちゃうような、さっきもありましたけど、一面では作画的な、何か全部丸つと返ってくるような、そういったアンケートじゃなくて、本当に子供たちの生の声そのまま受け取れるような、ぜひアンケートを考えていただきたいと思います。

次に、通学路の問題で、2番になりますが、布土の織布屋さんの土地を、どうしても個人の土地を通学路にしていたり、ありますよね。あれは、全部私的な道路ですかね。私有地ですかね。織布屋さんの土地なんかは。

そのところをずっと行くと、私、きのうも見てきたんですけれども、舗装がやれていない、途中で切れてしまいますよね。国道からずーっと入ってくる町道と、それから、織布屋さんの道をずーっと行った町道と、途中で切れてしまいますよね、私道があるんだという話なんですけれども、周りの人は、私的な私有地が。そこ、やっぱり、ちょっと坂になっているから、そこはきちんとコンクリート舗装をして、雨が降っても泥でずれてこけて汚れないように、そういったことをきちんと細やかな対応をすべきだと思うんですけれども、ぜひ現地へ行ったら私もお話したいんですけれども、本当にそこは町道としてきちんとできないかなと思います。

それから、もう一点は、元役場職員のうちの近くが、今はかれていますけれども、雨が降る梅雨どきや何かだと沼地になってしまうんですよね。あそこは確かに舗装していただきましたけれども、あそこは、その沼地へ落ちた子がいるものですから、子供が、雨が降ると滑りますし、あの沼地の隅はパイプガードをすべきだと思うんですよ、ガードレールというふうじゃなくてパイプガードでこういう子供たちが乗り越えて落ちていかんように。ぜひそれは現地で、布土の方だということだから、地元だから知っていると思うんですけれども、現地で説明するといいいんですけれども、その辺の細やかな対応はできますか。

○教育部長（山森 隆君）

まず、ちょっとお断りしたいのは、教育委員会として工事ができるわけじゃございませんので、対応を土木と協議して、特に区長さんを交えて今後の対応を考えていておりますし、現場も、私も再度見ました。確かに継ぎはぎだらけなのでこぼこ道で、滑る可能性もあると思います。土木のほうにも対応のほう、お願いしておりますし、土木のほうも25年度でいろいろ考えていきたいと回答していただいておりますので、また、鈴木議員、もし一緒に現場へ行っていただけるならいつでも同行しますので、よろしく願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

河和南部地域のコンビニがあるところの交差点ですけれども、まずはあそこの、本当に信号が設置されるというのと、子供たちを守るために願っていますが、まず、その前の前段階として、コンビニさんとしっかり町のほうでお話ができ、美浜町のコンビニを見てもそういうふうになっているところがあるんですけど、赤いコーンじゃなくて、紅白のコーンじゃなくて、コンクリートのくいがありますよね、くいというのか、これも設置していくのかもしれませんが、重いやつで動かないやつ、コンビニの入り口なんかでここからここまではそのくいがあって、ここからここまで出入りができますよというふうになっていると思うんですけども、そういうことがまずできれば、あそこのコンビニから斜めから入ってきて、斜めからすつと町道のほうに入るとか、そういう不規則な車の動きはなくなると思うんですけども、いかがですか、その辺は。話し合いはできませんかね、オーナーさんたちと。

○教育部長（山森 隆君）

これはちょっと管轄が違うと思いますが、私としては、当然議員から言われた要望は関係部署にはお伝えしますけど、ここにも関係部署、おりますけど、その辺は、僕もポストコーンとかいうやつかなと思うんですけど……。

○6番（鈴木美代子君）

コーンみたいに軽なくて、動かないやつ。

○教育部長（山森 隆君）

ちょっと技術的にはよくわからないものですから済みません。また関係部署とよく相談して、オーナーももし取り込めるならそういうふうに進めたいと思っております。

○6番（鈴木美代子君）

よそのまちじゃなくて、西海岸のビーチランドへ入り口のあそこの新しくできたコンビニにも置いてあると思うんですけど、コーンでなくて、紅白のぼんぐいと言ったらおかしいか、何かコンクリートでできたかたいものなんですけど、それでコンビニの入り口を少し制限させてもらおうと、そうすると、車の不規則な動きがなくなる。まず、そうすると、子供たちもびっくりして、ぎょんと変な行動をとらなくなると思うんです。ぜひそのことも一度学校の先生とかを交えてもう一度話し合っ、子供たちにとって一番安全な施策をぜひ取り上げていただきたいと思いますが。

○教育部長（山森 隆君）

最後に議員がおっしゃられたとおり、教育委員会としましてはそういった学校の先生を交えて交通安全教育を推進していくのがメインだと思っております。また、子供たちが不規則な行動をとらないよう、特に古布のコンビニのあたりは交通指導員さんが重点的に子供たちと一緒に歩いていただいております。そういった面でも、ソフト面の交通安全教育のほうにも力を入れてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

もちろん本当に、ソフト面の交通安全対策、子供たちに安全のためにいろんなことを教えていかなくちゃならない、教育も大事だと思います。それもぜひやっていただきたいし、交通指導員さんがずーっとおるわけじゃないものですから、学校から帰ってきてから外へ遊びに行ったり、いろんなところで危ない目に遭うこともあるものですから、その辺ではいろいろ子供たちのために、学校の先生とそこのオーナーと話し合っ、車がどこからでも入れる状態ですもんで、今の古布のコンビニは、その車の出入りを制限するような政策をとっていただきたいなと、ぜひ要望しておきます。

それから、学校給食についてであります。

学校給食は、憲法26条第2項で教育の機会均等と義務教育の無償化をうたっています。憲法でうたっています。確かに教育基本法だとかいろいろありますけれども、まずは憲法で教育の無償化をうたっているんです。今、私ももう子供が大きくなりましたが、私のときでも3人子供がおっ、3人分の教育費は大変です。今、子供が1人か2人しか、子供の経費がかかり過ぎるものだからなかなか産めませんが、でも、2人おっ、同じ学校にいと、小学校で2人いると1万円近いお金が出ていくんですね、給食費で。本当に大変なんです。

そういう教育基本法だとかいろんなところに制限があるものですから、じゃ、やっぱり給食費は親が当然払うんだという認識があるかもしれませんが、実は全国で12.4%、122の自治体で、給食費の無償化、あるいは半額化、あるいは補助をしているんです。意外と多くて私も驚いているんですけれども、やはり子育てしやすい町というのは、そういう心配ができるだけないようにしたいですね。だから、全額とは言いませんが、まずは、やっぱり小さな町でできるのは、幾らかの補助からかなと思うんです。

一方で、やっぱり義務教育、国庫負担割合が2分の1から3分の1に減らされているんですね。ぜひこれを2分の1に復元するように、町からも国のほうに声を大にして主張してほしいんですが、いかがですか。

○教育部長（山森 隆君）

国のほうへの働きかけにつきましては、またいろいろと機会あるごとにやっていきたいと思っております。また、いろんな面で情報収集等もしておきたいと思っております。また、鈴木議員におきましても情報がありましたらお知らせしていただきたいと思っております。

○6番（鈴木美代子君）

あと何分あるんですか。

○議長（丸田博雅君）

10分とちょっとあります。

○6番（鈴木美代子君）

10分と少しですね。

子育て支援策です。部長さん、いろいろ言っていただきました。私も探しました、いろんなところでそういう本を読んで。まず、私が今要求しているのは病児・病後児保育ですね。ファミリーサポートもしていますね。ほかにも、一時保育、産後ヘルプ事業、休日保育事業、出産祝い金、それから子育て支援ヘルパー、あるんですね、やっぱり。お金の要らんものもあるし、例えば子育てヘルパーとか、それから休日保育事業だとか、お金の要らないのもあるんですが、産後ヘルプ事業も、これなんかボランティアを募集して、そういう経験者の方をお願いできるかなとも思うんですけれども、私もお産を経験しているからできるかなと思っているんですけれども、こういう細やかな子育て支援施策が、やはりお母さん方がありがたいなと思う、そして、それがやっぱり次のボランティアにつながると思うんですけど、いかがですか。

○厚生部長（家田兵蔵君）

次の子育てにということで、今、たくさんのメニューをいただきましたけれども、議員御承知のように、私どもも保育に限って言わせていただきますと、乳児保育から、早朝、延長、いろんな取り組みをほとんどの園で実施してきております。また、この新年度、25年度におきましても、議案説明会の中でも町長報告の中でもありましたように、厚生部、特にいろんな子育てにつながる施策をやらせていただこうと思っております。これも、議員さん方からの御提案によってやっここまで来たのかなというふうに思っております。

今、議員、言われましたように、私も書き切れなかったんですけども、一時とか産後とか休日、休日につきましては電力の関係で、一昨年ですか、ちょっとやらせていただいたこともあるんですけども、子育て支援ヘルパーですか、そういったボランティアを活用した中で御提案いただきました。また、これが美浜町にとってどういった面で生かしていけるのかも含めて検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

5番の病児保育、病後児保育ですけども、これについても、私は以前に、知多厚生病院に2,580万でしたか、2,850万でしたか、たくさんのお金を補助するときに質問したことがあるんですね。病院側の要望を聞くから、美浜町としてぜひこういう病児保育なんかをやってほしいという要望があるんですよと言ったら、たしかそのときだと思うんですけども、スペースもありますので、用意してありますのでできますよという、そういった声があったと思うんですよ。ぜひ、病児保育、病後児保育、病後児保育のほうができると思うんですけど、病気が治って他の子供に感染しないという、そういった子供の保育だと思うんですけども、ぜひ考えてやっていただきたいと思えます。

最後になります。私、いつも火葬場の近くへ行くと、きょうは何もないとか、きょうも真っ黒な煙がもくもく出ているとか、いつもそうやって見るんです。あの煙が人体に影響がないはずがない、真っ黒ですもの。それで、例えば、今の火葬場は、お聞きするんですけども、重油を燃やして硫黄が出ると思うんですけども、脱硫装置という、硫黄を脱、抜く装置はついているんですか。

○環境保全課長（齋藤 博君）

先ほど答弁させていただきましたように施設自体30年代の建物でして、本当に簡単なものしかついていないと思っております。

○6番（鈴木美代子君）

私たち議員は衛生組合議会には行かれませんので、ここで組合議会のほうに要請してほしいというお願いしかできません。だから、ぜひこういった声があったということを組合議会のほうにお願いしてほしいとしかできないんですが、例えば、今、低硫黄の重油もあるということですけども、L S A重油とって、今、答弁の中で言われたのがそうですか。

○環境保全課長（齋藤 博君）

今、A重油を使っております。ちょっと以前になりますが、灯油を使ってみてはどうかというようなこともいろいろ検討をいたしました。そうしますと、施設の改善から炉のバーナーの関係だとか、いろいろな問題が発生してきました。また、黒煙も除去する装置が何とかできないかとか、いろいろ検討をしましたところ、いろんなそういう対策をやりますと8,000万ほどかかるというような数字が出まして、1炉1億、建物を含めて1炉1億を見ておけば大体建設費が上がるという見当をしておりますので、ここでちょっと8,000万かけちゃうのは大変だなということで、皆さんに迷惑をかけておりますが、なるべく早期に新しい施設を建てるということで、その辺のことは何とか解決に向けて、それで対応して、代替といいますか、対応していただきたいなと思っております。

○6番（鈴木美代子君）

重油のかわりに灯油を使ったということですが、ガスも使ったことはありますか。ガスも書いてあるんですけど、どうかと。

○環境保全課長（齋藤 博君）

ガスは多分、使ったことはないと思います。もうずっと重油だと思います。

○議長（丸田博雅君）

鈴木君。残り2分か3分程度です。

○6番（鈴木美代子君）

わかりました。

やはり重油は燃やせば硫黄が出るし、害が多いですけども、これから新しく施設を変えるということでも、ぜひその辺は、新しい施設では、脱硫装置というんですか、硫黄を抜く装置、そういうのもしっかりしてやっていただきたいと思うんです。ただ、今の状態は、今も煙の中にいるものですから、だから、今の状態で何とか改善できる方法はないですかね。

○経済環境部長（久野元嗣君）

今、議員、言われましたように、我々も黒煙が出ていることはもちろん、しょっちゅう通っておりますし、把握しております。今、委託料、とらせていただいたように、もう本当に切りかえを真剣に考えておりますので、ここの段階で約1億近くのお金を使うのがいいのか、だけど我慢すればいいよというわけではございませんが、参考に、いろんな個人の民家等もありますので、ちょっと参考ですが、一番近い市街化区域内で約600メートルから700メートルぐらいが火葬場との直線距離であることも承知しておりますので、何とか早く適正な対応をしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

最後になりました。火葬場で働く従業員さん、本当に大変だと思います。でも、やっぱり、チップとか寸志とか謝礼は受け取っちゃいけないと思うんです。受け取らないように多分上のほうで指導しているかもしれませんが、大変な仕事をしてもらっているのだからということで私たちの上の年齢の方は善意で差し上げている場合もあるんですけども、それが慣習になってしまった。だから、ぜひ、そうやって謝礼だとかチップだとか、そういうことをやめるように心から私はお願いして、質問を終わります。

○経済環境部長（久野元嗣君）

今の寸志の件につきましては、きちんとお伺いしましたので、衛生組合のほうにもきちんと伝えさせていただきますので、お願いします。

○議長（丸田博雅君）

以上をもって、鈴木美代子君の質問を終わります。鈴木君は自席に戻ってください。

〔6番 鈴木美代子君 降席〕

○議長（丸田博雅君）

あと1名ですが、午後大変疲れておるといいますので、20分程度休憩をとります。再開を2時45分からといたしたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

以上です。

〔午後2時25分 休憩〕

〔午後2時45分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

中川博夫君は質問をする準備をしてください。

2番 中川博夫君の質問を許可します。中川博夫君、質問してください。

〔2番 中川博夫君 登席〕

○2番（中川博夫君）

最後となりましたんですけど、一応時間のほう、短縮をさせていただきたいと思いますが、御協力をよろしくお願いいたします。

議長の許可をいただきましたものですから、通告書の5問、一応順次追って質問をさせていただきます。町当局の明快な答弁をよろしくお願い申し上げます。

1番、護岸のかさ上げについて。

国道247号、河和から布土、護岸が低いと、国・県に対してかさ上げ等防災に対する要望を今までしているのかどうか、また、計画はあるのかどうか。

2番、布土川にふたをし、道路の拡幅をしては。

国道247号、布土川を効率的に活用し、ふたをし、道路の拡幅をする計画は町にあるのか。

3番、国道247号の拡幅と歩道の設置について。

国道247号、野間崎灯台から富具崎川まで、道路の拡幅、歩道設置の予定はあるのかどうか。

4番、教育長人事について。

町の教育長は学校長経験がほとんどですが、町も今までどおりにするのかどうか。

5番、日本福祉大生が下宿先を退去するときに出る不要物、片づけに対する援助について。

日本福祉大生が下宿先を退去するときに出る不要物は、下宿大家が後片づけをしているのが現状です。費用が大変と聞いていますが、援助をしてはどうか。

以上、5点を御質問いたします。よろしくお願いいたします。

○建設部長（片岡 勝君）

中川博夫議員の御質問にお答えさせていただきます。

まず、初めに、護岸のかさ上げについての御質問でございますが、さきの9月定例会にてもほかの議員さんより御質問いただき、御答弁のほうをさせていただきましたが、現在の海岸堤防は伊勢湾台風の復旧時につくられたもので、50年余りが経過した護岸施設で、コンクリートの剝離、損傷の老朽化による機能低下が懸念されていることから、各区の区長さん並びに多く地元議員さんからも早期改修の要望をいただいております。

町といたしましては昨年7月に、管理者の県に対し、知多湾、伊勢湾の両海岸堤防について、津波、高潮や波浪に対する海岸補強改修の早期整備の実施を要望したところでございます。県からは、布土川から北側の衣浦港務所が管理します海岸堤防については、平成7年度及び平成20年度に海岸耐震化調査業務を実施していただいております。本年度2月には、海岸堤防上において、ボーリングの地質調査を行っております。また、布土川以南につきましては、平成19年度に調査を実施し、本年度9月には海岸堤防等機能点検等を実施中であるとお聞きしております。なお、改修整備時期は現在は未定ではございますが、その調査結果等に基づき堤防高の整備計画が立てられるとお聞きしておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、布土川にふたをし、道路の拡幅をしてはとの御質問でございますが、2級河川布土川は、洪水時における流下能力に対して断面が不足している上、布土川防潮樋門から木部橋までの護岸は石積みの老朽化も進んでい

ることから、現状の河川にふたをして道路利用するという事は、浸水被害のおそれや強度不足が十分に考えられます。

本河川につきましては、布土保育所の上流約230メートルの右岸につきまして、修繕計画に基づいた維持修繕工事を本年度から進めていただき、下流の石積み崩壊箇所につきましては、緊急維持工事にて対応をしていただいております。この未改修区間につきましては、地元からも要望をいただき、毎年早期改修に向けての整備を県に要望いたしております。県からは、県道上野間布土線の道路整備計画とあわせての一体で考えていくとの回答をいただいております。今後も早期に着手していただくよう、鋭意要望してまいりますので、よろしくお願いいたします。

次に、国道247号の拡幅と歩道設置についての御質問でございますが、西部地区の国道247号は野間中学校の自転車通学路に指定されております。幅員が狭く、朝夕の交通量の多い路線でございます。交通事故が危惧されております。このようなことから、地元区や多くの議員さんの方から歩道設置の要望を町にいただいております。町は、管理者である県に対して、通学路の安全確保を図るための歩道設置を以前より要望しております。昨年7月にも、上野間から小野浦までの約7キロメートルの路線区間について、歩道設置整備を要望したところでございます。御指摘の野間崎灯台から富具崎川までの区間につきましても、当然ながら要望箇所に含んでおりますので、御理解いただきますようお願いいたします。

県からは、厳しい財政状況のため、当面の暫定措置の整備といたしまして、路肩部における側溝の改修及びグリーンベルト指導線設置を優先したいと、このようにお聞きしておりますが、通学路の安全確保のためには歩道設置整備が必要であることは十分認識しておりますので、今後もさらに強く要望してまいります。

中川議員におかれましても御理解、御支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

○教育部長（山森 隆君）

次に、教育長人事についての御質問でございますが、美浜町の教育委員の定数は5名で、議会の同意を得て町長が任命いたします。委員の資格は当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者と規定されており、25歳以上の日本国民であることが要件で、委員の構成について、年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じない配慮をすることが規定されております。

教育委員会の権限に属する事務を処理するために、教育委員会に教育長と事務局が置かれ、教育長は教育委員の互選により教育委員会で任命され、教育行政の執行責任者として全ての事務をつかさどることとなっております。

このように、教育委員会制度は、一般人である非常勤の委員で構成される教育委員の合議により教育に関する基本方針を決定していくもので、教育長を任命する際にも教育委員会の会議で主体的に決められるものでありますので、よろしくお願いいたします。

○経済環境部長（久野元嗣君）

次に、日本福祉大生が下宿を退去するときに出る不要物片づけに対する援助についての御質問でございますが、福祉大学の多くは奥田地区に下宿されております。奥田地区では2月中旬から4月上旬にかけて、毎年大量のごみが集積所に排出されております。一部の学生であるとは思いますが、ごみ出しマナーの悪い集積所が目立ち、この時期には、地元区長さんを初め、環境美化推進員、分別指導員の皆様には大変お手数をおかけしておりますことを、この場をおかりしてお礼申し上げます。

学生の間では組織的に、テレビや冷蔵庫など、再利用をする場を設けているとお聞きしております。しかし、奥田地内の集積所には、家庭用品など、大量のごみが短期に排出されております。町といたしましては、決めら

れたルールに従ってごみ出しをしていただければ、量には問題なく収集処理されると確信いたしております。

さて、廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、法第2条の3に、国民の責務として、「国民は、廃棄物の排出を抑制し、再生品の使用等により廃棄物の再生利用を図り、廃棄物を分別して排出し、その生じた廃棄物をなるべく自ら処分すること等により、廃棄物の減量その他その適正な処理に関し国及び地方公共団体の施策に協力しなければならない。」となっております。

この法律を受け、本町でも条例で、同様の内容で、排出抑制、再利用、再資源、いわゆる3Rに努め、町が定めたルールに従って、なるべくみずからごみを適正に処理しなければならないとなっております。

こうしたことから、学生みずから町のルールに従い、ごみを排出していただければ、下宿先の大家さんはもとより、地元区長さん等にもお手数をおかけすることなく、適正に廃棄物の処理ができると考えております。

したがいまして、大家さんに対する片づけ費用の援助は考えておりませんので、よろしく願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

中川君、再質問はありますか。

○2番（中川博夫君）

じゃ、1番目の護岸のかさ上げについてですけど、これは住民から要望も来ておるわけ……。

○議長（丸田博雅君）

中川君、起立してください。

○2番（中川博夫君）

済みませんでした。

これは、かさ上げについてですけど、住民からも要望は、かさ上げをもっと早くしたほうがよろしいじゃないかという、そういった要望は来ていないでしょうか、住民からですね。

○建設部長（片岡 勝君）

今、中川さんが言われますように、各区長さんを初め、各議員さん並びに各関係者、そういった意味での要望は以前から伺っております。

○2番（中川博夫君）

住民から前々から来ているということなんですけど、事故が起きてからでは遅いものですから、早急に県とも御相談しながら、南知多、内海から豊浜、師崎方面、一部かさ上げ等をしておるわけなんですけど、こちら美浜のほうも早くやっていただけたらと思いますんですけど、お答え、よろしくお願い申し上げます。

○議長（丸田博雅君）

答弁できますか。

○建設部長（片岡 勝君）

おっしゃられますように、今後鋭意努力してまいりますので、その対応で町も頑張っておりますので、よろしく願いいたします。

○2番（中川博夫君）

2番目の布土川にふたをし、これ、ふた、ちょっと言葉が悪いんですけど、ちょうど先ほど部長のほうから言われました、布土が地盤が弱いと。そういったふうで、この川の地盤を直して、今、布土の信号がありますよね。あそこの道幅が左折するときも、武豊方面に向かっていくときも、古いものですから、あそこが狭いものですから、それを通して名鉄線をくぐって布土保育園のほうへ向かうと。上流のほうですね。その辺を、名鉄線が手前を走っておりますけど、その名鉄線をふたをするかわりに、布土川の修理も必要なんでしょうけど、名鉄と話し

合いの上で、上下、高架の道路をつくりまして、そういった案は今までにあったのかどうか、その辺をちょっとお伺い申し上げたいと思うんですけどね。

○建設部長（片岡 勝君）

そうした道路側高架横断ということでは、私のほうは聞いておりません。

○2番（中川博夫君）

だから、布土川の地盤、川、それが上流から下流のほうへ水が流れ出るわけなんですけど、下流へ行くほど川幅が狭いと思うんですよ。それを海まで流すまでの間を、それは修理するのが大変だと思いますんですけど、あそこのところも、やっぱり左折、右折するにしましても、道路幅が狭いものですから、あの辺を拡張を、布土保育園のほうに向けての拡張をするという計画は今後もあるのですか。その点をちょっとお伺い申し上げます。

○建設部長（片岡 勝君）

今言われます計画につきましては、過去といたしますか、平成20年ごろだったですか、計画が地元より上がりまして、約70メートル区間、ガード下から布土保育園に向かう突き当たりの道路まで、地権者3名が用地買収の該当ということで、うちも路線計画を立てまして進めさせていただいておったわけでございますが、地権者の御了解が得られなかったということで、現在のところ休止しておる状態でございます。

○議長（丸田博雅君）

再質問はありますか。

○2番（中川博夫君）

それから、3番目の国道247号の拡幅と歩道設置についてですけど、この件は前回にもちょっとかかわりがあったと思うんですけど、一般質問させていただきましたんですけど、道路が、野間灯台から富具崎川までが子供の通学路に関しましては一番危ないところなんですよね。あと、道路の拡幅は2メートルぐらい、県とも相談しながら、一応拡張するという計画はあるのかないのか、道路を拡張するには用地の買収が必要かと思うんですけど、それと併用して歩道の設置が大変重要かと思えますんですけど、その辺の計画はあるのかないのか、ちょっとお尋ね申し上げます。

○建設部長（片岡 勝君）

先ほども答弁させていただきましたんですけど、県に対しては歩道設置が必要であるというような形から、昨年の7月でございますが、国道247についての歩道設置、これ、先ほども言いましたんですけど、当然あその区間も要望区間に入っておりますので、そういった形で要望整備をお願いしておるのが現状でございます。

○2番（中川博夫君）

ありがとうございました。早急な対応をよろしくお願い申し上げます。

それと、4番目に教育長人事についてのことで御質問させていただきましたんですけど、任期は、これは通常何年ごとで教育長さんがかわられるのか、またそのまま続行するのか、その辺をよろしく願いいたします。

○教育部長（山森 隆君）

教育長の任期は4年でございます。継続するかどうかはそのときの教育委員会で判断していただくことになってますのでお願いいたします。

○2番（中川博夫君）

教育長さんも学校長さんの上がりの方が多いと思えますんですけど、ある面では民間の方でもよいじゃないかという御意見が、私のほうも世間を回っておりますと聞こえるものですからこういった質問にさせていただきましたんですけど、教育長さんを民間にした場合、それと、あと、教育委員会のほうにも学校長経験のある方をや

っていただいたほうが、ある面ではスムーズに行くんじゃないかなと思いますんですが、その辺の見解をよろしくお願いいたします。

○教育部長（山森 隆君）

学校の先生たちを教育委員会のメンバーに入れたほうがスムーズに行くんじゃないかという御質問だと思いますが、教育委員会としましては、法的にはあくまでも一般人をメインに職業に偏りが無いようにという判断でございます。ですので、教員の方を入れちゃいけないということはありませんし、いいんですが、ただ、専門的な立場じゃなくて、いわゆる素人的な考えと言うとちょっと語弊があると思いますが、多角的な面で教育に携わっていただきたいということで教育委員さんの選任のほうが行われていると思っておりますので、偏った職業で構成されることはだめだという、これは法律に載っておりますので、バランスのとれた職業の方を選んでいかれるのが一番いいかと思います。

ただ、私は事務局の人間ですので、その辺についてとやかく口出しをできる立場ではございませんので、よろしくお願いいたします。

○2番（中川博夫君）

細かい難しい点もあるかと思いますが、一応任命が町長さんということで、その辺、またよろしく御検討をさせていただきながらまた検討していただければよろしいんじゃないかと思います。よろしくお願いいたします。

じゃ、最後になりましたけど、日本福祉大生が下宿先の不要物が出るということで質問させていただきましたんですけど、下宿屋さんも一応町に対しては、納税に対しては本当に今まで、日福大が来てから納税をちゃんとしている。そういった中で協力をお願いできないかということで、ひとつ下宿先から出る不要物を再利用の原点から考えまして、一応町の総合公園とか、そういった一角で設けて、再利用をしていただくように皆さんに広報で呼びかけて、欲しい方もあるかと思いますが、そういった場を設けてはどうでしょうか。その辺をちょっとお尋ね申し上げます。

○経済環境部長（久野元嗣君）

その件につきましては、答弁の中で答えさせていただきましたが、学生間の中で、バイクだとか冷蔵庫だとか、いろんなものをお互いに、先輩が後輩に譲ったり、同じ学生下宿の中で退寮していく方たちの同僚の中で譲り合ったりしているということは聞いてございます。それを一堂に会してということは現在のところ考えておりませんので、よろしくお願いいたします。

○2番（中川博夫君）

出た不要物を大家さんが知多南部焼却場まで持っていくと、そういったものを、ある面では大家さんのためにも援助を、有料で持っていかれるんでしょうかね、それは、大家さんが持っていく場合は、学生さんから出したものを、それを援助できるかどうか、その辺をお伺いしたいです。

○経済環境部長（久野元嗣君）

御質問の趣旨とちょっと違ったらごめんなさい。

大家さんが持っていくのにどうかということだと思いますが、大家さんが下宿をするための条件として、それを、学生下宿の人たちをそのために誘致して住まわせて、大家さんが商売としてその廃棄物を持っていくということであれば、事業所のごみとして有料になります。ですが、学生下宿の人たちのものの移送に対して、個人では運ぶ手段がないので、たまたまその大家さんがちょっと軽トラを貸すなりなんかして個人が運ぶものであれば無料というふうを考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○2番（中川博夫君）

どうもありがとうございました。

大家さんのほうも、最後になりますけど、一応今まで何十年と下宿の大家さんは町に対しても貢献していると思うんですね、納税に対してはね。そういった点を考慮に入れてくださりながら、何かよい御援助ができればお願いしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

以上をもって、中川博夫君の質問を終わります。中川君は自席に戻ってください。

〔2番 中川博夫君 降席〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって、町政に対する一般質問を終わります。

○議長（丸田博雅君）

本日の日程は終了いたしました。

お諮りします。議事の都合により、3月9日から3月12日までの4日間を休会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、3月9日から3月12日までの4日間を休会することに決しました。

来る3月13日は午前9時より本会議を開き、提出議案に対する質疑を行います。

本日はこれにて散会します。お疲れさまでございました。

〔午後3時14分 散会〕

平成25年 3 月13日（水曜日）

第 1 回美浜町議会定例会会議録（第 3 号）

平成25年3月13日（水曜日） 午前9時00分 開議

◎ 議事日程（第3号）

- 日程第1 同意第1号 美浜町監査委員の選任について
- 日程第2 同意第2号 美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第3 議案第1号 第5次美浜町総合計画基本構想の策定について
- 日程第4 議案第2号 美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第5 議案第3号 美浜町消防団条例の一部を改正する条例について
- 日程第6 議案第4号 美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例について
- 日程第7 議案第5号 美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例について
- 日程第8 議案第6号 美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例について
- 日程第9 議案第7号 美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例について
- 日程第10 議案第8号 美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
- 日程第11 議案第9号 美浜町都市公園条例の一部を改正する条例について
- 日程第12 議案第10号 美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例について
- 日程第13 議案第11号 美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例について
- 日程第14 議案第12号 美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例について
- 日程第15 議案第13号 町道路線の廃止及び認定について
- 日程第16 議案第14号 美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例について
- 日程第17 議案第15号 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- 日程第18 議案第16号 美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例について
- 日程第19 議案第17号 美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について
- 日程第20 議案第18号 美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例について
- 日程第21 議案第19号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第22 議案第20号 平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第23 議案第21号 平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第24 議案第22号 平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）
- 日程第25 議案第23号 平成25年度美浜町一般会計予算
- 議案第24号 平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算
- 議案第25号 平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第26号 平成25年度美浜町介護保険特別会計予算
- 議案第27号 平成25年度美浜町土地取得特別会計予算
- 議案第28号 平成25年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計予算

議案第29号 平成25年度美浜町水道事業会計予算

日程第26 発議第3号 生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書について

日程第27 発議第4号 愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書について

◎ 本日の会議に付した事件

[議事日程に同じにつき省略]

◎ 本日の出席議員（14名）

1番	大崎卓夫君	2番	中川博夫君
3番	石田秀夫君	4番	千賀荘之助君
5番	山本辰見君	6番	鈴木美代子君
7番	野田増男君	8番	森川元晴君
9番	杉浦剛君	10番	山本和久君
11番	丸田博雅君	12番	島田昭夫君
13番	磯部輝次君	14番	家田昇君

◎ 説明のため出席した者の職、氏名（26名）

町長	山下治夫君	副町長	石川達男君
教育長	山田道夫君	会計管理者	神谷信行君
総務部長	森田篤君	企画部長	靱山博資君
厚生部長	家田兵蔵君	経済環境部長	久野元嗣君
建設部長	片岡勝君	教育部長	山森隆君
総務課長	牧守君	防災安全課長	本多孝行君
税務課長	大岩哲治君	企画政策課長	大井徳男君
秘書広報課長	谷川徳寿君	住民福祉課長	岩瀬知平君
保険課長	山下幸子君	健康推進課長	飯味拓次君
農業水産課長	永田哲弥君	商工観光課長	竹内康雄君
環境保全課長	齋藤博君	土木課長	廣澤辰雄君
都市計画課主幹	河村伸吉君	水道課長	伊藤昭一君
生涯学習課長	坂本順一君	学校給食センター所長	森川幸二君

◎ 職務のため出席した者の職、氏名（2名）

議会事務局長	岩本修自君	局長補佐兼 議会係長	日比郁夫君
--------	-------	---------------	-------

[午前9時00分 開議]

○議長（丸田博雅君）

皆さん、おはようございます。

ことしの花粉症は大変なものがありまして、私も薬を飲み、目は目薬を差しということで、対応に大変苦慮しております。皆さんはいかがでしょう。

本日は多くの審議事項がございますので、早速ですが会議に入ります。

ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

なお、毎度お願いしておりますが、お手持ちの携帯電話の電源を切るかマナーモードにしてください。よろしくお願いをいたします。

日程に入るに先立ち、諸般の報告をします。

執行部より、本日の会議に都市計画課長が欠席をし、代理の説明員として都市計画課主幹の出席の報告がありました。

以上で、議長の諸般の報告を終わります。

それでは、日程に入ります。

日程第1 同意第1号 美浜町監査委員の選任について

○議長（丸田博雅君）

日程第1、同意第1号、美浜町監査委員の選任についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

お諮りします。本案は委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより同意第1号、美浜町監査委員の選任についてを採決します。

本案は同意することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

ありがとうございます。

挙手全員であります。よって、本案は同意することに決定いたしました。

日程第2 同意第2号 美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任について

○議長（丸田博雅君）

日程第2、同意第2号、美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。石田秀夫君。

○3番（石田秀夫君）

固定資産評価審査委員の選任についてでございますが、執行部より出されたということですが、人事権はどういうふうになっているのかということですが、誰が最終的に決定してこういうふうに出されたのかお伺いいたします。

○総務課長（牧 守君）

石田議員の御質問にお答えいたします。

地方税法の423条におきまして固定資産税評価審査委員会を設置しなければならないということが規定されておりまして、その中で委員につきましては、当該市町村の住民、納税義務のある者、または学識経験を有する者の中から議会の同意を得て市町村長が選任することとされていますということになっておりますので、当然町長におきまして選任者を決定して、今議会のほうに候補者として上程させていただいたものと理解しております。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって質疑を終わります。

お諮りします。本案は委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより同意第2号、美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決します。

本案は同意することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手多数であります。よって、本案は同意することに決定いたしました。

日程第3 議案第1号 第5次美浜町総合計画基本構想の策定について

○議長（丸田博雅君）

日程第3、議案第1号、第5次美浜町総合計画基本構想の策定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第4 議案第2号 美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第4、議案第2号、美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第5 議案第3号 美浜町消防団条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第5、議案第3号、美浜町消防団条例の一部を改正する条例についてを議題とします。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第6 議案第4号 美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第6、議案第4号、美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例についてを議題とします。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第7 議案第5号 美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例について

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第7、議案第5号、美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例についてを議題とします。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。鈴木君。

○6番（鈴木美代子君）

今回の3月議会の議案は地方分権の関係でちょっとわけのわからないものがいっぱいあるんですけども、この道路の構造の技術的基準を定める条例について、これ、もちろん私たちは賛成ですけども、この条例は町道の構造の技術的基準を定める必要があるということですが、今後、町道をさわるときに関係してくるのか、今の

町道に当てはめたらいっぱいいろんなものが出てくると思うんですけど、その辺はどうですか。

○建設部長（片岡 勝君）

今言われるとおり、道路の工事並びに設計に関して、当然道路の構造基準、これが制定されているものですから、それを今回、全く内容的には今までどおりなんですけど、今言うように地方分権の関係で一括法の制定ということで、そういう趣旨でございますのでお願いします。

○議長（丸田博雅君）

これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第 8 議案第 6 号 美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第 8、議案第 6 号、美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第 9 議案第 7 号 美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第 9、議案第 7 号、美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第 10 議案第 8 号 美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第 10、議案第 8 号、美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第 11 議案第 9 号 美浜町都市公園条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第11、議案第9号、美浜町都市公園条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第12 議案第10号 美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例について

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第12、議案第10号、美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第13 議案第11号 美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第13、議案第11号、美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第14 議案第12号 美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第14、議案第12号、美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第15 議案第13号 町道路線の廃止及び認定について

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第15、議案第13号、町道路線の廃止及び認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第16 議案第14号 美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第16、議案第14号、美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第17 議案第15号 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第17、議案第15号、地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第18 議案第16号 美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第18、議案第16号、美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第19 議案第17号 美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について

○議長（丸田博雅君）

日程第19、議案第17号、美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第20 議案第18号 美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例について

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第20、議案第18号、美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第21 議案第19号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）

○議長（丸田博雅君）

日程第21、議案第19号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。石田君。

○3番（石田秀夫君）

美浜町一般会計補正予算についてでございますが、総務費の中で、私の訴訟に対してでございますけれども、私は町費が使われているということに対して納得ができないのであります。と申しますのは、そのときに町長と町の議会において運びがなされた、除名に対して。それに対して私は訴えて、除名に対して訴えているのでございますけれども、そういった中で町費が使われているということは非常に納得がいかないということでございます。

○議長（丸田博雅君）

このことにつきまして答弁を求めているわけですね、納得がいかないということで。

○3番（石田秀夫君）

はい、そうです。

○総務部長（森田 篤君）

今回の裁判につきましては、石田議員が訴えられたのは、美浜町の議会と、あと、美浜町を訴えておりますので、その裁判費用を美浜町が負担するのは当然のことということで、今回の補正予算でも弁護士の着手金のほうを上程させていただきました。

○議長（丸田博雅君）

ほか、ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって質疑を終わります。

本案は、お手元に配付しました議案審査付託表のとおり、各常任委員会に付託をいたします。

日程第22 議案第20号 平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○議長（丸田博雅君）

日程第22、議案第20号、平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第23 議案第21号 平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）

○議長（丸田博雅君）

日程第23、議案第21号、平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、文教厚生常任委員会に付託します。

日程第24 議案第22号 平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）

○議長（丸田博雅君）

日程第24、議案第22号、平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、総務産業常任委員会に付託します。

日程第25 議案第23号 平成25年度美浜町一般会計予算から

議案第29号 平成25年度美浜町水道事業会計予算まで7件一括

○議長（丸田博雅君）

日程第25、議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算から議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算まで、以上7件を一括議題として、順次議事を進めます。

平成25年度予算の質疑に入るに先立ち、議長から議員にお願いをいたします。

質疑については議案内容についての疑義をただすものでありまして、一般質問のごとく自己の意見を披瀝するものではありませんので、この点、御注意願います。

また、美浜町議会会議規則第53条並びに第54条の規定により、発言はできるだけ簡明に、質疑の回数につきましては、平成25年度一般会計を除き1議題1議員につき3回までを限度としますので、御了承を願います。

それでは、最初に、議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算についてですが、本案は各会計当初予算の中で最も重要な案件であり、かつ、その内容も多岐にわたりますので、4つの区分に分けて質疑を行いますので、よろしく願います。

まず、1つ目の区分として歳入全般、2つ目の区分として歳出の1款議会費から4款衛生費まで、3つ目の区分として5款労働費から8款土木費まで、4つ目の区分として9款消防費以降の順で、それぞれの区分ごとに1議員3回までを限度として質疑を受けます。

それでは、初めに、歳入全般について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

それでは、一定メモを渡してありますので、全部やれるかどうかわかりませんが、お願いいたします。

1款町税の中の7項入湯税、33万9,000円ぐらいで少し下がっているわけですが、かんぼの宿の利用券が今度のあれでは年齢を切りさげるといことですので、その影響をどう見ているのか、それが33万ぐらいなのかちょっとわかりませんが、その説明をお願いします。

もう一点は、町税の中の6項都市計画税でございますけれども、前年度に対して600万ほどの増額になっていると思います。どういう理由で増額を見込んでいるのかお願いしたいと思います。

それと、私たち、以前から言っていますけれども、この都市計画税の問題、とりわけ市街化区域でもうんと外れたところの人たちが都市計画税の負担軽減をしてほしいということがありますけれども、町のほうはそのつもりは毛頭ないということですので、そういった町民の要望をどんな形で検討されたのかお願いしたいと思います。

それと、歳入のところですが、これは歳出のほうになるのかな、ちょっと指摘だけしておきます。違っておったら済みません。都市計画事業、この歳入があるわけですが、これに対して都市計画事業としてどのくらい使う予定なのかが、ここは歳入ですからちょっと当てはまらないと思いますけど、後のほうでまた指摘したいと思いますけど、基金の積み立てのところは全然見えてこないものですから、そのことをお願いしたい。

それから、もう一つ、これは町税の固定資産税が3,900万ほど減少しているわけですが、それらの理由と、先ほど指摘した都市計画税がプラスで見ているのに対してこちらが違うわけですが、その辺の説明をお願いしたいと思います。

以上です。

○税務課長（大岩哲治君）

それでは、山本議員の質疑にお答えさせていただきます。

まず、入湯税でございますが、25年度では7万1,200人を見込んでおります。ただし、おりましたが、今回、かんぽの利用券の対象者が60歳から70歳になるという影響が3,900人ほどおられるということでの入湯客を6万7,300人と見込みました。影響額としましては3,900人の58万5,000円が影響があるものと見込んでおりますので、よろしく願いいたします。

次に、都市計画税が600万ほど増となっているがとの御質問でございますが、土地につきましては、前年度課税額の1億2,351万8,000円の3%の減額をさせていただき、それから、住宅特例の分を50万4,000円ほどの減額を見込みました。よって、1億1,930万8,000円に収納率の97.94%を掛けて算出いたしました結果でございます。

それから、家屋につきましては、前年度課税額8,547万9,000円に、新築住宅分を80棟ほど見まして202万2,000円を増額と見ました。それから、取り壊し分を96棟の36万2,000円を減額し、8,709万5,000円に収納率97.94%を掛けて算出いたしました。

滞納繰り越し分につきましては、調定見込み額1,700万に対しまして17.34%を見込んで計上をさせていただきました。

この結果といたしまして、現年課税分で617万の増額、滞納繰り越し分で14万5,000円の減額、合計としまして602万5,000円の増額となったものでございます。

次に、固定資産税でございます。固定資産税が3,900万ほど減少しているということでございますが、こちらも課税の仕方は都市計画税と同じでございます。

土地につきましては、前年度課税額6億2,618万9,000円の4%、それから、住宅特例分318万5,000円を減額させていただき、5億9,795万6,000円に徴収率97.98%を掛けて算出いたしました。

家屋につきましては、前年度課税額5億3,429万3,000円、新築家屋90棟分749万6,000円、新築軽減終了分377万3,000円を増額し、今年度軽減分401万4,000円、取り壊し分108万6,000円を減額し、5億3,974万2,000円に収納率を掛けて算出いたしました。

次に、償却資産につきましては、企業において設備投資が見られないこともあり、前年課税分2億4,317万5,000円に減価償却率を掛け、293万1,200円を減額した2億1,386万3,000円に徴収率を掛けて算出いたしております。

滞納繰り越し分につきましては、調定見込み額1億2,000万に対しまして、収納率17.34%を見込み、2,080万8,000円を計上いたしました。

結果としまして、現年分で3,813万7,000円の減、滞納繰り越し分で112万1,000円の減、合計で3,925万8,000円の減となりました。

固定資産税がマイナスで都市計画税がプラスになっておるがとのことでございますが、昨年度都市計画税につきましては、減額する見込みをかなり大きく見積もってしまった結果、本来でいきますと、対前年予算比においては617万円の減額となっておりますが、前年度課税対25年の予算対比では294万6,000円の減額になりますので、よろしく願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

ほかはありますか。鈴木美代子君。

○6番（鈴木美代子君）

町税であります。要するに個人町民税と法人町民税で、前年度、昨年度は予算で法人町民税が7,300万円減りまして、今回は、25年度は個人町民税が283万5,000円減ですよね。こういうふうには個人町民税が減ですけども、これにはやっぱり、今の背景というのか、勤労所得が減になったのかなという、要するにワーキングプ

アとか非正規労働者だとか、そういう人がふえて収入が減ったのかなとただ推測するんですけども、その辺は
どういうふうになっているのかお聞かせ願いたいと思います。

それから、地方交付税については、政府は国家公務員の給与を7.8%引き下げを理由に地方公務員給与
も連動して引き下げを求めて地方交付税の引き下げを打ち出しておりますけれども、それを反映して今回
地方交付税が減って2,000万減るという形になっているのか、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

それから、23ページの国庫負担金ですけれども、障害者自立支援給付費負担金、これが障害者総合福祉事業費
負担金という形で名称は変わっているんですけども、これも地方分権一括法でいろいろ名称が変わってきたの
かなど。それで、名前は変わりましたが、中身は一緒ですかということです。

それから、雑入です。33ページの雑入で、放課後児童クラブの利用料を216万円としているわけですけれども、
前年度は70万円でしたものですから、放課後児童クラブの利用者を多目に見積もっているのかなと思うんですけ
れども、その辺をはっきりお聞かせ願いたいと思います。

○税務課長（大岩哲治君）

それでは、税のほうを私のほうから説明させていただきます。

個人町民税のほうで200万ばかり減っておるといってございまして、これにつきましては、やはり給与所
得者、給与所得者全体の私どもの85.1%の割合で課税させていただいておる最大の納税者でございまして。こちら
につきましては、やはり雇用形態も悪く、正規職員になかなか雇っていただけないということもあり、また、普
通の給与のほうも昨年同様伸びがないということで、いろんなところの統計調査をもとにしても約1%程度の減
額になっておるといって、なかなか上がらないものとして見ておりますので、よろしく願いいたします。

○総務課長（牧 守君）

地方交付税の関係でございまして、地方交付税の額の推移からちょっと述べさせていただきたいと思っておりますが、
民主党政権になりまして22年度以降、地方交付税の国の地方財政計画で、ほぼ17兆円ほど安定して交付税の財源
を措置していただいているというような状況でございまして。そういった中で、本町でございまして、24年度にお
きまして12億3,000万ほど、普通交付税のほう、一応収入のほうを予定しております、ほぼ予算額以上の収
入をいただいているというようなこととございまして。

25年度の算定に当たりまして、一応鈴木議員のほうから、国家公務員の給与の分、7.8%を国は減らしたんだ
から地方公務員のほうの引き下げをとということで、交付税のほうにその影響があるんじゃないかというようなこ
とでございまして。これは、予算算定の際に国のほうから示されました算定方法に基づきまして、本町もざっと
ですがはじいております。その方法といいますのは、交付税を算定します場合に基準財政需要額というのがあり
ますが、要はこの基準財政需要額の調整につきましては約1.1%ぐらいの減収になるんじゃないかというような
指示がございまして、本町の場合が基準財政需要額が24年度におきまして37億ほどありますので、ざっとでござ
いまして、1%相当ということで、3,000万ぐらいの影響はあるだろうというようなことで、今回、普通交付税
のほう、3,000万ほど前年度より落とさせていただきました。それに加えて、交付税全体では2,000万という
ことですので、特別交付税のほうで実績等を見ますと若干伸びが見られるというようなことで、特別交付税につ
きましては1,000万増額したということで、トータルで2,000万、予算上は落としてあるということとござい
ます。ただし、25年度になりまして、地方交付税が7月の段階で算定し決定されますので、決定した段階で増額にな
れば9月の決算議会におきましてまた補正のほうをさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願
いしたいと思います。

以上です。

○厚生部長（家田兵蔵君）

2点ほど御質問いただいています。

まず、23ページの1節社会福祉費負担金の中のちょうど真ん中にごございます障害者総合福祉事業費負担金、これが御指摘のように24年度と名称が変わっておるということでございます。名称が変わっただけで中身はどうだという御質問でございますが、議員御承知のように、これ、障害者自立支援法から、法律がまず障害者総合支援法に変わったということが、これが大きな改正でございます。

中身ということでございますけれども、児童福祉法で定められております、障害児の生活機能、そういったものの向上、それから、訓練を通じて社会との交流を深めるための放課後等デイサービス事業、こういったものが今回、法律の改正に基づきまして、私どもで扱うというのか、取り組む業務となりました。本町におきましては、西部にありますチャレンジドさんのほうに委託をしているものでございます。

それから、もう一つ、33ページ、これは雑入、下のほうにあります放課後児童クラブ利用料、これが前年比と比べて大きく伸びておるということでございますけれども、25年度につきましては食事1,000円を除いた利用料9,000円に対しまして20人の年間分を見込んでおりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○5番（山本辰見君）

先ほど私の質問にちょっとお答え願えていないものですからもう一度。

都市計画税のところで、いわゆる入りのほうの計算をしているほうも含めてですけれども、前から指摘しておいた、例えば0.3%を0.25とか0.2に試算しないかとか、それから、もう一つは、市街化区域の見直しを、とりわけ、駅前とか、そういう平地のところじゃなくて、裏が崖になるようなところ、もう30年も前のときの市街化区域、当時は、右肩上がりのときはよかったと思うんですけれども、そうじゃないときには、今の状況ではぜひ外してほしいというところがある。これらの検討を部内なり、それから建設部のほうで、土木のほうでどういう検討をされているのか、ひとつお願いしたいと思います。

○議長（丸田博雅君）

いいですか、ちょっと一般質問に近くもなるかもしれませんが、答えられる範囲内で結構ですが。

○建設部長（片岡 勝君）

まず、都市計画税の見直しということですが、前回もお話しさせていただいておりますが、この都市計画税はまちづくりの根幹となる財源でございます。まちづくりを衰退させるようなことはできませんので、現在のところ、都市計画税の見直しということは考えておりません。

また、市街化区域の見直しでございますが、これ、今からは、10年ごとということ御承知だと思いますが、次回は平成32年になりますので、御理解いただきたいと思います。

○議長（丸田博雅君）

ほか、ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

ないようでございますので、これをもって歳入の質疑を終わります。

次に、歳出のうち、1款議会費から4款衛生費まで、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。鈴木美代子君。

○6番（鈴木美代子君）

まず、歳出は、全体の事業の中で消費税の総額をお聞きしたいと思います。

それから、53ページの印刷、これは総務全体でよくわからなかったものですからお聞きするんですが、今まで、何年か前に町政概要で、コンパクトサイズのそういったものがあったと思うんですけども、あれはとても便利で、町民にいろんなことを尋ねられても、ちょっと待ってねとってちゃちゃっと調べて答えられるような、なかなかいいものでした。きのう、武豊の議員と行き会ったら、武豊の25年度分を見させてもらって、美浜もあつたにないなと思って、あのコンパクトサイズの町政概要は、25年度は印刷を検討されているのか、印刷をされないのならその理由を簡単にお聞かせ願います。

それから、私がおも説明を聞き漏らしたのならごめんなさい、本当に。もう一回聞きます。クリテリウム事業という、その事業の内容と目的をお聞かせ願いたいと思います。55ページですね。

それから、53ページ、もう一つ、地域行政大学の設立準備で何を考えているのかお聞かせ願います。

それから、同じく53ページで、婚活支援業務委託料ですけども、これ、婚活、24年度、なかなか評判がよかったと思うんですけども、どこに委託をするのかお聞かせ願います。

それから、61ページの防犯対策の中で、消耗品の中に小学生のヘルメットが入っていると思うんですけども、今回、教育費のほうに防災用ヘルメットというのが入っていますね。この違いと、中身がどう違うのかお聞かせ願いたいと思います。

それから、61ページの防犯灯のLED取りかえ修繕ですけども、これについては、今回取りかえるのが何基で、全体の防犯灯の何%ぐらいを取りかえたことになるのか、予定をお聞かせ願いたいと思います。

それから、67ページです。知多地方税滞納整理機構の負担金ですけども、この整理機構が入ってきたのは、多分3年計画となっていると思うんですけども、やっぱり対応してくれる職員がなかなか厳しいという話を町民からいっぱい聞きます。滞納整理機構を継続することなく、整理機構は撤退して税務課担当の独自で収納を進められたほうが私は町民によくわかると思うんですけども、それを一度お聞きしたいと思います。

それから、87ページの保養施設の利用助成事業ですけども、行かない人は行かないけれども行っている人にはなかなか評判のよかった事業ですけども、年齢を上げたために、もちろん予算も、24年度予算で447万円が今回は254万円になっているわけですけども、年齢を変更した根拠を伺いたいと思います。

それから、この予算概要から質問しているんですけども、25年度いただきました予算概要から、育成医療と未熟児の養育医療費が、これが県から移譲となったということですけども、これは県より移譲となって、全額美浜町費でやるわけでしょうか。それから、不妊治療費ですけども、不妊治療費は所得制限をなくしてほしいという要望が結構耳にするわけですけども、今回も所得制限はあるのでしょうか。

それから、次、これは最初に聞くべきだったのか迷って、ここの障害のところ、4款のところに入れたんですけども、町職員の今の現状と雇用率はどうなっているのかお聞かせ願いたいと思います。町職員への障害者雇用について、美浜町としてどのような見解を持っているのかお聞かせ願いたいと思います。

それから、107ページの母子通園施設運営事業ですけども、これについて、私が聞き漏らしたならごめんなさい、本当に。もう一度、事業内容と、何をするのかお聞かせ願いたいと思います。対象は障害児でしょうかね、その辺もちょっとお聞かせ願いたいと思います。

それから、109ページで災害拠点病院施設事業補助金、これですけども、補助する意義はわかります、理解します。しかし、厚生病院に補助金は出してもなかなか美浜町の事業は協力してもらえないというところがあつて、例えば病児保育など、厚生病院とタイアップしてやるという、以前厚生病院の補助金を出すときにそういう説明があつて、私は覚えていますが、スペースも用意しているというような説明があつたと思いますが、一向に

それは予算化が検討されない。検討したのでしょうか。

それから、117ページ、合併処理浄化槽が進む中で、公共下水道のことをちらちらと耳にするわけですが、公共下水道、合併浄化槽を含めて、美浜町民の公共下水の将来図ってどうなるのでしょうか、それもお聞かせ願いたいと思います。お願いします。

○総務課長（牧 守君）

じゃ、初めに消費税の関係のことを私のほうから説明させていただきます。

消費税の算定に当たりましては、あくまで試算でございますので、当然予算科目の中に含まれております報酬だとか給料、手当、それから賃金、そういったものはちょっと除かせていただいた上で算定のほうをしておりますので、その点、よろしくお願ひしたいと思います。

まず、一般会計分の消費税でございますが、総額で6,403万6,000円、特別会計、5つございますが、5特別会計分につきましては319万6,000円、水道事業会計におきましては600万円ということでございまして、総額で7,333万2,000円になろうかという予測を立てております。一般会計と特別会計と水道事業会計を合わせました総予算額が119億ほどございますが、そのうちの0.614%が程度が消費税の額になろうかというようなことになると思いますので、よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○企画部長（靱山博資君）

それでは、続きまして、町政概要についての御説明をさせていただきます。

町政概要につきましては、3年に1度ということで発行をしております。前は平成23年に発行しましたので、今回は平成26年度を予定しておりますので、よろしくお願ひをいたします。なお、現在も前回23年につくりました概要は若干ストックがございますので、必要であれば、言っていただければいつでもお渡しできるかと思っておりますので、よろしくお願ひをいたします。

続きまして、クリテリウム事業でございます。55ページでございますけれども、クリテリウム事業につきましては、社団法人全日本自転車競技連盟の主催で行っております自転車ロードレースの一種でございまして、周回コースを複数回走行することによりまして、平成23年度より、広域農道と県道奥田内福寺南知多線を利用した日本福祉大学の南側で開催をしております。町といたしましては、町の活性化につながるということで、この事業に対して後援を行っているものでございます。

そういった中で、23年度から実施したということをお知らせしましたが、23年度につきましては宿泊者が54名、この事業で見えた方が54名の宿泊者がございました。去年は、もっとふやしたいということで、旅館が500円、それから町が500円、1,000円の割引クーポンを発行させていただきまして、約150名ほどの宿泊をいただいております。そういったことで、ことしもそういった歓迎の意味と、それから、地元の観光産業の発展の意味も込めまして、今回、予算をお願ひいたしておるものでございます。

それから、次の地域行政大学の設立準備資金でございますけれども、これにつきましては、日本福祉大学と連携をさせていただきまして、社会貢献できる、そういった専門知識を持っていた方を育てていきたいということで、まちづくりに今後協力していただける方の人材育成によりまして経費でございまして、主に講師謝礼等の費用を予定しておるものでございます。

それから、次の婚活支援委託料でございますけれども、これにつきましては、御存じのように、平成22年度の国勢調査で県内の未婚率の順位がとて悪いという不名誉な結果が出たことによりまして、平成23年度より婚活事業に取り組んでおります。今年度も実施をさせていただきましたけれども、来年度につきましても、こういっ

た未婚率の解消に努めるために3回ほどの実施を予定しております。委託先につきましてはそういった婚活の事業に取り組んでおりますNPO法人を予定しております、年3回ほどの実施をさせていただきたいと思っております。

ちなみに、前回3月10日に、つい先日ですけれども、うのみのほうで婚活事業に取り組ませていただいたときなんですけれども、35名の参加がありまして、9組のカップルが成立しております。そのときに申し込みが多数ございまして、実際にはお断りしたというような、そういった、今、婚活事業は非常に注目を集めている事業でございますので、ぜひともお認めをいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それから、最後に、障害者の雇用率の関係でございますけれども、ちょっと予算案と質問内容がややなじまない点があるかと思っておりますけれども、一応お答えのほうを用意しておりますので、お答えさせていただきたいと思っております。

法定雇用率につきましては、ことしの4月から2.3%の障害者の雇用が必要となっております。この率をクリアするためには、職員数が4名必要となります。しかしながら、現在、正規職員で2名、それから、臨時職員は3名おりますけれども、これは0.5のカウントになりますので1.5ということで、3.5の確保はしておるわけでございますけれども、4月以降では0.5人の不足が生じております。そういった中で、現在、ハローワークにおきまして、障害者枠で臨時職員の募集をしております。今まで一般の方のという形であれですけれども、障害者枠ということで特定して募集をしております。そういった中でこういった充足率をつくっていきたくて考えておるわけでございますけれども、今後につきましては、現在雇用しております正規職員の定年が迫っておることや、できるだけ臨時職員に頼らない障害者雇用を目指しまして、年次計画で障害者枠を設けて正職員のほうを積極的に採用していきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○防災安全課長（本多孝行君）

防犯対策のほうでヘルメット等をいただいておりますので、その辺を説明させていただきます。

小・中学生のヘルメットにつきましては、正確には交通安全対策費のほうの消耗品で見させていただいております。単価につきましてはおおむね1個当たり800円前後のものでございますので、消耗品で計上させていただいております。防災用のヘルメットとの差はどうかというと、基本的にはやはり強度の差だというふうに考えております。

次の防犯灯のLED取りかえ修繕に関してでございますが、2月末の参考値ということで御承知おきいただきたいと思っております。美浜町内、20ワットと80ワットと合わせて2,680基ほどございます。そのうち20ワットの防犯灯につきましては約2,100ございまして、そのうち約260、約13%がLED化させていただいております。80ワットにつきましては約580基ありましておおむね10%程度、それから、全体としましては約12%が現在、LED化が進んでおります。25年度につきましては、今のLED化というのは球が切れてもう全然だめだというものをかえております。今回はそれに加えまして、電気はついているけれどもどう見ても危ないよねというやつを少しでもかえたいというふうに考えて計上させていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。

以上です。

○税務課長（大岩哲治君）

それでは、知多地方滞納整理機構の負担金の件で、3年が計画となっているがとのことでございますが、議員のおっしゃるとおり、平成23年度から始まり、25年までの3年計画でございますので、本年度もお願いするものでございます。そこで、対応が厳しいとのことでございますが、対応については本町職員も派遣職員も変わらぬ対応をするよう努めておりますので、よろしくお願いたします。

それから、税務課担当独自で収納を進められたいとのことでございますが、本来、自分のところの滞納については自分のところで行うのが筋かとは存じておりますが、町職員では住民と行政が身近過ぎて滞納処分をしにくい面もあるとともに、職員の経験も短いことなど、徴収技術、ノウハウが不足している面もございます。県の職員、他の職員との共同にて滞納整理事務を積み重ねることにより徴収技術の向上につながるものと思ひ参加させていただいておりますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○厚生部長（家田兵蔵君）

もし漏れがありましたら、また御指摘ください。

まず、87ページの保養施設利用助成事業の中で年齢を変更した根拠をとという御質問でございます。60歳から70歳に引き上げた理由でございます。これにつきましては、法律等で縛りがあるものではございませんけれども、議案説明会でも説明したとおり、本町、限られた予算の中でいろんな新規事業を行うというようなことで、例えば高齢者の福祉事業をとりますと、タクシー利用券の関係、これも新規事業でございます。そういった限られた予算の中での1つということが1つ挙げられます。また、今、60歳から70歳ということで、私も61が限りなく近づいてくる1人でございますが、まだまだ現役で十分いけるだろうというような若さを持っております。見てみましても、60歳から69歳の方は現役でまだばりばり動いてみえますし、今が一番いいときかなというようなことも思います。法の縛りとか条例の縛りがあるわけございませんので、ひとつそこら辺は御理解いただきたいと、こう思っております。

それから、県から移譲がされました育成医療費、それから、養育医療費の関係、これにつきまして、まず、町費で全額持っておるのかというお話がございました。これにつきましては、国費が2分の1、県4分の1、町4分の1でございます。

それから、中身はどうなっておるのかというお話もございました。育成医療費の関係でございますが、18歳未満の方で障害や病気があって、ほっておくと障害が残るおそれがある、そういったお子様に対する医療費でございます。

それから、養育医療費でございますけれども、養育医療費につきましては、生まれたときに2,000グラム以下、そういった体重で生まれた赤ちゃん、それとか、身体の発育が未熟のまま出生した赤ちゃんで、入院して養育を行う必要のある、そういった子供さんを対象にした医療でございます。

それから、不妊治療費は所得制限があるかという御質問だったかと思ひます。変わっておりません、ございます。夫婦で730万未満ということで、これ、所得でございますので、収入にしますと1,000万弱になろうかと思ひます。1,000万の収入といふとなかなかのものでございますので、私ども、とても手が届かないような額でございますので、よろしくお願ひします。

それから、109ページのほうにあります災害拠点病院の設備事業補助金、新規で1,600万ということで、補助すると同時に、議員指摘されております病児保育、病後児保育の関係、こちらはどうかということでございますが、これにつきましては一般質問のほうでも御指摘いただきまして、町内の病院で今後検討していきますよというお答えをさせていただいておるところでございますけれども、実は厚生病院さんだけに絞りますと、ことし1月30日に知多厚生病院さんのほうの中で医療懇話会のワーキンググループというのがございまして、両町の部課長が参加しまして、私と、うちで言うと飯味課長、出向きまして、その会議終了後、その他でちょっと、私、声を出しまして、どんなものだろうという話をしました。病院さんいわく、確かに看護師さんの託児所はありますという中で、スペース的なこともありますし人員のこともありますし、今すぐどうだということはちょっと難しいと

いう話があります。ですから、一般質問で答えましたように、町内の病院の中でまた今後検討していかんといかんのかなと思います。現状としましては、議員も御承知のように5市5町の中で今やってみえますのは、常滑市と東浦町、町が病院に委託しまして実施しておりますけれども、美浜町のそういった必要のあるお子様につきましては、常滑の瀧田病院でしたか、あちらのほうに通院してみえるのが現状でございます。そういったことも含めまして、この問題に1市1町が実施しているという現状も踏まえまして、今後美浜町に必要かどうかも含めまして検討していく必要があるのかなと思います。よろしく申し上げます。

○経済環境部長（久野元嗣君）

それから、117ページの合併処理浄化槽の設置の関係でございます。こちらにつきましては、合併浄化槽の設置補助を平成元年から行っておりまして、平成12年から浄化槽法の改正によりまして単独処理槽の設置ができなくなりましたので、現在、合併処理で対応しておりますので、よろしく願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

今、合併浄化槽が補助されてありますが、公共下水道事業を、まだ全く事業を諦めているわけではないという声が聞こえておりますので、予算を策定する中で、公共下水道の将来図もいろいろ検討されたと思うんですけども、その辺はどういう検討をされたのかお聞かせ願いたいと思います。

それから、母子通園事業を答えていただきたいと思います。答えたかね。いないよね。済みません、もう一回。もう一つ、例えば、知多厚生病院の話ですけども、今そういう話がありましたが、10年間、2,580万だったか2,850万だか補助をしてほしいという話に何度か見えたときに私は聞いた記憶があるんですけど、ちゃんとスペースも用意するので今後考えますよというような、お金はもらっているけれども、全然現実、その人じゃない人が来たら病児保育が何か宙に浮いちゃった感じがするんですけど、もう一度ちゃんと厚生病院に協力を要請してほしいと思うんですけど。

○建設部長（片岡 勝君）

今、御質問の合併浄化槽と公共下水ということですけど、公共下水ということになりますと8款のほうになるかと思いますが、答えのほうをさせていただきますけど、現在の進捗状況でございますが、今、うちのほうで、国土交通省の関連機関でございます総合研究所のほうに、先進的モデルの下水道事業の調査研究を行っております。それが、いわゆる従来の下水道整備とはちょっと異なっております。といいますのは、低コストキャップ型下水道事業ということで、これを今、研究、調査しております。そうした中で、公共下水道事業の実施に向けた問題点や、そういった問題点を抽出して適用可能かどうかということで、今そういった判断に向けての調査を行っております。また、その公共下水につきましては接続率の関係もございまして、できるだけ早い時期にそういった可能性の結果を出すことがまず第一かなと、こんなふうに思っております。

○厚生部長（家田兵蔵君）

大変失礼いたしました。落としまして済みませんでした。

まずは母子通園事業の関係でございますが、議案説明会等で申し上げてきたことはよろしいですか。今、107ページの説明のほうに書いてありますとおり、臨時職員賃金として342万5,000円ををお願いしております。正職1名と臨時職員さん2名を予定しております。定員を一応10名と設定いたしまして、奥田保育所のほう、実施していきたいというふうを考えておりますので、よろしく願いいたします。

○6番（鈴木美代子君）

対象者。

○厚生部長（家田兵蔵君）

ごめんなさい。対象者につきましては、1歳6カ月健診で保健師さんが対応しますとすぐわかるらしいですね。ちょっと発達に障害があるとか、障害があるという、そういう疑いのある子というのか、そういうお子さん、お母さんと一緒にこちらに通園してもらおうというようなことで考えておりますので、よろしく願いいたします。

それから、もう一点が災害拠点病院の関係、以前10年計画で補助をしているところに、病院さんのほうからか町からか、そういう厚生病院の中で病後児保育、病児保育の関係の声があったというお話でございますが、それは、当時そういったお話があったのかもしれませんが、今現在、担当もずっとかわってきまして、私ども、先ほど申し上げておりますとおり、現状といたしましては先ほど申し上げたとおりでございますので、厚生病院さんも含めて今後検討していきたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（丸田博雅君）

ほか、ありますか。山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

ちょっと順番はそろっているかわかりませんが、済みません。

2款の総務費の中の人事管理費の中で職員の方の人間ドックの委託があると思うんですけど、該当する方どのくらいの方が実施しているのか、また、個人負担はどんな形になっているのでしょうか。

それから、総務費の中の企画費、13節のところには第5次総合計画フォローアップ委託料とあります。これ、実際はどういうことを委託するのか。まだ案の段階、今の段階ではまだ案ですし、25年度中にあるということですから、計画が始まってその後のフォローをしていくのだとわかるんですけど、どういう中身になるのかお聞きします。

それから、総務管理費の中に基金費、積立金とあります。その中に都市計画事業の基金として、今年度、25年度2万2,000円とありますけれども、歳入のほうで先ほど2億円近くあると思いましたが、歳出の予算、主なのはどういうのがあって、その残りが積立金になろうかと思うんですけど、その明示をされたいと思います。それから、2万2,000円というのは、どういう算出根拠があったのか。

それから、次は、先ほど同僚議員も聞きましたけど、ちょっと違う観点で聞きます。知多地方税滞納整理機構の負担金ですけれども、先ほど説明があったように23、4、5年度ということですけど、これで基本的には一区切りだと思うわけですけど、来年のことは次の話と言われると困りますけれども、26年度はこれで終わりだと見ていいのでしょうか。

それから、3款の民生費の中でいきます。

先ほど同僚議員からもありましたけど、保養施設の利用券の助成事業のことですけれども、この事業そのものは、もともと歴史的なものはあると思うんですけど、もともとはやっぱり町のほうが、いろんな状況の中から老人福祉センターみたいな建物が欲しいと、風呂に入れる、そういうことの代わりの事業として、町のほうから提案して始めた事業ではないかなと思うんですけど、そういう設立趣旨をもう一回確認したいのと、今度70歳以下は切るということですけど、先ほどちょっと説明がありましたけど、実際には今度、大枠で60歳代、70歳代、それから80以上と3つぐらいに分けたときに、それぞれ何人ぐらいずつ該当する人がいるのか。それと、先ほど厚生部長は、若い人は行かないんだよと、行かなくてもいいよというようなことを率直に申しました。だけど、反対に私は、さっき言った、60代、70代、3つぐらいに大枠でくくったときに、たくさんの人が利用しているんじゃないか、むしろ、うんと高齢になったらなかなか動きがとれなくて、せっかく町から発注しているの、いつも実績ではトータルでこれだけ発行しているけれども、ざっと5割前後だったかなと思うんですけど、そのときに、3つに分けたときにどの年代がどんな利用状況なのかというのを集約した数字はないかもしれませんけ

ど、その辺をどう検討されたのかをお願いしたいなと思います。

それから、それと関連して高齢福祉タクシー事業、この事業はありがたいことだなと思うわけですが、実際に使う段になったときに、常時タクシーがいるところは河和の駅前だけだと思っているんです。多分奥田の駅なんかはほとんど見かけたことがないので、朝とかというのはあるかもしれませんが、そういう面では、実際にタクシーを利用する場合は迎いの料金がかかると思うんです、今、110円かなと思うんですけれども。他の市町でもこの事業を展開しているわけですが、東浦町では、この110円だと思いますけど、お迎いの料金も含めて補助をしていると。それから、中には680円じゃなくて障害者の割引の料金でやっているところもありますから、いろいろ若干中身は違うんですけど、なぜせつかく支援して応援しようとしたときに、はなからわかっているお迎いの料金を外しちゃったのかなということがちょっと気になるところです。この説明をお願いします。

それから、6目の国民健康保険費、ここは、25年度は3,000万円を、いわゆる一般的に赤字にならないように補填というか繰り入れをしたいということですが、法定繰り入れと一般の繰り入れがちょっと中身が違うと思うものですから、本当は予算書の明細の中に2段書きにしてきちっとわかるように、ことしはこういう形にした、やらない年もあるよというのがわかるようにしておいたらよかったなと思うんですけど、その辺のこと、お願いしたいと思います。

それから、保育所の関係のところですけど、済みません、私、ページ数は言っていないんですけど、保育所借地料というのがあると思うんです。800万円ぐらいですけども、これまで相当の年数にわたってずっと借地でやってきたと思うんですけど、例えば10年だと8,000万円からなる、1億近くなるわけですから、購入することはできなかつたのかということと、もしここが私の記憶違いだったらいけませんけど、河和南保育所だったかなと思うんですけど、もし違っていたらごめんなさい、もしそうだった場合、今度保育所の統廃合のことがあって、もし閉めるということになると25年度限りの予算になるのか、私の理解が違っておったら申しわけないです。

それから、もう一点お願いします。先ほどの災害拠点病院の設備の整備事業補助金です。1,600万円ずつ両町とも同じ割合だと言いましたから3,200万円。全体の事業規模がどれだけで、両町にはこれだけの負担をしてもらうということなのか、全額3,200万円、購入する機材の全額なのか、そこのところをお願いしたいと思います。以上です。

○企画部長（靱山博資君）

まず、1点目の職員人間ドックの委託料の件でございますけれども、我々職員が人間ドックを受ける場合には、まず、共済組合、我々が入っております健康保険組合であります共済組合のほうから、35歳以上を対象に130名ほどの補助がいただけることになっております。それと、同様の扱いを町の職員全体にさせていただきたいということで、町の職員が35歳以上の職員が180名ほどおりますので、50名ほど、共済組合からの補助をいただける部分で不足が生じますので、その不足分に対する委託料でございます。ちなみに自己負担につきましては、一般の半日コースの場合で、受ける箇所が3カ所一応指定してございますので同一ではございませんけれども、受ける場所によって4,000円から5,000円の自己負担でということで、あとは共済組合と町の補助という形で受検をしていただいております。

それと、続きまして、第5次総合計画のフォローアップ事業でございますけれども、この事業につきまして…

○議長（丸田博雅君）

済みません、ページ数をちょっと、わかっておったら、皆さんが開きやすいのでお願いします。

○企画部長（靱山博資君）

53ページです。53ページをごらんいただきたいと思います。このフォローアップ事業でございますけれども、今、総合計画のほうを御審議していただいておりますけれども、その総合計画づくりの中で地区別ワークショップに参加された方の中から、そういったまちづくりに非常に強い関心がある方をお願いをいたしまして、実はもう8回ほど、まちづくり井戸端会議という名前で、日本福祉大学の指導を受けながら、そういったまちづくりについての検討をいただいております。そういった中で、今、具体的な方策といたしましては、25年度から、美浜にちなんで3のつく日に美浜の発見ツアーと、それから、フェイスブックなどを使って情報発信をしていけたらなという案が出ております。そういった中で、これも日本福祉大学の指導を受けまして、最終的にはこういった方々に地域づくりのリーダーになっていただきたいという考え方の予算でございますので、よろしくをお願いいたします。

ちなみに、全学区それぞれ、今、こういったメンバーがございまして、よろしくをお願いいたします。

○総務課長（牧 守君）

61ページの基金費の積立金の関係でございますが、都市計画事業基金2万2,000円とあるがというようなことございまして、まず、算出根拠のほうから説明させていただきますと、要は12月の段階で当初予算の編成のほうをやらせていただいておりますが、その時点で保有しております都市計画事業基金の現在高に対しまして、市中金利の率0.03%を掛けて利息分をはじめまして、それを歳出のほうで基金積立金という形で計上させていただいているものでございます。

それから、その前段で、歳入と歳出の予算の明細をという、そこら辺の関係でございますが、これにつきましては、要は山本議員がおっしゃってみえるのは、基本的に都市計画事業基金につきましては、23年度決算において都市計画税が幾らあったと、23年度中に都市計画事業に対してどれだけ充てたと、それで、その残りが出てきますよね。その分を24年の9月の決算の段階で積み立てさせていただいているというようなことでございます。ですから、25年度の9月の段階におきまして、要は24年度の税と実際の支出との差額の分をまた基金のほうに積み立てるといような作業がまた出てこようかと思っております。24年度におきましては、今の見込みでございますが、7,600万ほどの基金の残高になろうかというようなことを予定しておりますので、よろしく願いいたします。

○総務部長（森田 篤君）

それでは、67ページの知多地方税滞納整理機構の平成26年度以降についてどうするかという御質問だったかと思いますが、26年度以降につきましては、平成25年度中に県から各市町村が相談をしまして、どのようにするかということを決めていきたいと、そんなふうに思っております。

以上です。

○厚生部長（家田兵蔵君）

まず、87ページ、20節扶助費の保養施設利用助成事業、かんぼの入浴券でございますけれども、この関係で、今、議員御指摘の過去にこれがスタートするいきさつ、老人福祉センターの関係を言われましたけれども、私もちょっと会議録等をずーっと見ていきますと、議員からそういった質問も何回かされておまして、本町におきましては、老人福祉センターにつきましては契約していないよというような御答弁が過去にされております。美浜町におきましては各地域に老人憩の家というようなものも整備しまして、そこで今まで、今もいろんな事業をやっただいておるといふふうに理解しております。

60歳、70歳、80歳、それぞれ何人ぐらいおってどのような利用率かというような御質問がございましたけれども、これにつきましては、そういった資料も今持っておりませんし、逆に、そういった年代別の利用状況、こういったものはちょっと把握していないというのが現状かと思っております。

それから、私がさっき、60歳代は若くて利用なんかせんでもいいというような、何かそんなふうに、議員、捉えられたというのか、そういったような御発言だったかと思えますけれども、決してそんなことは思っておりませんし、まだまだこういった制度にのっとって御利用いただく、そういうお年ではないのかなというふうに、私、思っておりますので、よろしく願いいたします。

それから、87ページ、同じ87ページで高齢者タクシー助成事業の関係でございますけれども、これにつきましては、今考えておりますのは、本町に営業所がございます名鉄知多タクシーを考えております。せっかくのことで、お迎え料金110円、これも一緒にどうだというお話がございましたけれども、検討しなかったわけではございません。検討もいたしましたけれども、取っかかり、まず初乗りでやらせていただこうと。と申しますのは、議員も御承知かとも思えますけれども、5市5町を見てみますと、唯一東浦町さんが110円、お迎え料金をやっております。他市町はやっておりません。私どももまず初乗り料金680円でスタートしてみようということにいたしましたので、よろしく願いいたします。

それから、95ページ、国民健康保険繰出金の関係でございます。

法定繰り出し、任意繰り出しがあつて、非常にここの説明だけではわかりにくいという御指摘でございます。確かにそのとおりだと思います。ただ、ちょっと私、今見ていませんけど、こんなことを言うと叱られるかもしれませんが、特会のほうの受ける側、国保特別会計のほうは細かく記載してありますので、またよろしく願いたいと思います。今、御指摘のありました件につきましては今後一回検討していきたいと思っておりますけれども、よろしく願います。

それから、101ページ、保育所の借地料につきましては課長のほうから答弁しますのでよろしく願います。

○住民福祉課長（岩瀬知平君）

保育所の借地料、河和南保育所を25年度末で廃止する、その後はどうかというお話でございます。

契約上、原状復帰というのが、原状復旧というか、それが原則でございます。もともとあそこは田んぼだったんですけど、それを、原則としては田んぼに戻して地主さんにお返しをするというのが原則でございます。まだ地主さんと交渉中ございまして、実際田んぼに戻すにはかなり予算もかかりますので、有利な形で双方納得の上でお返しすることができれば、話し合いの中でどうするかはこれから決めていきたいと思っておりますけれども、原則としては田んぼに戻しましてお返しをするというのが原則でございます。

○議長（丸田博雅君）

質問はありますか。千賀荘之助君。

○4番（千賀荘之助君）

何か議案説明会を2回もやっておるような状態のような形で、これではきょう1日かかるような気がするんですけど、議長が初めにそういったように、議員たちももう少し的確に常識を判断せないかんし、執行部の答弁、ただ棒読みしておるだけでは、これでは何回やっても意味がない。だで、例えて言うと、新規事業としてこういうものがありましたと、それで、あとは例年のごとくですと、それで、あとは我々議員が判断した中でわからないことを聞くと、そのくらいの常識はあってもいいんじゃないですか。

以上です。

○6番（鈴木美代子君）

3回目です。

千賀議員に、私たちが聞いているのが何かいけないことのように聞こえますけれども、説明会も言葉が早くって聞き取れなかった部分があるんです。それぞれ議場で議案説明を聞いてはいけないというものもありませんし、

私たちが聞いていることに執行部の皆さんも丁寧に答えていただいていますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

2点だけ、私、お聞きしたいと思ひます。

45ページの職員の問題で、職員メンタルヘルス相談委託料なんですけど、こういった役場の職員もメンタル的に大変だという話も聞いています。メンタル的に問題があつて休職される方もありますが、これについて、もう少し詳しくお聞かせ願ひたいと思ひます。

それから、先ほど私、知多地方税滞納整理機構の負担金についてのときに、きついと、そういう評判があるというふうに、私、言ひました。やはり整理機構は成果を上げているかもしれませんが、対応した住民は、税金を納めているのが悪いが、罪人のような、人間扱ひしてもらえなかつたという、そういう声もあるんです、事実。だから、私はそれを言葉にして言うつもりはなかつたんですけど、変わりはないと言われるものですから、事実を知つてほしいということで、その辺の指導はどうされたのかなど。そういう声は聞いているし、職員にも私、話しました。

以上です。

○秘書広報課長（谷川徳寿君）

職員のメンタルヘルス相談の事業でありますけれども、議員のおっしゃるとおり、職員のメンタル面の相談をさせていただく事業であります。隣町におきましては休職者も出る状態ですので、美浜町でもなるべく休職者が出ないようにしていきたいと思つておりますので、こういう事業を始めさせていただきましたので、よろしくお願ひいたします。

○税務課長（大岩哲治君）

先ほど、きついと、それで、対応した昨年度か今年度かちょっとわかりませんが、人間的な扱ひをしていないと言つていることを聞いておると、どのように対応したかということでございますが、私どものほうには、厳しい対応はということとは時たまお聞きします。確かに税の徴収部分で、一般的に滞納されている方、いろんな事情がございますけれども、そここのところを何とかお願ひしながら税のほうを徴収しておるとということで、人間扱ひをしていないというようなことは全くもつてしておりませんし、また、そんなようなことがあつてはいけないということは常々言つてありますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質問はありますか。厚生部長。

○厚生部長（家田兵蔵君）

済みません、先ほど山本議員のほうから御質問いただひいてしまつて、1つ落としておりましたので、よろしくお願ひいたします。

109ページの一番下の災害拠点病院の関係、整備事業補助金、この関係で、全体事業規模と補助金の割合、この関係を御質問いただひいておりました。

全体事業費といたしましては、万単位で申し上げますと1億6,254万円で、約その20%、両町で3,250万円ということで、両町がそれぞれ10%ずつで20%、全体の事業費のということでございます。よろしくお願ひします。

○議長（丸田博雅君）

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、ここで休憩に入ります。再開を11時からいたします。よろしくお願いいたします。

以上です。

〔午前10時40分 休憩〕

〔午前11時00分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続き、会議を開きます。

暖房を入れっ放しにしますので、ちょっと大き目に、声のほうを、マイクを使ってしてください。

それでは、厚生部長のほうから訂正の申し出がありましたので、報告を願います。

○厚生部長（家田兵蔵君）

大変失礼いたしました。先ほど山本議員のほうから御質問いただきました中で、109ページの一番下の災害拠点病院整備事業補助金の関係で、負担割合はどうだという御質問の中で、両町合わせて3,250万と、私、申し上げましたけれども、御訂正、3,200万が正しい数字でございますので、3,200万に御訂正のほう、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

それでは、次に、5款労働費から8款土木費まで、これより質疑に入ります。質疑はありますか。山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

幾つか質問させてください。

8款土木費の中の5項都市計画費、その中の都市計画総務費の中でたくさん委託事業がありますけれども、順番にお聞きします。

美浜町交流拠点施設管理委託、これは24年度もやっているわけですがけれども、本来、美浜町の設備じゃなくて南知多道路の施設ではないかと思うわけですが、美浜町の事業の交流拠点の一角だといいながら、ここ、場所を美浜町が借りているわけでも何でもないと思うんですけど、なぜ美浜町が管理しなければならないのかなど。向こうに管理してもらって、美浜町と一緒に事業でいいんじゃないかなということを思います。

それから、次の既存市街地整備調査業務委託、言葉ではわかるんですけど、具体的には委託をするに当たって、担当部局のほうでは、どういう、どの程度まで青写真みたいなのを持って、こういうのについて検討していただきたいというのを描いているのか、もう少し詳しく尋ねたいと思います。

同じように、その次の奥田・野間地区事業化検討調査業務委託、これも一緒です。駅前を何とか活性化したいというのは総論ではわかるわけですが、今の段階で町として、奥田、野間、それぞれをどう青写真を描いて業務を委託しようとしているのか教えていただきたいと思います。

それから、もう一点、これは私たち、本当にすごいひっかかる事業ですけど、美浜交流拠点事業基本計画、これらが、先ほどの既存市街地だとか奥田、野間のことも思うと予算も大きいですし、町長がいつも言われる身の丈に合っているのかどうか、それから、町民の要望からしてどうなのかということがすごく非常に関心が高いのと、今それどころじゃないんじゃないかということがあるわけですが、これについてもどういう青写真を持っているのか、今の段階での計画はどれを持っているのか、それから、もう一つは、トータルでどのぐらいの日程で、ことしの予算はこれだけですけど、次はどういう計画の段取りになるのかも教えてもらいたいと思います。

それから、先ほども同僚議員からもありました下水道事業検討業務、単純にいきますと、これまで長年、いわ

ゆる公共下水ではなくて合併浄化槽ということで、個人負担も、それから町の事業費も相当な金額をつぎ込んでいると思うんですけど、先ほど部長のほうから、いわゆる低コストの新しい施設があるということでしたけれども、どんな概要になるのか、まだこれから検討するといいいながら、それらも含めて、武豊町とか阿久比なんかと違って2つに分かれておって、両方に地域が分かれるときに1カ所で済むのか2カ所になるのかといったときにすごい大変な事業になると思うものですから、もう少し今の段階で見えているのを教えてほしいなと思います。

それから、次の3目の土地区画整理費、柿谷の事業の補助金ですけれども、これは事業の1割を補助するというので、今、鋭意努力しているとはいいいながら、24年度に解散するのがまだちょっと、日にち的に非常に厳しいのかなと思うわけですけど、24年度で解散していれば25年度で終わりだと思うんですけど、ずれ込めばまだ26年度にも補助金が出るのか、ここは確認で。

それから、5目の公園管理費、使用料、借地料ですけど、ちょっと具体的にどこどこが、どんな形のところを借りているのか、もう少し教えてほしいです。

それから、これがもちろん持ち主の方もいると思うんですけど、借地じゃなくて購入の計画は長期的な視野に立った場合、立てられないのかお尋ねしたいと思います。

それから、最後になりますけど、9款消防の中で……。9款は次か。それは失礼しました。そこまでです。

○建設部長（片岡 勝君）

8款5項1目の各委託料でございます。155ページですか。

最初に、交流拠点の施設管理委託でございますが、この交流拠点におきましてのドッグランの美浜パーキングでございますが、これは、たつてうちのほうが愛知県道路公社に対しまして、何とか美浜町の総合的な交流ということで、ぜひ目的を達成させていただきたいという中の1つでございます。そうした中で、今、管理費が、町が何で見るといってございまして、これにつきましては、永遠に見るといってではございません。パーキングドッグランのときにも、説明にも、私、申し添えたと思いますが、オープンしてから、今年度オープンしたわけでございますが、一応2カ年ないし3カ年様子を見た中で、管理費を町で対応できるかということでございますので、うちのほうから積極的に要望した内容の整備でございますので、管理費はオープンから2年ないし3年は町のほうで対応させていただくと、こういう話になっております。以後につきましては、せんだってもし社長のほうと話しましたんですけど、公社管理でお願いしたいという話も進めておりますので、御了解いただきます。

それから、既成市街地整備の業務委託でございますが、総合計画において、既成市街地は道路が狭く、都市基盤の整備がおくれておるといっての中で、景観や環境に配慮した市街地整備を促進することとなっております。業務の中で骨格となります道路や生活道路、小公園などの整備、老朽化住宅の除却や耐震化による市街地の更新など、課題解決に向けて検討しております。将来的には事業化に結びつけるように思っておりますので、お願いしたいと思います。

中身でございますが、今年度におきまして実施しました空き家活用実験を行った奥田の空き家周辺をモデル地区として、地域とのワークショップを通じて町民、住民の方々と協働しながら進めていく業務でございますので、御理解のほど、お願いいたします。

続きまして、奥田・野間地区の業務化検討の業務委託でございますが、まず、駅前であるということから、潜在力を引き出し、地域の生活拠点といたしまして整備することが不可欠だと、このように町のほうは考えております。整備できる手法などを検討するために、現地の踏査、課題を整理して効果的な開発手法を選定しております。事業の実現を図りたいと考えておりますので、野間地区並びに奥田地区とも、規模やどのような施設を設置

できるか、住宅地としてのあり方など、地元の方々とよく話し合いながら、確実な事業化に結びつけていく方針でございますので、よろしくお願いいたします。

次に、美浜交流拠点事業の基本計画策定業務委託でございますが、今年度は昨年6月に構想を公表し、美浜インター周辺の施設のあり方や官民の役割分担などについて検討してまいりました。25年度においては、特に総合公園の機能強化について、基本的な方向性並びに施設の構成、管理のあり方、周辺施設との連携などを検討したいと、このように思っておりますので、御理解いただきたいと思っております。地域資源を有効活用した交流人口の増加や町民の健康福祉の増進に資する施設整備を考えて進めたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、下水道事業の検討業務委託でございますが、先ほどもちょっと触れましたですが、24年度に国との間で、低コスト型の下水道運営の可能性について、美浜町をモデルにして共同の調査研究を行っております。このモデル事業は、本町の投資可能額をもとにして、最新の安価な配管方法などを採用させていただきながら、維持管理業務をもとにして民間へ長期包括委託するなど、コストを抑えた手法で事業化へのシナリオを作成しておるのが現状でございます。経営の収支予測を立てるものでございますので、25年度におきましては、この結果を踏まえて改めて問題点を抽出して、収支の見込の見通しなど、本町における整備実施に向けた可能性について、さらに継続して検討してまいりますものでございます。

次に、159ページですか、美浜柿谷の区画整理事業補助金についてでございますが、補助金は区画整理の補助金交付要綱に基づきまして、御存じのとおり補助金を交付する予定となっております。26年度におきましても補助金を計上する運びとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、公園管理費の借地料でございますが、総合公園につきましましては、所有者であります北方区3万5,000平米、緑地広場につきましましては4名の個人の方から8,900平米をお借りしております。施設は永続性のあるものでございますが、購入する方向で地主の方にも打診をしておりますので、御承諾いただければ購入の方向に向かいたいと、このように考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○5番（山本辰見君）

ちょっと補充して、前から今の説明をもう少し詳しくお聞きしたいと思います。2点、3点ぐらいかな。

奥田、それから野間地区の事業化のことですけれども、具体的に前には、例えば野間ですと町営住宅をどうするのか、公共施設をどうするのかということが、もちろんまだ決まっていない、これから検討するとはいいながら、例えば公共施設は公民館のことを考えているのか、保育所のことを考えているのか、それら、あるいは老人施設のことを考えているのか、少し見えない。でも、ぜひ私は、何かそういう具体的なのがもう少し見えたほうが、決定じゃないにしてもそういうのも含めた検討をしているというのがもう少し見せていただきたい。逆に、奥田のほうについては、そういったいわゆる建物のことがまるっきり伝わってこないものですから、駅前を元気にして学生のためというようなことはわかります、何とかせないかんと思っておりますけれども、将来的な、いわゆる区画整理の関係とどう兼ね合うのか、あるいは国道がずーっと住環境整備事業の中から南のほうへおりてくる道路との兼ね合いをどうするのかというのは奥田も見えてきませんので、青写真でもう少し、ぜひこれは、町としてはこういうのは欲しいと思っているというのがあれば、もう少し示していただきたいなど。

それから、同じように、その次の美浜交流拠点構想の公園整備のところもそうですけれども、総合公園の施設整備ということで具体的には少し聞こえてくるのが、グラウンドをもう一つつくりたい、あるいはテニスコートを広げたいというようなことも聞こえてきました。それらですと今ある公園の施設の中ではスペース的にちょっと足りないんじゃないかなと思ったときに、新たに例えば借地になるのか、町がその周辺に町としての土地は持

ってみえるのか、そういったときに、購入してとか借りてうんと広げるのか、グラウンドのことでいくと、第2町民グラウンドか何かがあったと思うんですけど、そこの兼ね合いをどう位置づけているのかが見えてきませんので、そのところも少しお願いしたいなと思います。

それと、一番最後に言われた総合公園が35万、緑地広場って言いました、緑地広場は町民の森のほうの駐車場で借りているところでしたでしょうか。もう一回そこを、もう少し詳しくお願いします。総合公園のどこの位置がどうだったのか。

○建設部長（片岡 勝君）

まず、野間駅周辺でございますが、今、議員の言われますような構想を、公民館あるいは保育園、あるいはそういった住宅、こういったものも含めて総合的な公共施設の立地として、今現在、24年度におきましては、各関係担当課長補佐級で今年度、ある程度の問題点の抽出と計画の樹立を、概要樹立ですけど、これを図っております。そして、25年度におきましてこれの青写真をゾーニングしたいと、こういう流れでございます。

次に、奥田駅前でございますが、ここにつきましては、まずもって公園整備を第一目的として進めていきたいと。その中に、いろんな施設、例えば公営のプールだとか里山、それから散策路の駐車場も含めてですけど、そういった複合的な公園施設整備を青写真にしたいなど。青写真にしたいということは現実整備に向けてこれに検討を継続していきたいというのが目的でございますので、御理解いただきたいと思っております。

続きまして、美浜交流拠点の総合公園周辺でございますが、もちろん、今、議員が言われましたように、野球場の増設、テニスコートの増設、ここらはイの一番に検討事項の中に入れております。検討事項といえますよりゾーニングの中で描いております。それと、また、加えまして、文化施設開館、文化ホールですか、小規模ではございますが、こういうことも含めて整備の方向性を向けていきたいなど。そういったことと、ある程度民間との、近くに民間の企業もございまして、ここらと合わせた連動のすぐれた効率のある総合公園の施設整備を図っていききたいと、これが狙いですので御理解いただきたいと思っております。

借地の場所は、町民の森ではございません。あくまで総合公園の向かいの緑地でございますので、緑地広場でございますので。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質疑はありますか。鈴木君。

○6番（鈴木美代子君）

153ページの河和港の駐車場の整備事業ですけれども、高層の駐車場だと思うんですけども、その辺の、もう少し、私、もし説明があったのなら聞き落としたということで、もう一回説明を願います。

それから、165ページの町営住宅の施設整備事業です。これについては、私の聞いたものは3階建てで、今、町営住宅の古いほうの国道沿いのところに建てるという話を、説明を聞いた記憶がありますが、地質調査委託料と用地測量調査委託料が、建っているところに建てるわけですけども、それが必要になるのかどうかということと、今、国道沿いにある町営住宅に結構年寄りの人がもう動きたくないといった感じで入っているんですけども、その人たちをどうやって動かすのか。私も話をするんですけど、やっぱりここがええという感じでのものですから、このように予算化した以上は何とかして説得をしたいということで予算化したと思うんですけども、その辺のことをもう一回お聞かせください。

○建設部長（片岡 勝君）

153ページの河和港駐車場整備事業でございますが、現在の河和港の野積み場の位置を駐車場エリアとして整備を進めていくものでございます。駐車台数を一応128台予定しております。土地利用変更状況から許可をいた

だくまでに、25年12月ごろまで手続と整備工事が伴いますので、供用開始のほうを26年の1月と、こういうふう
に目標を定めております。

26年の1月から3月までの3カ月間の維持に要する費用と利用料といたしましては、月決め5,250円、1日利
用1,575円、1時間105円の単価で、目標の収入が月70万ほどの収入を見込んでおります。管理の委託につきまし
ては地元河和区さんをお願いをさせていただきまして、清掃やら料金回収、見回りその他もろもろをお願いする
ものでございます。

続きまして、町営住宅の関係は担当の主幹から説明させていただきますのでお願いいたします。

○都市計画課主幹（河村伸吉君）

165ページです。町営住宅整備事業の中の委託料ですけれども、用地の測量が建っているところだけでいいの
ではないかという御質問でした。今回、建てかえの対象としては、2階建ての42戸、6棟を考えております。こ
れを1棟に集約して建て直す予定としております。建てる敷地についてはそこなんですけれども、団地全体でも
う少し駐車場のあり方とかを見直すために全体の測量をさせていただきたいと思っております。

それから、高齢者の方が入りたくない方もみえるという御質問でした。現在は生活の施設水準がかなり低い状
態であります。くみ取りですとか、日当たりもよくありません。それを建てかえることによって水準が上がって
暮らしやすくなる、エレベーターもつきますのでバリアフリーにもなるということで、入居者の方には理解して
いただけるものと考えています。

○6番（鈴木美代子君）

3階建てということでエレベーターもつけるからということですがけれども、高齢者の方、大分動きたくない
という方が多いですけれども、それはまた職員の努力をよろしく願いますと思っております。今が42戸分で、今
度入るところは24だよね。そうすると、足りないことはない。全員入れるかね、一番住んでいる人が全員入れる
かね、新しいところへ。24戸と書いてあるから。

○都市計画課主幹（河村伸吉君）

今、42戸の住宅があります。その中で入ってみえる方が30名となっています。24戸ということで、差の6戸に
ついては、今、3階のほうがあいたときに入っていただくというふうに考えています。あと2年余りありますの
で、そちらのほうを希望していただく方については入っていただいて、新築のほうは24戸でおさめたいと思っ
ています。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質疑、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

ないようでございますので、以上で5款から8款までの質疑を終わります。

次に、9款消防費以降について、これより質疑に入ります。質疑はありますか。鈴木君。

○6番（鈴木美代子君）

先ほど教育費の中で言いかけましたけれども、今回、防災用ヘルメットというのを新しく考えているんですね。
強度が違うんだということですがけれども、今、子供たちが登下校にかぶっているヘルメットと、防災用のヘルメ
ットは強度が高いんだろうけれども、子供たちのヘルメットはその点では強度が低いということですか。ちょっ
ともう一回説明してください。

それから、消防費の家具転倒防止については、この間商工会に行ったときに、どうしてもいま一つ人気がと言

っていましたが、実績と啓発事業をどうやってやるんだということを説明してください。

それで一応答えてください。

○教育部長（山森 隆君）

教育費、小学校費、中学校費に新規事業として防災用ヘルメットがございまして、これは大人用、職員のためのものございまして、配置を職員室の近辺に各学校5つずつ購入しまして、緊急時にそれをかぶって確認作業のほうを当てるためのものございまして、交通安全費のほうで子供たちに配る交通安全用のヘルメットとは全然物が違うと思っております。それはなぜ今さらといいますと、各学校、それまでばらばらで購入しておりました。全くヘルメットのほうがない学校もございました。それで、防災が叫ばれている昨今、学校のほうできちっとした対応をしたいということで予算化をさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

○防災安全課長（本多孝行君）

家具転倒防止器具の設置補助の委託のほうですけれども、実績といたしましては、この間工事に着手したのは51件となっております。前回なかなかふえなくてと言ってから、実は、例えば民生委員さんが回られたときにこういうのがありますよとかいうのをやっていたかしましたし、この間広報には申込書そのものをおつけしておりますので、申込書をおつけしたようなものをそのまま出していただく方が結構ふえてきておるんじゃないかというふうに考えております。そういった意味では、啓発につきましては、広報はもちろんやっておりますけれども、民生委員さんとか、まず御高齢の方へ行くような場合、協力をいただいておりますのが現状です。

以上です。

○6番（鈴木美代子君）

防災用ヘルメットは1つ幾らするんですか。子供たちの交通安全用のヘルメットは1つ幾らするんですか。子供たちにヘルメットをかぶせるために、ある人は、防災にもなるからちょうどいいじゃないと、職員でそう言っている方もいるんですが、防災用のヘルメットと交通安全用のヘルメットと強度が違うと思うんです。子供たちにかぶせているヘルメットが、いざ事故があったときに、災害があったときに、じゃ、十分かというところじゃない。私はその辺をもう一度お聞きしたいと思います。何で強度の低い交通安全用のヘルメットが、今、強制じゃないと思うんですけれども、前回の教育長の答弁でかぶるようお願いしているんだと、それで確認をしておりますが、かぶると危ないという関係もあるんじゃないですか。もう一度お願いします。

○教育部長（山森 隆君）

教育費で購入予定をしております防災用ヘルメットの単価については、1個当たり3,780円でございます。子供たち用のやつはちょっと僕のほうでわかりませんのでお願いします。

○防災安全課長（本多孝行君）

通学用のヘルメットにつきましては、低学年用が見積書の段階ですけど、830円で見えております。高学年用は850円、中学生用は725円、それぞれ消費税別で予算計上のほうはさせていただいております。

それから、防災のほうに役立つというお話があったということですが、あくまで比較の問題だというふうに考えていただければいいかと思っております。防災用のそれ用のヘルメットに比べれば強度は確かに低いと思われまますが、何もないよりも明らかにいいのではないかと。そういった意味では、決して役に立たないというものではないと考えております。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

鈴木君、3回目です。鈴木君。

○6番（鈴木美代子君）

先生のヘルメットが3,780円で、子供たちのヘルメットが830円ということです。強度を言うのなら、今、本当にヘルメットでも、交通安全用とも防災用とも使えるような結構いいヘルメットがあるんですね。強度も、先生たちが購入してもらおうヘルメット用に強度の強いものもあるんですよ。私は、今、かぶらんよりましじゃないかと言われましたけれども、そうじゃない。上から落ちてきたときにヘルメットが壊れて頭にけがをするということがあるんですよ。だから、子供たちのヘルメットが万能じゃないんです。その辺はやっぱりお母さんたちが心配しているとおりなんですけれども、いかがですか。

○防災安全課長（本多孝行君）

仮にそういうものが絶対必要だという御意見が多くなればもちろん検討すべき課題になるのではないかと思いますけれども、少なくとも今、交通安全、通学用のヘルメットということで、私ども、出させていただいております。そういった意味では今までどおり少しでもという考え方でおりますので、よろしく願いをいたします。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質疑、ありますか。山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

1点だけ質問したいと思います。

171ページの災害対策費の中で、自主防災資機材等整備の補助金というのがあると思います。予算は20万ですから、この水準で、美浜町の自主防災会が18あるのかわかりませんが、区として18あるんですが、それぞれに分けたときには、単純に平均すると1万円ちょっとよりないので、幾ら何でも少な過ぎないかなと思います。

そして、もう一つは、ここは大項目は災害対策費ですから、今、私らの地元でも予算要望の中にも入っておりますけれども、避難路を見直したときに、どうしても手すりが欲しいとか、大きな工事とは違って、あるいはロープだとか資材を提供しても役に立つようなところもあるのではないかといったときに、この中の災害対策費の中にそれぞれ自主防災からの要望をどこまで反映させているのか、検討したのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○防災安全課長（本多孝行君）

まず、少ないのではないかとことはお話がございました。実績のほうを簡単に申し上げますと、平成22年度は緑苑区と柿並区、これにつきましては、防災用の海上コンテナといいますか、コンテナの中古の防災倉庫用のものを買うだとか、チェーンソーを買うだとか、そういったものに使っております。23年度は時志区、上野間区、布土区のほうから、チェーンソーですとか、あるいは非常用の水ですとか、そういったものを買ったものがございますし、平成24年度、今の段階では、議員がおっしゃる細目区の避難の看板、あちらのほうも補助をさせていただいておりますし、今、緑苑区のほうからもお話がある状態でございます。金額につきましては、一応おおむね20万というところで、この数年間に関しましてはおおむねおさまったものでございます。

あと、資材はどうだとかいうお話がございましたけれども、要綱のほう、私どもの各自主防災会に対する説明不足がちょっとあるかと思っておりますので、また日を改めて各区長さん等には御説明をいたしますけれども、対象になりますのは、例えばスコップですとかバール、とびぐち、毛布、ラジオつきのライト、メガホン、そういったものもございまして、救助用のロープ、そういったようなものも対象となっておりますので、その中で対応できるものは極力積極的に対応したいと考えております。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質疑、ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

ないようでございますので、これをもって9款以降の質疑を終わります。

議案第23号の質疑を全て終わります。よろしくお願ひします。

次に、議案第24号、平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって議案第24号の質疑を終わります。

次に、議案第25号、平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって議案第25号の質疑を終わります。

次に、議案第26号、平成25年度美浜町介護保険特別会計予算について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって議案第26号の質疑を終わります。

次に、議案第27号、平成25年度美浜町土地取得特別会計予算について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって議案第27号の質疑を終わります。

次に、議案第28号、平成25年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計予算について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって議案第28号の質疑を終わります。

次に、議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算について、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

1点だけ確認したいと思います。

議案説明のときにも同僚議員からいわゆる送水管等の耐震化のことが出ましたけれども、主管、メイン管を順次考えていきたいということでしたけれども、私は、今、防災のことがすごい叫ばれている中で、それぞれの避難所とされている、あるいはとりわけ小・中学校、ここへ導入する、主管から引っ張って来るところのことも優先して対応すべきではないかと。前にも違うところで質問したことがあるかもしれませんが、スチール管じゃ

なくて、思い切って、避難所のところでみんなが使うと思われるところをステンレスの管で立ち上げの管をそこだけやっていくと。途中、心配もあるかもしれませんが、そこだけは何とか公共の水道が使えると。前に総務部長から、全体としては美浜町は、大きなタンク、それから、それぞれのところの、東西にある、持っている水で相当な時間、飲み水が供給できるということでしたけれども、いわゆる送水管、配水管が破れることによってそういうのがちょっと心配なものですから、そういうところは、検討はされていませんか。いわゆる重要な拠点拠点のところの末端と言いませんけど、そこまで引っ張るところの管の検討はどうでしょうか。

○水道課長（伊藤昭一君）

今、議員のおっしゃられます拠点関係でございます。来年度、25年度からそういった災害に対して重点的にやっていこうということで町のほうも考えております。その中で、今言われます補助のメニューは、緊急時給水拠点確保等事業ということでやっております。これは、先ほど議員が言われました避難所、それから重要拠点、そういったものを、特に幹線が行っておりますので、それを重点的に整備していこうという事業でございます。

何分距離もありますし、年度も少しかかります。ですが、来年度、随時やっていこうということで、配水池のほうから今現在出ております幹線、350とか300の大きな管がございます。それを重点的にまずやっていきます。それから、それから出た幹線というのは、まず西と、それから東に来ております。一遍にはなかなかできませんので、それを随時、まず役場方面、まず厚生病院、そういった拠点、それから拠点病院等がありますので、その幹線を重点的にやっていくということで今考えております。多分、金額も大きいものですから、この先毎年お願いしていく、そういう形になるかと思えます。

それから、給水拠点等で、先ほど、立ち上げのバルブだとか、そういったことということはありません。それは、事業の中で検討した中で、より給水がしやすいような、一般の方も対応できるような、そんなようなことを考えております。

以上でございます。

○5番（山本辰見君）

もう一点、うのみの里と、それから新しくできた食堂のところが、上水が通っていないと思ったんです。前にこのいろんな話題が出たときに、美浜町としても県道沿いを、将来的にはいろんな業者が入ってというか、ちょっと正確な名前を忘れちゃったけれども、あそこをいろんな形でいろんなところが入ってきてもいいようなと考えたときに、いわゆる上水の配管を検討していませんか。あそこいわゆる上水を引っ張る、それは県のほうの仕事になるのか、基本的には町の仕事だと思うんですけども、いかがでしょうか。

○建設部長（片岡 勝君）

今言われる路線の小鈴谷河和線でございますが、配管計画を持っておりますので、御承知ください。

○5番（山本辰見君）

もう少し具体的に。

○建設部長（片岡 勝君）

今、先ほど水道課長のほうから説明がありましたですけど、今、幹線の先行事業をやっております。そうした中で、時期的な問題だということでしょうか。それにつきましては、ここ2年ないし3年後に着手したいと、こんなふうになっております。

○議長（丸田博雅君）

よろしいですか。鈴木君。

○6番（鈴木美代子君）

今、現在の県との契約水量は何立方メートルですか。有収率は今、今回の予算ではどういうふうに立てていますか。

○水道課長（伊藤昭一君）

まず、県と有収水量1日1,100トンが1日契約の最大水量となっております。済みません、1万1,000立米ですね。次は有収率ですね。済みません、今ちょっと数字が見つからないので大変申しわけないです。一応97.幾つかと思うんですが、細かい数字のところがちよっとあやふやなので、大変申しわけないです。また後で正確なものをお示しさせていただきます。済みません。

○6番（鈴木美代子君）

県との契約水量は1万1,000トンというふうに言われました。私の記憶では契約水量がオーバーするとペナルティーがあるということですが、今でもそうですか。

○水道課長（伊藤昭一君）

はい。一応超えますと、その数字をもって金額、数量をとられますので、ペナルティーはいまだにあります。

○議長（丸田博雅君）

ほか、質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって議案第29号の質疑を終わります。

以上7件の平成25年度予算については、お手元に配付をしました議案審査付託表のとおり、各担当常任委員会に付託します。

日程第26 発議第3号 生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書について

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第26、発議第3号、生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書についてを議題とします。

本案について、提出者より提案理由の説明を求めます。

6番 鈴木美代子君、説明願います。

〔6番 鈴木美代子君 登壇〕

○6番（鈴木美代子君）

議長の許可がありましたので、意見書の提案を述べさせていただきます。

発議第3号、生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書について。

生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書を別紙のとおり提出する。

平成25年3月13日提出、代表提出者、美浜町議会議員 鈴木美代子、提出者、同じく山本辰見です。

提案理由、この案を提出するのは、生活保護基準の引き下げは、最低賃金ぎりぎり働いている労働者、地方税非課税世帯や就学援助などを受けている低所得世帯に大きな影響を及ぼし、貧困の連鎖が強まるのが必至である。政府に対して、生活保護基準の引き下げを即時撤回し、憲法第25条に基づき、雇用と社会保障を充実させ、所得再分配機能を抜本的に強化することを強く要望する必要があるからであります。

ぜひ意見書を読んでいただいて、この意見書の意味を理解していただき、同僚議員の賛成を強く要望するものであります。

終わります。

[降 壇]

○議長（丸田博雅君）

提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

お諮りします。本案は委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

審議の都合により、本案の討論、採決は最終日に行います。

日程第27 発議第4号 愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書について

○議長（丸田博雅君）

日程第27、発議第4号、愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書についてを議題とします。

本案について、提出者より提案理由の説明を求めます。

5番 山本辰見君、説明願います。

[5番 山本辰見君 登壇]

○5番（山本辰見君）

議長の許可をいただきましたので、提案理由の説明をさせていただきます。

発議第4号、愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書について。

愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書を別紙のとおり提出する。

平成25年3月13日提出、代表提出者、美浜町議会議員 山本辰見、同じく提出者として、鈴木美代子議員であります。

提案理由、この案を提出するのは、県民所得の減少や格差の拡大など、生活の悪化が顕著になっており、住民の健康を保持するための医療費助成の取り組みは、各種の福祉医療施策の充実とともにますます重要となっております。そういう中、愛知県に対し、有料化、所得制限を導入せず、一層の充実を図ることを強く要望する必要があるからであります。

案文については、次のページに添付してございます。この課題は、町民にとっても、また、美浜町自体をいろんな福祉の施策を進めるに当たっても非常に大きな影響があると思いますので、ぜひ同僚議員の皆さん、中身をまた精読いただいて、ぜひ最終日には賛同いただきますように、よろしくお願いを申し上げます。

以上です。

[降 壇]

○議長（丸田博雅君）

提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

お諮りします。本案は委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

審議の都合により、本案の討論、採決は最終日に行います。

○議長（丸田博雅君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

お諮りします。付託案件等の委員会審査、並びに日程の都合により、3月14日から3月20日までの7日間を休会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、3月14日から3月20日までの7日間を休会することに決しました。

休会中に各担当常任委員会を開き、付託案件等の審査をお願いいたします。

来る3月21日は午前9時から本会議を開き、各担当常任委員長に付託案件等の審査結果の報告を求め、質疑、討論、採決を行います。

本日はこれにて散会します。御協力ありがとうございました。

〔午前11時58分 散会〕

平成25年 3 月 21日（木曜日）

第 1 回美浜町議会定例会会議録（第 4 号）

平成25年3月21日（木曜日） 午前9時00分 開議

◎ 議事日程（第4号）

- 日程第1 議案第19号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）の撤回について
- 日程第2 議案第1号 第5次美浜町総合計画基本構想の策定について
議案第2号 美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について
議案第3号 美浜町消防団条例の一部を改正する条例について
議案第4号 美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例について
議案第5号 美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例について
議案第6号 美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例について
議案第7号 美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例について
議案第8号 美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
議案第9号 美浜町都市公園条例の一部を改正する条例について
議案第10号 美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例について
議案第11号 美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例について
議案第12号 美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例について
議案第13号 町道路線の廃止及び認定について
〔総務産業常任委員長 報告〕
- 日程第3 議案第14号 美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例について
議案第15号 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
議案第16号 美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例について
議案第17号 美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について
議案第18号 美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例について
〔文教厚生常任委員長 報告〕
- 日程第4 議案第19号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第5 議案第20号 平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
〔文教厚生常任委員長 報告〕
議案第21号 平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）
〔文教厚生常任委員長 報告〕
- 日程第6 議案第22号 平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）
〔総務産業常任委員長 報告〕
- 日程第7 議案第23号 平成25年度美浜町一般会計予算
〔各担当常任委員長 報告〕

- 日程第8 議案第24号 平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算
議案第25号 平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算
議案第26号 平成25年度美浜町介護保険特別会計予算

[文教厚生常任委員長 報告]

- 日程第9 議案第27号 平成25年度美浜町土地取得特別会計予算
議案第28号 平成25年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計予算
議案第29号 平成25年度美浜町水道事業会計予算

[総務産業常任委員長 報告]

- 日程第10 発議第3号 生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書について
日程第11 発議第4号 愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書について
日程第12 平成24年請願第1号 「年金支給額削減に反対する意見書」の採択を求める請願書について
平成24年請願第2号 「年金支給年齢引き上げに反対する意見書」の採択を求める請願書について
平成24年請願第3号 「全ての高齢者に年金3.3万円を支給する意見書」の採択を求める請願書について

[文教厚生常任委員長 報告]

- 日程第13 議会閉会中の継続調査事件について

◎ 本日の会議に付した事件

- 日程第1から日程第3までの各事件
日程第5から日程第9までの各事件
追加日程第1 議案第30号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）
日程第10から日程第13までの各事件

◎ 本日の出席議員（14名）

1番	大崎卓夫君	2番	中川博夫君
3番	石田秀夫君	4番	千賀荘之助君
5番	山本辰見君	6番	鈴木美代子君
7番	野田増男君	8番	森川元晴君
9番	杉浦剛君	10番	山本和久君
11番	丸田博雅君	12番	島田昭夫君
13番	磯部輝次君	14番	家田昇君

◎ 説明のため出席した者の職、氏名（12名）

町長	山下治夫君	副町長	石川達男君
教育長	山田道夫君	会計管理者	神谷信行君
総務部長	森田篤君	企画部長	榎山博資君
厚生部長	家田兵蔵君	経済環境部長	久野元嗣君
建設部長	片岡勝君	教育部長	山森隆君

総務課長 牧 守 君

商工観光課長 竹 内 康 雄 君

◎ 職務のため出席した者の職、氏名（2名）

議会事務局長 岩 本 修 自 君

局長補佐兼
議会係長 日 比 郁 夫 君

〔午前9時00分 開議〕

○議長（丸田博雅君）

皆さん、おはようございます。

個人的なことではございますが、私は大変、きょうは緊張しております。よろしく願いをいたします。

19日の各小学校の卒業式には、議員の皆さん及び町の関係の方には御出席をいただきましてありがとうございました。御苦労さまでした。

私は河和南部小学校のほうに出席をしましたが、今回は鈴木議員に祝辞のほうをお願いしましたので大変気楽で、席から、16名の卒業生や父兄、それから先生方の表情をよく観察させていただきました。ありがとうございました。大変すばらしい卒業式でありました。

本日は大変多くの議案等がございますので、よろしく願いを申し上げます。

なお、毎回お願いをしておることでございますが、お手持ちの携帯電話の電源を切るか、あるいはマナーモードにてお願いをいたします。

それでは、会議に入ります。

ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

次に、町長から諸般の報告の申し出がありましたので、これを許可します。

町長、報告してください。

〔町長 山下治夫君 登壇〕

○町長（山下治夫君）

皆さん、おはようございます。

早速でございますが、諸般の報告をさせていただきます。

現在開会中の国会におきまして地方税法改正法案が上程審議中ございまして、例年のように年度末の成立、施行が見込まれております。このため、法律公布後直ちに関連する3つの条例の一部改正を行う必要がありますので、地方自治法第179条第1項の規定による専決処分により対応させていただきたく、御報告申し上げます。

改正内容でございますが、美浜町税条例におきましては、個人住民税では住宅ローン控除の延長、拡充、固定資産税では、日本郵便株式会社が所有する一定の固定資産に係る固定資産税の課税標準の特例措置の縮減、首都直下型地震、南海トラフ地震に備えた駅、線路の耐震補強工事により取得した償却資産に係る課税標準の特例の新設、延滞金等利率の見直し等を行うものでございます。

美浜町都市計画税条例におきましては、日本郵便株式会社が所有する一定の固定資産に係る課税標準の特例措置の縮減等でございます。

また、美浜町国民健康保険税条例におきましては、国民健康保険から後期高齢者医療に移行する場合について、国民健康保険税の軽減判定所得の算定の特例を恒久化するほか、特定世帯に係る世帯別平等割額について、現行の5年間2分の1減額する措置に加え、その後3年間4分の1減額する特例措置の延長などがございます。

いずれも地方税法の一部改正に伴いまして専決処分をさせていただくものでございますので、御理解いただきますようよろしくお願いいたします。

諸般の報告につきましては、以上でございます。

[降 壇]

○議長（丸田博雅君）

以上で、町長の諸般の報告を終わります。

それでは、日程に入ります。

日程第1 議案第19号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）の撤回について

○議長（丸田博雅君）

日程第1、議案第19号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）の撤回についてを議題とします。

本件について、町長から撤回理由の説明を求めます。

町長、説明願います。

[町長 山下治夫君 登壇]

○町長（山下治夫君）

平成25年3月5日に上程させていただきました議案第19号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）につきましては、国より交付されます地域経済循環創造事業交付金の額が、当初予定しておりました額より大幅に減額されることが判明したことに伴いまして、歳入歳出予算を減額し、改めて予算案を調製する必要が生じたので、美浜町議会会議規則第19条第1項の規定に基づきまして、本議案の撤回をお願いするものでございます。

御承認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

[降 壇]

○議長（丸田博雅君）

これをもって撤回理由の説明を終わります。

お諮りします。議案第19号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）の撤回については、許可することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、議案第19号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）の撤回については許可することに決しました。

なお、ただいま撤回が許可されたことから、日程第4、議案第19号は、本日の議事日程から削除いたします。

日程第2 議案第1号 第5次美浜町総合計画基本構想の策定についてから

議案第13号 町道路線の廃止及び認定についてまで13件一括

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第2、議案第1号、第5次美浜町総合計画基本構想の策定についてから議案第13号、町道路線の廃

止及び認定についてまで、以上13件を一括議題とします。

以上13件について、総務産業常任委員長の報告を求めます。

委員長、報告願います。

〔総務産業常任委員長 島田昭夫君 登壇〕

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

おはようございます。

それでは、御報告いたします。

総務産業常任委員会は、去る3月14日午前9時より役場3階大会議室におきまして、委員全員の出席のもとに、説明員として各担当部課長の出席を求め、当委員会に付託となりました議案を慎重に審査いたしましたので、その結果を報告させていただきます。

ただいま議題となりました13議案のうち、最初に、議案第1号、第5次総合計画基本構想の策定については、審査、採決の結果、賛成多数により可決いたしました。

審査の過程において次のような質疑がありますので御報告申し上げます。多少長くなりますが、どうぞ重要議案でございますので、よろしく願いいたします。

総合計画における審議会委員のメンバーは誰々であったのか、そして、第4次総合計画と第5次総合計画のメンバーはかわったのか、次に、総合計画を作成するに当たって、予算にまで絡む重要な要素にもなる人口の推移の予想はどのように算出されたのかという質問があり、審議会メンバーは、条例に定められている教育委員会委員長、それから、農業委員会委員長、会長なんですかね、それから、公募による委員が2名、公共的団体の役員または職員が17名、これと、識見を有する者ということで日本福祉大学の先生2名、合計23名である。メンバーはかわったのかとの質問であるが、前は議員もメンバーに入っていた。しかし、審議する人間が作成に入るのも適正ではないという理由で議員は外れたという経緯もあり、メンバーはかわっていると。策定メンバーについては、素案を企画政策課と日福大で作成し、部長以上で構成する策定委員会に上程して協議し、案を作成したと。それと、人口の推計の算出は、平成12年、平成17年、平成22年の国勢調査がベースとなっておる。コーホート要因法を採用し、自然増、自然減を推計、社会増では、奥田、野間の開発で300人を見込んで2万2,500人と設定した。

続いて、質問、質疑が出ました。

総合計画は町にとって最上位の計画と位置づけ、重要な方針であるから作成するものであると考える、にもかかわらず、何ら当計画についての開示がなかった感がある、第4次総も立派なものである、5次総作成に当たっても4次総を検証する会議があれば、なおいい計画が作成されると思うがと、それから、平成26年度から平成37年度までの計画であれば、審議する日数は十分あると思う、性急に3月議会に上程するのはなぜか、この議決は構想のみの決裁と聞くが、完成までのスケジュールまたは中身についての検討はどうなるのか、今回、議員が入っていなかったこともあるが、我々としては完成形を見た上で判断したいと思うのは当然であるとの質疑があり、3月になぜ上程したのかとの問いであるが、計画を町民にPRしていくために日数が必要である、印刷が夏ごろになる、基本構想を可決すれば、基本計画作成と今年度予算との整合性が結べる、一方、情報の提供は当然のことであり、今は細部までできていないが、見てもらえる段階で説明会を開く、それは5月ごろと考えているという答弁がありました。

次に、議案第2号、美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例についてから議案第13号、町道路線の廃止及び認定についての12議案については、審査、採決の結果、全議案とも全員賛成により可決いたし

ました。

なお、審査の過程におきまして、次のような質疑がございました。

3号議案で、消防団員の人数を正確に期すということは条例に定めていると聞いたが、切山がなくなり、南部分団に統合される等々、今後団員が少なくなっていくという厳しい状況になると推測されるが、執行部としては基本的にどういう形になると思っているのか、そして、その対策はどのように考えているのか、統廃合だけでいいのか、増員対策等、区長会等にも協議していくべきではないかとの質問があり、今回は布土で定員を減らすとこの議案であるが、今回の事態を迎えるまでに、切山、矢梨、野間、奥田、上野間、そして河和、全ての分団で団員の減少という問題は起こってきている、3年先か5年先かわからないが、不本意ではあるけれども、全体を縮小、統廃合せざるを得ないかもしれないと思っている、区長会にも増員対策等、いろいろな協議をたびたび重ねているところであるという答弁がありました。

次に、7号議案の中で、道路補修の件ですが、この条例を定めることによって、今ある町道を、高齢者、障害者、あるいは車椅子利用者のために町が管理するということになるのであろうが、実際に現在の町道にどのような影響してくるのかという質問があり、今回の条例では、高齢者、障害者、車椅子等利用者の移動円滑化促進に関する法で、バリアフリー法と言えるものであろう、法改正での対象は特定道路の新設、改築であり、一般道については、地方公共団体の責務として、新設、改築に当たって基準に適合するよう努力を下さいとの答弁がありました。

以上で報告を終わります。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

総務産業常任委員長の報告が終わりました。

これより順次、ただいまの委員長の報告に対する議事を進めます。

最初に、議案第1号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第1号、第5次美浜町総合計画基本構想の策定についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手多数であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第2号、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第2号、美浜町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第3号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第3号、美浜町消防団条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第4号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第4号、美浜町道路占用料条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第5号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第5号、美浜町道路の構造の技術的基準を定める条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第6号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第6号、美浜町町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

ありがとうございます。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第7号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第7号、美浜町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第8号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第8号、美浜町町営住宅管理条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第9号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第9号、美浜町都市公園条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第10号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第10号、美浜町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第11号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第11号、美浜町都市下水路条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第12号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第12号、美浜町準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第13号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第13号、町道路線の廃止及び認定についてを採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

[「議長」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

島田君。

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

先ほど総務産業委員会の報告の中で、私、1つ抜けておりました。ちょっとおわびして訂正いたします。

議案第1号の5次総、5次総合計画基本構想の策定についてであります。この中で討論のほうを省いてしまいました。申しわけありませんでした。重要な部分を有しますので、再度御報告いたします。

反対表明はありましたが討論はありませんでしたということで、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

以上、訂正をお願いいたします。

日程第3 議案第14号 美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例についてから

議案第18号 美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例についてまで5件一括

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第3に入ります。議案第14号、美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例についてから議案第18号、美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例についてまで、以上5件を一括議題といたします。

以上5件について、文教厚生常任委員長の報告を求めます。

森川委員長、報告願います。

〔文教厚生常任委員長 森川元晴君 登壇〕

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

おはようございます。

文教厚生常任委員会は、去る3月15日午前9時より役場3階大会議室におきまして、委員全員の出席のもと、説明員として教育長を初め各担当部課長の出席を求め、当委員会に付託となりました議案を慎重に審査いたしましたので、その結果を報告させていただきます。

ただいま議題となりました議案第14号、美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例についてから議案第18号、美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例についての5議案については、審査、採決の結果、全議案とも全員賛成により可決しました。

審査の過程において質疑がありました議案について御報告いたします。

議案第16号において、対象者はどれぐらいいるのかとの問いに、該当者は1級、2級で、昨年度末まで90名で、今年度は100名ほど見込んだとの答弁がありました。

次に、議案第18号において、具体的にどのような条例なのかとの問いに、美浜町にお住まいの方が地元の施設を利用しながら、人間関係も地元の方と密接に関係しながら老後を送っていただくためのサービス、支援等の制度であるとの答弁がありました。

なお、全議案とも討論はありませんでした。

以上で報告を終わります。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

文教厚生常任委員長の報告が終わりました。

これより順次、ただいまの委員長の報告に対する議事を進めます。

最初に、議案第14号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第14号、美浜町障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第15号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第15号、地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例についてを採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第16号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第16号、美浜町精神障害者医療費支給条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第17号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第17号、美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条

例についてを採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第18号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第18号、美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例についてを採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

日程第5 議案第20号 平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）から
議案第21号 平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）まで2件一括

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第5、議案第20号、平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）から議案第21号、平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）まで、以上2件を一括議題といたします。

本案に関し、文教厚生常任委員長の報告を求めます。

森川委員長、報告願います。

[文教厚生常任委員長 森川元晴君 登壇]

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第20号、平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）及び議案第21号、平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）の2議案については、審査、採決の結果、全員賛成により可決しました。

審査の過程において次のような質疑がありましたので御報告いたします。

議案第20号において、繰入金は全て法定であるかとの問いに、保険基盤安定繰入金は一般会計からの繰り入れ

る法定分で不足した分、増額した、また、基金繰入金は給付費等が不足した場合の積み立てている基金であり、今回この基盤安定が入ることにより、同額を減額したとの答弁がありました。

なお、2議案とも討論はありませんでした。

以上で報告を終わります。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

文教厚生常任委員長の報告が終わりました。

これより順次、ただいまの委員長の報告に対する議事を進めます。

最初に、議案第20号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第20号、平成24年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第21号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第21号、平成24年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

○議長（丸田博雅君）

次に、日程第6、議案第22号、平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

本案に関し、総務産業常任委員長の報告を求めます。

島田委員長、報告願います。

〔総務産業常任委員長 島田昭夫君 登壇〕

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第22号、平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）は、審査、採決の結果、全員賛成により可決いたしました。

なお、質疑、討論はありませんでした。

以上、報告いたします。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

総務産業常任委員長の報告が終わりました。

これより、ただいまの委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第22号、平成24年度美浜町土地取得特別会計補正予算（第1号）を採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

ありがとうございます。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

日程第7 議案第23号 平成25年度美浜町一般会計予算

○議長（丸田博雅君）

日程第7、議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算を議題といたします。

本案に関し、各担当常任委員長の報告を求めます。

まず、最初に、総務産業常任委員長、報告願います。

〔総務産業常任委員長 島田昭夫君 登壇〕

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算のうち、当委員会に付託となりました部分につきまして、審査、採決の結果、賛成多数により可決いたしました。

審査の過程におきまして次のような質疑がありましたので御報告いたします。

まず、1つ目、地域行政大学とはどのようなものなのか、目的は、また、具体的に何をするのか、対象者は誰になるのか、日本福祉大学との連携でオーケーかという質問がありました。

これに対しまして、日本福祉大学と連携して、地域社会貢献とか減災ボランティア、環境等の専門知識を学習してもらうことを目的に設立すると、まちづくりなど、地元に戻って、人づくり、地域づくりに貢献してもらうことを考えておりますと、募集をどのようにしていくのかという一例でいいますと、減災についてはコーディネーターへの養成をする等々の答弁がございました。それから、例えばシルバー人材等、人は減っている、その増員等にもかかっていきたい、農業関係については、土の醸成から始め、収穫までの一貫した流れを学習してもらい、地域に戻って農家を指導する等、役目を担っていただきたいというぐあいに考えている、幅の広い分野にわたるため、役場の各部とも連携を密にして実施していきたいと思っておる、スケジュールについては、8月ないし9月ごろに開講を考えておるといふ答弁がありました。

それから、もう一つの質疑としまして、食と健康の館の指定管理委託料500万について、小野浦との委託の内容を説明してほしい、また、この委託料は当館が利益を上げるようになっても補助金は出すのか、町としては運営についてタッチするのか、その中で塩の増産等も考えないのか、増産してあらゆるところに販売すれば、運営はさらによくなるのではないかという質問があり、答弁としまして、指定管理委託の内容は、施設の管理、いわゆる商業施設としての館の運営全般の委託をしておると、3年計画でことしが2年目である、補助金の件については、施設の管理運営そのものに対する委託、基本協定という協定書を結んでいる、平成24年度から3年間、当館の管理運営を委託する、委託料については毎年度1年ごとの契約ということで、年度協定ということで委託自体の協定とは別のものをもう一つ結んでいるという答弁でありました。

運営にタッチすることについては、町の施設であることから、町の施設としてふさわしくないようなことがあれば1つの縛りとしては必要であると思っておると、塩の増産については、確かに美浜の塩は定着しつつあると思う、塩の生産は塩研究会に委託しているが、現在は能力の限界である、しかし、今後は技術の向上、設備の改善等を図り、積極的に御意向に沿うよう進めてまいりたいというぐあいに思っておるとの答弁がありました。

以上、報告いたします。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

次に、文教厚生常任委員長の報告をお願いします。

[文教厚生常任委員長 森川元晴君 登壇]

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算のうち、当委員会に付託となりました部分については、審査、採決の結果、賛成多数により可決しました。

審査の過程において次のような質疑がありましたので御報告いたします。

保育所の借地料の内容はとの問いに、8件の合計であり、布土保育所が13万3,917円、河和南保育所が322万9,544円、南部保育所が166万4,241円、野間保育所が171万6,668円、奥田保育所が123万8,428円で、個人から借りているのは河和南保育所の2名の方からとの答弁がありました。

また、町遺児手当の内容はとの問いに、現在は、母子、父子等、片親がいない児童であり、予算上300人を見込んでいる、また、いじめ・不登校対策事業の内容と実態はとの問いに、会議等は年3回から4回と、研修等を行っている、いじめに対しての学校からの報告は月に一、二件あり、年間平均十二、三件の報告があると答弁がありました。

また、公園整備工事の内容はとの問いに、体育館の施設の費用であり、空調設備に5,000万、体育館監視カメラ等監視システムが300万、テニスコート全面張りかえが2,000万、体育館内のスピーカーの増設400万という内訳であると答弁がありました。また、本当の値段、根拠は何かとの問いに、業者の見積もりをもとに金額を決めているとの答弁がありました。

なお、討論はありませんでした。

以上で報告を終わります。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

以上、各担当常任委員長の報告が終わりました。

これより、ただいまの各担当常任委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。まず、反対討論はありませんか。5番 山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

私は、ただいま議題となっております議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算について、日本共産党議員団を代表して反対の立場から討論します。

3月定例会は、報告案件、同意案件、条例の改正案件、新しい条例の制定、各種の予算案件など32件の審議並びに議会の会議規則や委員会条例の改正もありました。その中でも、25年度の美浜町の方角を示す大事な一般会計予算案の審議が中心でありました。議案説明会での議論や本会議での質疑、常任委員会での審議も積極的な議論が交わされたと思っております。

東日本大震災、東京電力福島第一原発の放射能をまき散らした重大事故から丸2年の歳月が過ぎましたが、特に海岸に近いところでは、瓦れきの処理は一定進んでいるのに、地盤沈下や将来のまちづくりのおくれなど、さまざまの困難を抱え、復旧、復興のつち音がほとんど進んでいません。あわせて、地元に戻れないまま避難生活を強いられている皆さんの中には、もう新しい地域に暮らすんだということを余儀なくされている方も出てきております。

そんな中で、昨年末の総選挙に絡めて、自公民3党が裏取引、談合等で決めた来年4月からの消費税8%の値上げ、また、15年10月からの10%値上げを法制化しました。一般国民の願いを逆なでにし、殊さら被災地の岩手県、宮城県、福島県だけではなく、災害に遭った青森県のほうから千葉県周辺まで、東京も含まれると思えます、復興事業に対して大きな痛手となることとなります。値上げの法律は一旦通りましたが、実施に当たっては一定の条件もありました。諦めることなく消費税値上げ実施を思いとどまらせるために、世論を大きく広げていかなければと考えます。

もう一点、安倍内閣は、TPP、環太平洋経済連携協定への交渉参加を表明しました。もちろん国の予算に関係することではありますが、地方自治体の予算編成にとってもその影響ははかり知れないものがあり、無関心では

いられないことを指摘したいと思います。

今回はその内容を議論する場ではないので詳細については省きますけれども、地方議会、地方自治体のいわゆる会計予算の編成に大きく影響してきますので、私たち議員、議会からだけではなくて、以前に全国町村会では美浜町としても反対されていました。ぜひ行政の側からも抗議をしていただくように強く要請します。

歳入のほうから具体的な課題を指摘させていただきます。

歳入の中でどうしても指摘しなければならないのが都市計画税についてであります。24年度にも問題点を挙げて指摘しましたがけれども、ことしの予算書では、昨年この都市計画税を思ったよりも減額を見込んでいたため、600万ほどのプラスと判断していると、こう説明を受けました。しかし、25年度予算の中において、2億500万、こういった歳入見込みの中で、討論の中で、質疑の中で、7,600万、このぐらいが積立基金に回るということを想定されております。

この規模は、徴収する都市計画税のうち、24年度分が25年度の積み立てになるわけですがけれども、およそ3分の1、25年度ではさらにこれが、金額は示されておりませんでしたけれども、いわゆる収入の、歳入の半分を超えるような水準まで基金でふえるのではないかと思います。

私たちがこれまで何回となく一般質問などでも改善を指摘してきた、最低でも基金に回る分だけでも都市計画税の税率を下げしてほしい。そして、今進めている都市計画事業の中の、例えば万葉の森遊歩道整備などは、自分たちの暮らしている町並みの改善には何ら役立っていない。市街化区域に指定され、裏山を土どめしなければうちを建てられないようなところにもかかわらず、そして、事業はほとんど実現のめどがない中、ずるずると都市計画税を負担しております。市街化区域の抜本的な見直しをされたい。また、目的税ですから、基金がふえてから事業を起こすのではなくて、目的の事業を明確にしてから税の徴収を町民に訴えるべきだと、今のやり方は本末転倒だと、こういう点で町民の方からたくさん意見をいただいております。そして、多くの皆さんからは、私どもの共産党の提案や訴えを率直に支持いただいております。このことの見直しを強く求めるものであります。

次に、歳入の中のどうしても指摘しなければならない課題について申し述べます。

1点目は、消費税の影響であります。特に、税率が順次引き上げられていくことについてであります。

この点は前段のところでも申し述べましたので詳細は省きますけれども、国の制度といいながら、地方自治体を非常に圧迫している。議員、議会からだけではなくて、ぜひ行政当局の側からも、このことに関して声を大にして取り上げていくべきだと指摘しておきたいと思います。

2点目は、順番は少し議案の順番のとおりではありませんが、失礼します。8款土木費の中の5目公園管理費の中で、都市計画事業の大きな柱となっている万葉の森遊歩道整備事業についてであります。

既に大方の事業内容は決定済みのため、議案審議の中では余り細かいことは指摘しませんでした。しかし、この事業が、私たち、町民のところへ行きますと、決して当局が考えているように町民は受けとめておりません。23年、24年にも指摘した内容ですから繰り返しませんけれども、多くの町民の皆さんは、このような事業よりも優先的に望んでいるのは、この地域の整備よりも実際に居を構えて日々生活をしている市街地の防災関連も含めたまちづくりであります。例えば避難ルートの確保、既成市街地の整備にもっともっとウエートを置いてほしい、こういうことでもあります。

次に、防災対策事業と関連して、水銀灯、防犯灯の整備についてであります。

特に学園ゾーンとして位置づけている奥田周辺でありますけれども、夜9時過ぎまではまだ商店の明かりがつかっておりますからそういう面で助かっておりますけれども、10時を過ぎた深夜、早朝には本当に暗いです。せっかく大学が来てくれて、美浜町に来ていただいている学生の皆さんにとっては、長年にわたり、しまった、こん

などんでもないところに住んでしまった、こういうふうに思われていませんか。あの奥田だけではありません。上野間のほうも含めてです。上野間・奥田地区の街灯、水銀灯、特にメーンの国道247号線に交わる、そこに出ている町道の交差点など、ぜひこの件については上野間、奥田の商工会さんとも連携して、電気代の補助だけではなくて水銀灯の本体をふやして、ぜひ安全で住みよいまち、加えるなら明るいまちづくりを進めていただきたいと思います。

そして、関連しますけれども、商工振興費の中に水銀街路灯等設置事業補助金、あります。15万6,000円でありますけれども、今のお話からして1桁ぐらい足りないんじゃないか、繰り上げてもおかしくないなと思っております。

4点目は、賦課徴収費、19節の知多地方税滞納整理機構負担金についてであります。

議案質疑の中でも指摘されておりましたけれども、美浜町の職員、この機構ができる前は本当に誠意ある取り組みをしていただいております。町職員の独自の取り組みで、きちっと町民に寄り添った形での相談を受けながら滞納整理の事業を進めるべきだと思っております。25年度で一区切りとなっていると思いますので、26年度以降は美浜町のほうから申し出てでも、ぜひ取りやめることをしていただきたいと思います。

5点目は、老人福祉費の中の扶助費、保養施設利用助成事業、いわゆるかんぼの宿の入浴券でありますけれども、もともとの事業はもとの町長の公約で、老人福祉センター建設をしたいと、こういう話から、しかし、それを断念せざるを得ない、その見返り事業として始められた事業であります。これに対して、枚数や対象年齢の制限など、齋藤前町長、山下町長と、次第に内容が切り下げられてきました。先ほど指摘した最初の趣旨に反するのではないかと思っております。高齢者タクシー事業を展開することと取引するような形での事業の後退は認められません。

6点目は、都市計画総務費の中の美浜町交流拠点事業基本計画策定業務委託についてであります。

この事業と並んで予算書に計上されております市街地整備調査業務委託、あるいは奥田・野間地区事業化検討調査業務委託、こちらについては、私は、私たちはむしろ充実していただきたいと、そういう事業と考えておりますけれども、2点目のときに指摘した万葉の森遊歩道整備事業もそうでしたけれども、この先ほどの交流拠点の問題を、具体的な事業内容はいつも後回しで、総論だけ予算に計上して、内容は町民の判断を無視して進められてきている、こういうことがありました。これまでも繰り返して繰り返して言われておりましたけれども、総合計画に載っているから、基本計画にのっとり進めているんだと、こういうことでどんどん進められてきた。このことは、万葉の森のところ本当に苦い経験をして、多くの町民の人から、議員は何をやっておるんだと叱られているところであります。こういう表現をすると言葉としてはきついかもしれませんけれども、市街地の整備、望まれている整備をするよりも、空き地や農地を整備して公園をつくるほうが事業を進めやすいんじゃないでしょうか、そのことはすごく気になります。

最後に、もう一点指摘したいことがあります。

毎年度指摘してきておりますけれども、一向に見直しの努力が見られません。それは、委託料の中の業務で、各課にまたがっておりますけれども、町内公共施設全ての浄化槽設備の汚泥引き抜き業務、長年にわたり、結果的には1社に絞って契約している問題です。

今、官庁や民間を問わず、全国的な業者に対する委託事業が特定事業者に偏らないようにということで、サービスマンの正当な競争を阻害しないようにしなければならない、こういうのが主流であります。これに対して、美浜町はこの課題を、さまざまな理由を挙げて長年はぐらかしているように私には映ります。別の表現をすればしたら、町民の要求から逃げ回っているんじゃないかな、こういうふうにも感じているところです。この問題は、

環境衛生に携わっている近隣の自治体の関係者、いろいろ聞いてまいりましたけれども、こういう方からも指摘を受けておって、美浜町の担当の窓口では御存じのほうではないかなと。この件は、近隣市町では複数の業者に委託をするということととくに解決されている課題ですから、問題ですから、唯一美浜町だけとは言いませんけれども、いつまでも1社で続けることではなくて、早い機会の見直しを求めておきます。

しかし、次の点では、これまで町民の皆さんから寄せられた強い要望事項であり、また、私どもも予算要望に上げている課題でありましたので、あるいは一部は全く新規の事業もありますけれども、予算案に計上されたことを積極的に受けとめているものもあります。その1つが、放課後児童クラブの予算であります。増額されておりますし、西部地区への準備にも入りました。あわせて、子育て支援センターの西部地区への展開、母子通園事業、あるいは障害者福祉手当の拡大なども評価できる中身であります。

あわせて、福祉事業では高齢者タクシー料金助成制度が取り入れられました。せっかくですから、初乗り料金だけになっておりますけれども、利用することになった場合はほとんどが必要になってくる、いわゆるお迎え料金についても、次回には組み入れるようにしていただきたいと訴えます。

防災面でも、避難誘導の案内看板、あるいは防犯灯のLED化、耐震シェルター、家具転倒防止対策など、幾つかの事業を展開しておりますけれども、それに加えて、予算には計上されないかもしれませんが、各地域の自主防災会の避難訓練や防災関連の事業に対して、私は町職員の積極的なかわりを要望しておきます。

以上、一定の前進面を評価させていただきながらも、本予算の中で町民にとってどうしても受け入れられない主な点を申し述べて、町民と日本共産党議員団を代表して、25年度の予算案に対して反対討論とします。ありがとうございました。

○議長（丸田博雅君）

そのほか、反対討論はありませんか。3番 石田君。

○3番（石田秀夫君）

高齢社会を迎え、予算比率構成比が30%を超えてきている現在、その現状と向かい合い、見てみますと、遊歩道、社会整備資本、町費にて整備ということですが、今やることではなく、都市計画税はまちづくりの貴重な財源と言われておりますが、今一番やらなければならないということは、伊勢湾台風以来つくられた、老朽化した護岸工事の改修が急務とされているはずであります。それが、安全が確保されない、見えない、土地、空き家、町外からの転入者、土地需要が少ないというような固定資産評価額にまであらわれてきており、また、ただ需要が少ないだけでは済まされないという大きな問題だと思っております。そういうことが本年予算に見られず、非常に残念であります。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

次に、賛成討論はありませんか。10番 山本和久君。

○10番（山本和久君）

ただいま議題となっております議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算に対して、親和会を代表いたしまして、賛成の立場で討論いたします。

我が国においては、高齢化社会の進展により、社会保障費は年々増加しています。そして、東日本大震災を受けて、災害対策は待ったなしで求められており、国はもとより、地方に求められる事業、役割は増加する一方あります。

一方、日本全体の景気は、回復の兆しはあるものの依然として低迷し、その上、人口の減少、地価の下落と、

財布の中身は減る一方です。

そんな中、本町の新年度予算に関しては、平成19年の山下町長就任以来一貫して推し進めている安心・安全のまちづくり、住んでよかったと思えるまちづくりの実現のための施策、予算が確保されており、限られた財源の中でバランスのとれた予算と評価するものであります。

内容としては、平成25年度予算に計上する予定であった小・中学校のトイレ改修事業を、機を逃すことなく、平成24年度の国の補正予算に合わせて本町の24年度予算に繰り上げ計上し、より有利な財政措置を受けるとともに、そこから生み出された財源により、先送りとなっていた学校給食センターの施設更新や河和港観光センターのトイレ改修などの事業が平成25年度に実施されることは評価できるものであります。

その他、新年度予算には、障害者手当や精神障害者に対する助成の拡大、河和港の駐車場整備事業など、町民の声を受け、議会において要望させていただいた事業も多数含まれております。

また、新たに実施される高齢者タクシー事業は、その財源確保のため、保養所利用券の受給者対象者の年齢が引き上げられたことは少し残念ですが、これにより交通手段を持たない高齢の交通弱者を救済できることは、まさに限られた財源の中で必要な事業を実施していく姿勢があらわれているものと考えます。

次に、町民の関心が高い防災・減災対策についても、県と合同で実施する防災訓練を機に、より充実した実践的な対策が進むものと期待しております。

子育て支援事業に関しましては、野間保育所内に子育て支援センターの新設、奥田保育所内に母子通園施設の開設など、安心して子育てできる環境も充実されています。

本町の基幹産業である農業及び漁業に対する支援策としては、地元の要望の高い奥田地区における土地改良事業地内の農道舗装工事、漁場改良、アサリの稚貝放流補助などの計上がされております。

商工業の活性化については、地元商工業者を元気にするために行う商工会のプレミアム商品券発行事業への助成を初め、食と健康の館整備事業や観光振興に伴う事業に対する配慮もなされています。

ほかには、奥田橋上流側にかかる歩道橋設置に向けた予算、老朽化している橋梁の改修の予算、社会資本の整備に係る予算など、必要なところに必要な予算が計上されております。

なお、これらの諸施策を事業展開のためとはいえ、歳入面において、財政調整基金を初めとする各種基金を取り崩さざるを得なかったことは、本町の将来の財政運営を考えたとき、不安を感じずにはられません。

今後は、限りある財源の中、これまで進めてきた行政改革をさらに推し進め、安心・安全のまちづくりが安定してできる体質への改善を強く求めるものであります。

以上の点を総合的に判断いたしまして、本予算は適正で評価のできる予算であると考え、賛成討論といたします。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

ほかに討論はありませんか。賛成・反対討論、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、これをもって討論を終わります。

これより議案第23号、平成25年度美浜町一般会計予算を採決します。

本案に対する各担当常任委員長の報告は可決であります。本案は、各担当常任委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手多数であります。よって、本案は可決されました。

ここでちょっと休憩をとりたいと思いますがよろしいか。10時半、15分ありませんが、10時半より再開をいたしますので、暫時休憩としたいと思います。よろしくお願いします。

〔午前10時16分 休憩〕

〔午前10時30分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第8 議案第24号 平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算から

議案第26号 平成25年度美浜町介護保険特別会計予算まで3件一括

○議長（丸田博雅君）

日程第8、議案第24号、平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算から議案第26号、平成25年度美浜町介護保険特別会計予算まで、以上3件を一括議題とします。

以上3件について、文教厚生常任委員長の報告を求めます。

委員長、報告願います。

〔文教厚生常任委員長 森川元晴君 登壇〕

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第24号、平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算については、審査、採決の結果、全員賛成により可決しました。

なお、審査の過程において次のような質疑がありましたので御報告いたします。

歳入の繰越金についての問いがありまして、前年度繰越金の8,000万円と、基金から9,000万円、また、一般会計繰入金3,000万円をいただいてやっていきたいとの答弁がありました。

次に、議案第25号、平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算については、審査、採決の結果、賛成多数により可決しました。

なお、質疑、討論はありませんでした。

次に、議案第26号、平成25年度美浜町介護保険特別会計予算については、審査、採決の結果、賛成多数により可決しました。

なお、質疑、討論はありませんでした。

以上で報告を終わります。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

文教厚生常任委員長の報告が終わりました。

これより順次、ただいまの委員長の報告に対する議事を進めます。

最初に、議案第24号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第24号、平成25年度美浜町国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第25号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。6番 鈴木美代子君。

○6番（鈴木美代子君）

議案第25号、平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算について、反対の立場で討論いたします。

同じ町内のお年寄りを、75歳で前期高齢者、後期高齢者と分断させる、後期高齢者には現役世代と違う差別医療を導入することなど、また、保険料もどんどん高くなり、夫婦そろって健在のときは2人分払うという、いかにも割高であります。年金が一月1万5,000円あれば口座から引き落とし、また、1万5,000円ない人は普通徴収とし、滞納すれば保険証を取り上げ、資格証明書を発行するとしました。国民健康保険では75歳以上の高齢者に対して資格証明書の発行は禁止してきましたが、後期高齢者医療では発行するとあります。つまり、この制度は高齢者の医療抑制が目的であり、長寿を喜ぶ制度ではありません。国民年金の平均受取額は全国で一月4万9,000円と大変少なく、この保険料が高齢者の大きな負担となっていることは言うまでもありません。

私たち日本共産党は、後期高齢者医療制度は撤廃して、お年寄りが安心して医者にかかれる、そして、安心して老後を暮らしていける制度を、時間をかけてつくるべきだと訴えています。また、広域化では、美浜町民のことが手の届かないところにあり、このやり方は反対であります。

以上で終わります。

○議長（丸田博雅君）

次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって討論を終わります。

これより議案第25号、平成25年度美浜町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手多数であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第26号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありますか。反対討論。6番 鈴木美代子君。

○6番（鈴木美代子君）

議案第26号、平成25年度美浜町介護保険特別会計予算について、反対の立場で討論いたします。

2000年に介護保険制度はスタートしました。保険料も当初2,500円でしたが、3年ごとに見直され、現在の第5期介護保険事業計画では4,500円と約2倍に膨れ上がりました。町民にとって、この負担は大変であります。

美浜町独自の介護保険料、利用料の減免制度を実施するようたびたび要求してきましたが、美浜町は一向にやれません。愛知県内で介護保険料低所得者減免実施市町村は31市町村、57.4%が独自に実施しております。また、介護保険利用料低所得者減免実施市町村は22市町村で、40.7%が独自にやっています。

介護保険は超高齢社会の中で利用がふえ続け、国と市町村の負担がふえない限り保険料の上がる仕組みになっており、現状の保険料負担は極めて重い。3年ごとの改定により、今回も全国平均19.5%の引き上げで、全国平均4,972円となりました。こうした状態を解消するため、国の負担をせめて現行の20%に5%の調整金プラスを求めていくことを、町として声を大にして要求し、町民負担が少しでも下がるようにしたいと思えます。

そして、最後に、美浜町も独自の低所得者保険料、利用料の減免制度をぜひ設けてほしいと求めるものであります。

以上です。

○議長（丸田博雅君）

次に、賛成討論はありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

ほかに、反対・賛成討論はありませんね。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

これをもって討論を終わります。

これより議案第26号、平成25年度美浜町介護保険特別会計予算を採決します。

本案に対する文教厚生常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手多数であります。よって、本案は可決されました。

日程第9 議案第27号 平成25年度美浜町土地取得特別会計予算から
議案第29号 平成25年度美浜町水道事業会計予算まで3件一括

○議長（丸田博雅君）

日程第9、議案第27号、平成25年度美浜町土地取得特別会計予算から議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算まで、以上3件を一括議題とします。

以上3件について、総務産業常任委員長の報告を求めます。

島田委員長、報告願います。

〔総務産業常任委員長 島田昭夫君 登壇〕

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

御報告いたします。

議案第27号、平成25年度美浜町土地取得特別会計予算から議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算の3議案につきましては、審査、採決の結果、3議案とも全員賛成により可決いたしました。

なお、全議案とも討論はありませんでした。

以上、報告いたします。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

総務産業常任委員長の報告が終わりました。

これより順次、ただいまの委員長の報告に対する議事を進めます。

最初に、議案第27号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第27号、平成25年度美浜町土地取得特別会計予算を採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第28号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第28号、平成25年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計予算を採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第29号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

これより議案第29号、平成25年度美浜町水道事業会計予算を採決します。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

ここで、暫時休憩といたします。事務局が資料を配付し終わるまでしばらくお待ちください。

〔午前10時45分 休憩〕

〔午前10時46分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、暫時休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで、議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）を日程に追加し、追加日程第1として、直ちに議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、議案第30号を日程に追加し、追加日程第1として、直ちに議題とすることに決しました。

追加日程第1 議案第30号 平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）

○議長（丸田博雅君）

追加日程第1、議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

本案について、町長から提案理由の説明を求めます。

町長、説明願います。

〔町長 山下治夫君 登壇〕

○町長（山下治夫君）

ただいま追加上程されました議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）につきましては、先ほど撤回させていただきました議案にかえて提案させていただくものでございます。

議案の撤回についての説明でも触れさせていただきましたが、国におきまして地域経済循環創造事業の取りまとめを行いましたところ、多くの地方公共団体から予算額を上回る要望があったため、当初予定しておりました事業費を圧縮せざるを得ない状況となりました。

あわせて、事業費に対する補助率につきましても、当初100%補助となっておりましたものが3分の2となり、残りの3分の1につきましては地元負担をする必要が生じたので、事業主体となります食と健康の館の指定管理者である小野浦区及び町におきまして、その負担をさせていただくものでございます。

それでは、さきの議案より変更されました内容につきまして御説明申し上げます。

歳出の7款商工費、1項3目観光費におきまして、食と健康の館指定管理委託料250万円を増額計上するほか、地域経済循環創造事業補助金を1,565万7,000円減額して700万円といたしました。

これに伴いまして、2款1項11目基金費におきまして、財源調整のため、財政調整基金積立金を250万円減額し、255万円とさせていただきました。

歳入におきましては、14款2項国庫補助金のうち、地域経済循環創造事業交付金を減額して700万円とさせていただきました。

また、これにあわせて、第2表、繰越明許費のうち、7款1項商工費、地域経済循環創造事業費につきましても、翌年度に繰り越すべき事業費を700万円に変更させていただきました。

これによりまして、歳入歳出ともに3億765万7,000円を増額し、補正後の予算総額を76億3,897万5,000円とするものでございます。

なお、その他の歳入歳出内容につきましては、撤回いたしました議案からの変更はありませんので、説明は省略させていただきます。

提案理由の説明は以上でございます。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって、提案理由の説明を終わります。

ここで、暫時休憩といたします。引き続きまして、議案説明会を開きますので、休憩なしで大会議室への移動をお願いいたします。議員、執行部の皆様には、大会議室への移動をお願いいたします。

以上です。

〔午前10時52分 休憩〕

〔午前11時18分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

追加日程第1、議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

本案は、お手元に配付しました議案審査付託表のとおり、各常任委員会に付託します。

ここで、暫時休憩といたします。休憩中に各担当常任委員会を開き、付託案件等の審査をお願いいたします。

なお、常任委員会は、最初に総務産業常任委員会を、総務産業常任委員会終了後、文教厚生常任委員会を開催願います。御配慮をお願いいたします。

大会議室のほうに移動をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

以上です。

〔午前11時19分 休憩〕

〔午前11時39分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

追加日程第1、議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

本案に関し、各担当常任委員長の報告を求めます。

最初に、総務産業常任委員長、報告願います。

〔総務産業常任委員長 島田昭夫君 登壇〕

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）のうち、当委員会に付託となりました部分については、審査、採決の結果、全員賛成により可決いたしました。

審査の過程において次のような質疑がありましたので御報告します。

庁舎管理事業で、要するに津波対策、冠水対策で、庁舎地下の発電装置を地上に設置した工事が完了したようであるが、以前の発電機はどのように処理されたのかという質問で、この件につきまして、答え、答弁としまして、この件につきましては、以前からいろいろ意見を承っていたので、旧発電機の利用を考え、河和小学校への移設を検討したと、ところが、単なる移設で420万、水冷式であるため給水設備も必要となり、また、屋内用であるがために建屋も必要になるということで、これで200万ないし300万が必要であると、合計700万程度の費用を要するとの試算である、屋外用の発電機であれば399万円で新設できるとのことから、この移設は断念いたしましたという答弁がありました。

それから、道路新設改良国庫補助事業の中で橋梁点検業務委託があるが、80カ所ほど調査するとのこと、実際の点検、補強工事について詳細を教えてください、これは平成25年度までの工事となるのかとの質問に対し、既に平成21年、15メートル以上が20橋点検が終了、23年、10から15メートルで12橋点検が終了、長寿命化の修繕計画を立案して、今、進めているところであると、点検済み72橋を除いた80橋を点検していくと、当然25年度の作業となりますという答弁がありました。

それから、追加議案の総務産業常任委員会を、本日、大会議室で審議いたしました。その報告をいたします。

この件につきましては、出席議員7名全員が賛成で可決いたしました。

討論もありませんでした。

しかし、質疑が二、三ございましたので御報告いたします。

減額で中止する事業としては何かと、これは裏返せば何と何の事業を全部でやるのかという質問ですが、中止する事業としては、移動販売車、倉庫、これに伴うテントの購入を中止する。

[発言する者あり]

○総務産業常任委員長（島田昭夫君）

実施。失礼しました。

それから、1,050万、事業費の負担内容について質疑があり、国が700万円、町が250万円、小野浦が100万円という負担金となりました。国は補助ですが、国からは700万、町が250万、小野浦が100万ということになりました。

それから、もう一つ、今回の減額で、なぜ移動販売車にこだわったのかという質問に対しまして、これはこだわったわけではありませんと、国からの事業採択に基づく結果でありますという質疑がなされました。

落ちはないですね。ちょっと急ごしらえで、いろいろ文章が拙劣でした。おわびします。

以上、報告いたします。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

次に、文教厚生常任委員長、報告願います。

[文教厚生常任委員長 森川元晴君 登壇]

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）のうち、当委員会に付託となりました部分については、審査、採決の結果、全員賛成により可決しました。

なお、審査の過程において、次のような質疑がありました。

健康診査事業、予防接種事業で960万円ぐらいの不用額が出た理由はとの問いに、予算に対してどれだけ実績があったかということで、余った残り分を減額したとの答弁がありました。

なお、討論はありませんでした。

以上で報告を終わります。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

各担当常任委員長の報告が終わりました。

これより、ただいまの各担当常任委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。反対討論、賛成討論。

[「反対討論」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

石田秀夫君。

○3番（石田秀夫君）

弁護士等報償金52万4,000円が組み込まれていますが、平成23年3月議会において、議員除名処分に対して取り消しを訴えたものであり、平成25年1月24日、名古屋地裁より、却下による控訴であり、そのときの町長、そのときの議会、議員を訴えたもので、町民を訴えたものではない。町費、町民の税金を使うことは納得できず、弁護士報償金52万4,000円が組み込まれたこの補正予算に反対するものであります。

○議長（丸田博雅君）

ほか、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

賛成討論、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、これをもって討論を終わります。

これより議案第30号、平成24年度美浜町一般会計補正予算（第8号）を採決します。

本案に対する各担当常任委員長の報告は可決であります。本案は、各担当常任委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手多数であります。よって、本案は可決されました。

ここで、休憩をしたいと思います。いろいろ段取りがありますので、昼食のほうの休憩をとります。再開を1時といたします。13時、この場で本会議を開催いたしますので、そのようにお願いをいたします。

以上です。

〔午前11時50分 休憩〕

〔午後1時00分 再開〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第10 発議第3号 生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書について

○議長（丸田博雅君）

日程第10、発議第3号、生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書についてを議題とします。

これより討論に入ります。討論はありますか。5番 山本辰見君、賛成、反対。

○5番（山本辰見君）

賛成。

○議長（丸田博雅君）

まず、反対討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、5番 山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

私は、ただいま議題となっております発議第3号、生活保護基準の引き下げの撤回を求める意見書について、賛成の立場から討論します。

意見書本文にもありますように、今回の引き下げによる影響、保護費減額世帯は全受給世帯の96%にも及ぶ大規模なものになっていること、現在の保護を受けている世帯の8割以上が高齢者、母子家庭、障害者あるいは疾病者などであり、働けないからこそ保護を受けているという現実があります。雇用環境の劣悪化により雇用の不安定化が進んでいること、さらには、高齢化社会に一気に突入しているにもかかわらず、年金制度のおくれから生活保障の機能がつくられていないことなど、生活保護の利用者が増加しているのは、政治の責任、あるいは政策の責任ではないかと考えます。

生活保護基準の引き下げの動きが強まる中、1月末に、生活保護問題対策会議、こういうグループがありますがけれども、ここの代表の方々が厚生労働省を訪れて、厚生労働大臣並びに消費者・少子化担当大臣ら宛ての生活保護基準の引き下げ反対の要請書と署名10万人分を持って対応しました。

この中で明らかにされた一部の問題を、今回の問題点の一部を紹介したいと思います。

日弁連の前の会長でありました弁護士さんからは、生活保護の受給者がふえているのは、貧困、格差の広がりの結果だ、政府に必要なのはその是正であるべきなのに、バッシングをして基準を引き下げると本末転倒ではないか、基準の引き下げが最低賃金や地方税、就学援助などに連動し、生活保護を利用していない市民生活全体に大きく影響する、こう訴えております。

また、別の関係者からは、社会保障審議会の、これは政府の審議会ですけれども、生活保護基準部会でまとめた報告でも、統計の中には統計上の限界があること、あるいは子育て世代の引き下げ率が子供の数が多いほど大きく、過酷な内容になっていること、基準が引き下げられて生活保護から外れると、困難を抱える子供が学習の支援が受けられなくなること、また、貧困世代間の連鎖を防止することに真っ向から逆行すると、こう指摘しております。

また、難病や障害などで生活保護を受けている方もたくさんいて、制度の改悪によっては、家族の扶養義務、このことが強化されて、患者や家族が追い詰められることが懸念される、こう表明していました。

まだ幾つかお話ししたいこと、訴えたいこともありますけれどもこのくらいにさせていただき、生活保護基準の引き下げを即時撤回し、憲法第25条で保障されている、25条にはこう書いてあります、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」「国は、すべての生活部面において、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」、こう書かれてあります、このことを大切にすることも、雇用と社会保障を充実させることにこそ力を注いでほしいと強く要望します。

議場の同僚議員の皆さんの賛同をぜひお願い申し上げて、賛成の表明を期待しまして、私の賛成討論とさせていただきます。

○議長（丸田博雅君）

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって討論を終わります。

これより発議第3号、生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書についてを採決します。

本案に賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手少数であります。よって、本案は否決されました。

日程第11 発議第4号 愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書について

○議長（丸田博雅君）

日程第11、発議第4号、愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書についてを議題とします。

これより討論に入ります。まず、反対討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

次に、賛成討論はありますか。6番 鈴木美代子君。

○6番（鈴木美代子君）

発議第4号、愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書に賛成の立場で討論いたします。愛知県は、全国的にもトップと言えらるぐらいの財政豊かな県であり、一方、福祉は全国でも最下位に匹敵するぐらい下のほうであります。ということは、豊かな財政の割には福祉を大事にしていなわけであります。

大村県政は、子供や障害者の医療費無料制度、すなわち福祉医療を有料にする検討を進めています。県は昨年6月1日、全市町村の担当者を集め、有料化、つまり患者負担を導入した場合の将来推計結果を説明しました。医師会にも示しました。

県の将来推計は医療保険改悪を狙う厚労省の資料を使い、現行制度のままなら2031年度には公費支出が約1.7倍にふえるとしています。公費支出を抑える方策として、患者の定額負担、1回100円ないしは500円、定率負担、0.5割ないしは1割、また、所得制限のケースで推計しています。

大村県政の制度見直しの観点は結局財政。現行の医療費無料制度が弱者や低所得者の健康維持と生存権保障に果たしている役割を評価していません。大企業には1社100億円という設備投資補助金制度をつくる一方で、県民145万人の命綱となっている福祉医療を切り捨てようとしています。この動きを阻止するには、県民総出の福祉医療の維持拡充を求める運動が急務だと考えます。

今回の意見書の提出も運動の大きな力になります。どうぞ同僚議員の御協力で意見書を提出できるように心からお願いいたします。

以上で終わります。

○議長（丸田博雅君）

そのほか、討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって討論を終わります。

これより発議第4号、愛知県の福祉医療制度の有料化・所得制限導入に反対する意見書についてを採決します。本案に賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手少数であります。よって、本案は否決されました。

日程第12 平成24年請願第1号 「年金支給額削減に反対する意見書」の採択を求める請願書についてから
平成24年請願第3号 「全ての高齢者に年金3.3万円を支給する意見書」の採択を求める請願書
についてまで3件一括

○議長（丸田博雅君）

日程第12、平成24年請願第1号、「年金支給額削減に反対する意見書」の採択を求める請願書についてから平成24年請願第3号、「全ての高齢者に年金3.3万円を支給する意見書」の採択を求める請願書についてまで、以上3件を一括議題とします。

以上3件について、文教厚生常任委員長の報告を求めます。

〔文教厚生常任委員長 森川元晴君 登壇〕

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

御報告いたします。

ただいま議題となりました平成24年請願第1号、「年金支給額削減に反対する意見書」の採択を求める請願書についてから平成24年請願第3号、「全ての高齢者に年金3.3万円を支給する意見書」の採択を求める請願書についての3議案については、審査、採決の結果、3議案とも賛成少数により不採択となりました。

なお、審査の過程におきまして次のような討論がありましたので御報告いたします。

平成24年請願第1号において、年金が下がるのは生活費に係ってきて、今の国民年金でもすごく厳しいとの賛成討論がありました。

次に、平成24年請願第2号において、今これ以上の年齢の引き上げをしたら、仕事を終え、国は68歳か70歳からの年金支給にしようとしているが、退職したら年金が受け取れないと生活ができないと考えますとの賛成討論がありました。

次に、平成24年請願第3号において、国民年金の満額の月額が6万6,000円ですが、その半額は公費で賄われているが、無年金の人、また、誰に対してもその半額の3万3,000円を保障してもらいたいとの賛成討論がありました。

以上で報告を終わります。

〔降壇〕

○議長（丸田博雅君）

文教厚生常任委員長の報告が終わりました。

これより順次、ただいまの委員長の報告に対する議事を進めます。

最初に、平成24年請願第1号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。5番山本辰見君。

○5番（山本辰見君）

私は文教のほうじゃないものですからお聞きするわけですけど、請願者あるいは専門家の方から、説明会というか、学習会のようなことをやられたようにお聞きしているんですけど、その内容と、あるいは委員の方でいろんな質問とか何かがあったと思うんですけども、その内容も報告いただけたらうれしいのですが、いかがでしょう。

○文教厚生常任委員長（森川元晴君）

2回の勉強会を行いまして、今の年金制度に関する今の現状等のお話は伺いました。委員の中でも個々に意見

を持ってられるとは思いますが、また、その年代でも考え方はちょっと違うかなというふうな形で、また、具体的にそのときにどのような質問等があったということは、またちょっと、今この場ではちょっと答えることができませんので、もしか資料のほうをまたちょっと見させていただきまして、お答えさせてもらいたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○議長（丸田博雅君）

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって質疑を終わります。

討論はありませんか。6番 鈴木美代子君。

○6番（鈴木美代子君）

請願第1号、年金支給額削減に反対する意見書、請願第2号、年金支給年齢引き上げに反対する意見書、請願第3号、全ての高齢者に年金3.3万円を支給する意見書の採択を求める請願に賛成の立場から討論いたします。

今回、2.5%の年金支給削減法案に盛り込まれたものは、2000年以降、自公政権が、年金生活者にとって社会経済情勢が厳しいとして、年金支給額……。

○議長（丸田博雅君）

鈴木君、今、請願第1号についての討論でありますので、その点で賛成、反対の討論がありましたらお願いをいたします。

○6番（鈴木美代子君）

このままあとは言うていいですか、賛成の討論内容です。

○議長（丸田博雅君）

はい。

○6番（鈴木美代子君）

2000年以降、自公政権が、年金生活者にとって社会経済状況が厳しいとして、年金支給額削減を保留して国民年金法に定められているものです。ところが、当時より年金生活者の社会経済状況は改善されておられません。それどころか一層厳しくなっております。ぜひ低額な年金の削減はやめるべきであります。

また、社会保障と税の一体改革成案の中で、年金支給年齢を68歳または70歳に引き上げるとしています。しかし、公務員や一般企業でも、定年制は依然として60歳です。雇用延長は臨時雇用などで1年契約かパートになっており、在職高齢年金制度のもとでの賃金によって年金の削減が行われています。

政府は成案の中でヨーロッパ諸国も年齢は引き上げられている例を挙げていますが、しかし、イギリスは定年制を廃止しています。体力のあるうちはそのまま働ける、何らかの理由で働けない人は年金支給年齢前まで生活保障的な手当が支給されるなど、生活保障の制度が確立しています。年齢引き上げをするべきではありません。

最後に、無年金者をなくし、低年金者の年金の底上げを行い、年金受給者資格期間を10年に短縮すべきであります。

国連の社会権委員会は、2000年に日本政府に対し、最低保障額を設けることという勧告を行っています。その勧告を受けて、日本政府は最低保障年金制度を創設して、高齢者の生活を保障すべきであると考えます。

以上で賛成討論を終わります。

○議長（丸田博雅君）

今、第1号から第3号までの総論になりましたので、あとはそのように計らいますので、よろしくお願ひします。

ほかに、反対・賛成討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

これをもって討論を終わります。

これより平成24年請願第1号、「年金支給額削減に反対する意見書」の採択を求める請願書についてを採決します。

この請願に対する委員長の報告は不採択であります。よって、採決は原案について採決します。

平成24年請願第1号を採択することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手少数であります。よって、平成24年請願第1号は不採択と決しました。

次に、平成24年請願第2号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

討論なしと認めます。先ほどは重複しておりますので、お願ひします。

これをもって討論を終わります。

これより平成24年請願第2号、「年金支給年齢引き上げに反対する意見書」の採択を求める請願書についてを採決します。

この請願に対する委員長の報告は不採択であります。よって、採決は原案について採決します。

平成24年請願第2号を採択することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（丸田博雅君）

挙手少数であります。よって、平成24年請願第2号は不採択と決しました。

次に、平成24年請願第3号について、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

次に、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（丸田博雅君）

それでは、討論なしと認めます。先ほど既に終わっておりますので、これをもって討論を終わります。

これより平成24年請願第3号、「全ての高齢者に年金3.3万円を支給する意見書」の採択を求める請願書につ

いてを採決します。

この請願に対する委員長の報告は不採択であります。よって、採決は原案について採決します。

平成24年請願第3号を採択することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（丸田博雅君）

挙手少数であります。よって、平成24年請願第3号は不採択されました。

日程第13 議会閉会中の継続調査事件について

○議長（丸田博雅君）

次に日程第13、議会閉会中の継続調査事件についてを議題とします。

議長宛てに、各委員会委員長より議会閉会中の継続調査事件の申し出がありましたので、一覧表としてお手元に配付しました。

お諮りします。各委員会委員長より申し出のとおり、議会閉会中の継続調査事件とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（丸田博雅君）

御異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり、議会閉会中の継続調査事件とすることに決しました。

以上をもって、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

閉会に当たり、町長より御挨拶をお願いします。

[町長 山下治夫君 登壇]

○町長（山下治夫君）

それでは、第1回定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今定例会に上程させていただきました報告第1号、専決処分事項の報告についてを初め32議案につきましては、いずれも議会におきまして慎重審議を重ねていただき、全議案お認めいただきましたことをまずもって御礼申し上げます。

啓蟄を迎え、春はすぐそこまで来ているとはいいまでも、まだまだ寒い日があります。議員の皆様におかれましては十分お体を御自愛いただきますよう御祈念申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

[降壇]

○議長（丸田博雅君）

ありがとうございました。

これにて平成25年第1回美浜町議会定例会を閉会といたします。御協力ありがとうございました。

[午後1時24分 閉会]

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成25年3月21日

美浜町議会

議長 丸 田 博 雅

議員 中 川 博 夫

議員 山 本 和 久